

# 防災マップ

保存版

わが家の災害対策

みんなで確認



地震、豪雨、台風などの自然災害は、いつやってくるかわかりません。  
この防災マップで地域に存在する危険箇所を意識して、  
普段の備えと地域の自主防災活動に活用しましょう。

P1 防災マップの活用方法  
P2 避難情報

活用方法

P3 洪水による災害  
P4 風水害・台風による災害

洪水・風水害・台風

P5 土砂による災害  
P6 地震による災害

土砂・地震

P7 震度分布図  
P8 液状化分布図

震度・液状化  
分布図

P9 火災  
P10 防災情報の収集

火災・情報収集

P11 防災対策とチェック  
P12 非常時の持ち出し品の準備とチェック

防災対策

P13 日頃からの備え  
P14 避難所・公共機関一覧  
P15 避難行動判定フロー  
P16 住まいが被害を受けたとき  
最初にすること

日頃からの備え  
避難所一覧

P17~18 マイタイムライン

マイタイムライン

P19 避難所での過ごし方  
P20 感染症対策をふまえた  
避難のポイント

避難のポイント

P21 ハザードマップの見方  
P22 全体図・区割り図

マップの見方

P23~58 ハザードマップ

ハザードマップ

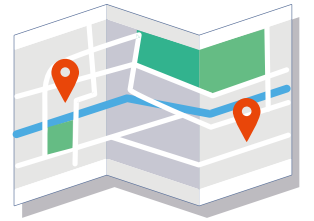
裏表紙 わが家の防災メモ

防災メモ

# 防災マップの活用方法

防災マップは、防災に関する情報をはじめ、避難所の位置や洪水による浸水、土砂災害の発生する可能性のある箇所を地図上に示しています。まず、あなたの家の場所や周辺の状況を確認し、災害に備えて必要な情報は何か、被害を回避するための行動はどのようなものか、家族との連絡方法など、事前の備えに生かしてください。

- 1 自宅周辺の危険箇所やリスクを確かめましょう。**  
自宅周辺に洪水浸水想定区域と土砂災害警戒区域があるのか確認しましょう  
▶21～58ページ ハザードマップ



- 2 どこに避難所があるのかを確認しましょう。**  
避難所一覧で確認しましょう ▶14ページ 避難所・公共機関一覧  
ハザードマップで確認しましょう ▶21～58ページ ハザードマップ



- 3 避難所へ避難する際の持ち出し品や備蓄品を確認しましょう。**  
非常持ち出し品・備蓄品を確認しましょう  
▶12ページ 非常時の持ち出し品の準備とチェック

- 4 防災に関係する機関が発信する防災情報を確認しましょう。**  
市役所、国や県などが発信する正確な情報を確認しましょう  
▶10ページ 防災情報の収集

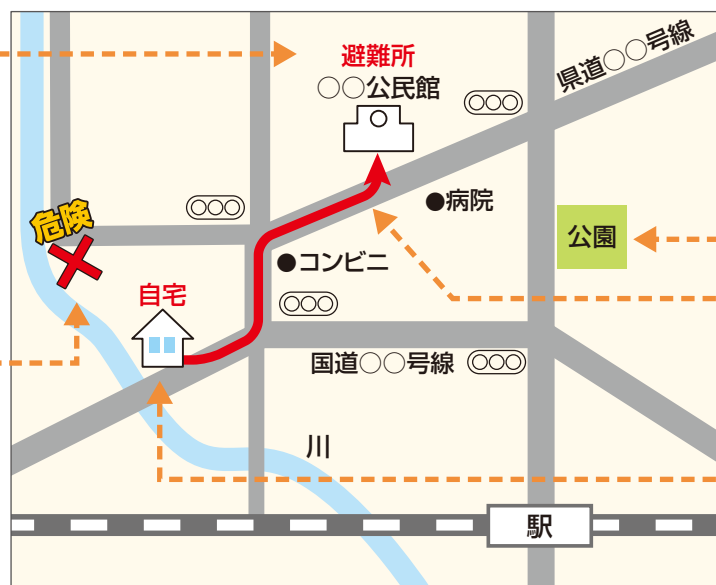


## オリジナルマップの作成

自宅の場所や家族で話し合った内容、避難所までの経路、親戚や知人の家の場所などを記入し、家族で共有しましょう。

**■ 避難所など**  
家族一人一人が避難する可能性のある避難所や親戚・知人の家を書き込んでおきましょう。

**■ 危険なエリア**  
大雨や河川水位上昇などにより危険度が高まりそうな場所を書き込んでおきましょう。



**■ 目印となる場所**  
避難する際や家族・知人と連絡を取る際に、目印となるような場所を確認しておきましょう。

**■ 避難経路**  
避難所や親戚・知人の家までの経路を書き込みましょう。

**■ 自宅**  
あなたの家の場所を書き込んで目立つようにしておきましょう。

# 避難情報

台風や大雨などにより土砂災害や洪水などの危険度が高まり、皆さんの生命に危険が及ぶと判断した際、避難指示などを発令します。避難指示などが発令されたときは、速やかに避難所などに避難するようにしましょう。

警戒レベル4		避難指示までに必ず避難しましょう!		
警戒レベル		避難情報等	状況	住民がとるべき行動
5		緊急安全確保※1	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!
～ <警戒レベル4までに必ず避難!> ～				
4		避難指示	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難
3		高齢者等※2避難	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難
2		大雨・洪水・高潮 注意報(気象庁が発表)	気象状況悪化	自らの避難行動を確認
1		早期注意情報 (気象庁が発表)	今後の気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを高める

※1 災害の状況を確実に把握できるものではないなどの理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 高齢者や障がいのある人など、避難に時間のかかる人。

(ページ内の図表は内閣府・気象庁ホームページより抜粋、編集)

## 特別警報が発表されたときは

これまで経験したことのないような非常に危険な状況にあります。避難情報に従うなど、直ちに身の安全を確保してください。

### 特別警報発表の基準

現象の種類	基準
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により暴風が吹くと予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合
地震 (地震動)	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合 (緊急地震速報(震度6弱以上)を特別警報に位置付ける)

## 知っておくべき5つのポイント

- 1 避難とは、[難]を[避]けること。安全な場所にいる人まで、避難場所に行く必要はありません。
- 2 避難先は、小中学校・公民館だけではありません。安全な親戚・知人の家に避難することも考えてみましょう。
- 3 マスク・消毒液・体温計が不足します。できるだけ自ら携行してください。
- 4 宮若市が指定する避難場所、避難所が変更されている可能性があります。災害時には市ホームページなどで確認してください。
- 5 豪雨時の屋外の移動は、車も含め危険です。やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況などを十分確認してください。

# 洪水による災害

川が氾濫すると、広い範囲にわたり浸水し、安全な避難ができなくなるおそれがあります。洪水時における対応についてあらかじめ確認しておきましょう。

## 雨の強さと降り方(1時間降雨量)

1時間雨量	10mm以上～20mm未満	20mm以上～30mm未満	30mm以上～50mm未満	50mm以上～80mm未満	80mm以上
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る	息苦しくなるような圧迫感がある
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる		傘は全く役に立たなくなる	
屋内(木造住宅を想定)の様子	雨の音で話し声がよく聞きとれない	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	

## 洪水における避難のポイント

- ！ 浸水が始まる前に早めの避難を**  
氾濫水は勢いが強く、大人の膝程度の深さで歩行が困難となる。浸水してからの自宅外への避難は危険。気象予報や河川洪水予報などの情報をもとに、身の危険を感じたら自主的に避難を開始する。
- ！ 状況に応じた避難を**  
周囲の状況が危険で避難所まで移動できない場合は、自宅や近隣の頑丈な建物のできるだけ高い階に避難する。移動途中であっても、危険を感じた場合は、近隣の建物のできるだけ高い階に退避する。
- ！ やむなく浸水の中を歩く際は**  
裸足、長靴は厳禁。水中で脱げづらい紐靴などが適している。また、氾濫水は濁っているため、水面下が確認できない。長い棒などを杖代わりにし、側溝やマンホール、障害物に注意する。
- ！ 川や用水路に近づかない**  
降雨が続き不安に思っても、川や用水路、田畑の用水は見に行かない。河川の様子の確認は、ライブカメラ情報を活用する。また、避難の途中も増水した川の近くを通るのは避ける。
- ！ 地下室、地下街は危険**  
地下にいる場合、地上の様子が把握しづらく、避難経路が限定される。また、地上が冠水すると、一気に水が流れ込んでくる場合もある。停電の可能性も高く、脱出が困難となる。
- ！ アンダーパスは危険**  
道路や線路の下をくぐるアンダーパスや地下道は、洪水の際、真っ先に浸水する。場所を把握し、迂回路を想定しておく。

## 洪水キキクル(洪水警報の危険度分布)

気象庁HP <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood/lat:33.718057/lon:130.618515/zoom:10/colordepth:normal>



洪水警報の危険度分布は、気象庁が提供している中小河川の洪水災害発生の危険度の高まりを、5段階に色分けして示す情報です。避難にかかる時間などを考慮して、3時間先までの予測値を用いており(10分ごとに更新)、洪水警報などが発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。

(表示イメージ)



色が持つ意味	状況	住民等の行動の例 <sup>*1,2</sup>	内閣府のガイドラインで発令の目安とされる避難情報	相当する警戒レベル
<b>災害切迫</b> 大雨特別警報(浸水害)の指標に用いる基準に状況が到達	重大な洪水災害が切迫。洪水災害がすでに発生している可能性が高い状況。	(立ち退き避難がかかって危険な場合) <b>命の危険</b> 直ちに身の安全を確保!	<b>緊急安全確保<sup>*5</sup></b>	<b>5相当</b>
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難!> ~~~~~				
<b>危険</b> 3時間先までに警戒基準を大きく超過した基準に到達すると予想	水位周知河川・その他河川がさらに増水し、今後氾濫し、重大な洪水災害が発生する可能性が高い状況。	水位が一定の水位を超えている場合には、安全な場所へ避難する。 <sup>*3</sup>	<b>避難指示</b>	<b>4相当</b>
<b>警戒</b> 3時間先までに警戒基準に到達すると予想	洪水災害への警戒が必要な状況。	水位が一定の水位を超えている場合には、高齢者等は安全な場所へ避難する。 <sup>*4</sup> 高齢者等以外の方も、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自ら避難の判断をする。	<b>高齢者等避難</b>	<b>3相当</b>
<b>注意</b> 3時間先までに注意基準に到達すると予想	洪水災害への注意が必要な状況。	ハザードマップ等により避難行動を確認する。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	<b>2相当</b>
<b>今後の情報等に留意</b>	—	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	—

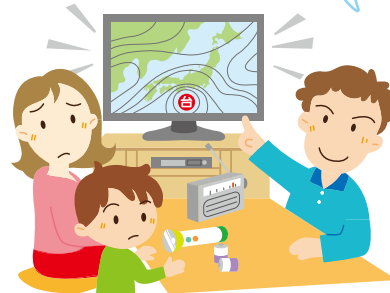
※1 洪水キキクルに関わらず、自治体から避難情報が発令された場合や河川管理者から氾濫危険情報等が発表された場合には速やかに避難行動をとること。  
 ※2 洪水予報河川の外水氾濫については、洪水キキクルではなく、河川管理者と気象庁が共同で発表している指定河川洪水予報等を踏まえて避難情報が発令されるため、それらに留意し、適切な避難行動を心がけること。  
 ※3 洪水予報河川・水位周知河川以外で水位を観測していない河川においては、現地情報を活用した上で、洪水キキクル(紫)を参考に安全な場所へ避難する。  
 ※4 洪水予報河川・水位周知河川以外で水位を観測していない河川においては、洪水キキクル(赤)を参考に高齢者等は安全な場所へ避難する。  
 ※5 災害が発生・切迫している状況を市町村が必ず把握することができるとは限らないこと等から、緊急安全確保は必ず発令される情報ではない。また、警戒レベル5相当情報が出たからといって、必ず緊急安全確保が発令されるわけではない。  
 気象庁ホームページより抜粋して掲載

# 風水害・台風による災害

昨今の気象変動により、過去に経験したことのないような風水害や台風に見舞われることが増えています。日ごろから気象情報を確認し、国や県、宮若市などが発表する防災情報に注意するようにしましょう。

## 大雨情報をキャッチ！ こんなときのわが家の安全対策

まずは、確実な情報が大事  
その次に迅速な対応を！



### 記録的短時間大雨情報とは？

数年に一度しか起こらないような記録的な短時間の大雨を観測したとき、より一層の警戒を呼びかけるために、発表される情報です。

### 大雨警報とは？

重大な災害が起こるおそれのあるときに**警戒**を呼びかけて行う**予報**

### 風の強さと吹き方

(平均風速:m/秒)

10m/秒以上～15m/秒未満	15m/秒以上～20m/秒未満	20m/秒以上～25m/秒未満	25m/秒以上～
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。	しっかりと身体を確保しないと転倒する。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。	立ってられない。屋外での行動は危険。樹木が根こそぎ倒れはじめる。

### 台風

(平均風速:m/秒)

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさ	風速15m/秒以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km以上～800km未満	強い	33m/秒 以上～44m/秒 未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44m/秒以上～54m/秒 未満
		猛烈な	54m/秒 以上

### 線状降水帯(集中豪雨)

積乱雲が同じ場所で次々と発生・発達を繰り返すことにより起こります。狭い地域に数百mmの大雨が観測されます。毎年こうした大雨によって河川氾濫や土砂災害が発生しているため十分な注意が必要です。

## 浸水キキクル(大雨警報(浸水害)の危険度分布)



気象庁HP <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:inund/lat:33.718057/lon:130.618515/zoom:10/colordepth:normal>

短時間強雨による浸水害発生の危険度の高まりを、地図上で1km四方の領域ごとに5段階で色分けして示す情報です。常時10分毎に更新しており、雨が強まってきたときや大雨警報(浸水害)などが発表されたときに、どこで危険度が高まっているのかを把握することができます。

色が持つ意味	住民等の行動の例*	想定される周囲の状況例
<b>災害切迫</b> 大雨特別警報(浸水害)の指標に用いる基準に実況で到達	(立ち退き避難がcaえて危険な場合) <b>命の危険直ちに身の安全を確保!</b> 【警戒レベル5相当】	重大な浸水害が切迫。 浸水害がすでに発生している可能性が高い状況。
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難!> ~~~~~		
<b>危険</b> 1時間先までに警戒基準を大きく超過した基準に到達すると予想	周囲の状況を確認し、 <b>各自の判断で、屋内の浸水が及ばない階に移動</b> する。	道路が一面冠水し、側溝やマンホールの場所が分からなくなるおそれがある。道路冠水等のために鉄道やバスなどの交通機関の運行に影響が出るおそれがある。周囲より低い場所にある多くの家屋が、床上まで水に浸かるおそれがある。
<b>警戒</b> 1時間先までに警戒基準に到達すると予想	<b>安全確保行動をとる準備</b> が整い次第、早めの行動をとる。高齢者等は速やかに安全確保行動をとる。	側溝や下水が溢れ、道路がいつ冠水してもおかしくない。周囲より低い場所にある家屋が、床上まで水に浸かるおそれがある。
<b>注意</b> 1時間先までに注意基準に到達すると予想	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意。ただし、 <b>各自の判断で、住宅の地下室からは地上に移動し、道路のアンダーパスには近づかないようにする。</b>	周囲より低い場所で側溝や下水が溢れ、道路が冠水するおそれがある。住宅の地下室や道路のアンダーパスに水が流れ込むおそれがある。周囲より低い場所にある家屋が、床上まで水に浸かるおそれがある。
<b>今後の情報等に留意</b>	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意。	普段と同じ状況。雨のときは、雨水が周囲より低い場所に集まる。

\* 浸水キキクルに関わらず、自治体から避難情報が発令された場合や下水道管理者から氾濫危険情報等が発表された場合には速やかに避難行動をとること。  
気象庁ホームページより抜粋して掲載

# 土砂による災害

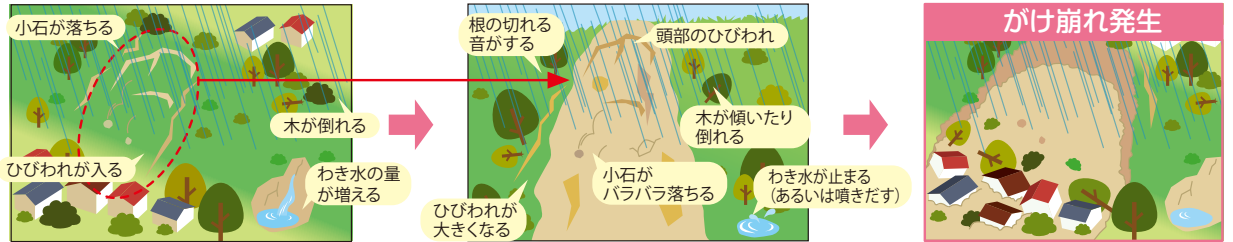
大雨などにより、地中にしみこんだ水分などが起因となり、大きな災害に発展する場合があります。事前にその災害のメカニズムを理解し、身近に起こりえる災害に対応しましょう。

## 土砂災害

いつ土砂災害が起きてもおかしくないときに発表される土砂災害警戒情報が発表されていなくても、ふだんと異なる状況「土砂災害の前兆」に気づいた場合には、直ちに周りの人と安全な場所へ避難しましょう。また、日ごろから危険箇所や避難所・避難経路を確認しておくことも重要です。

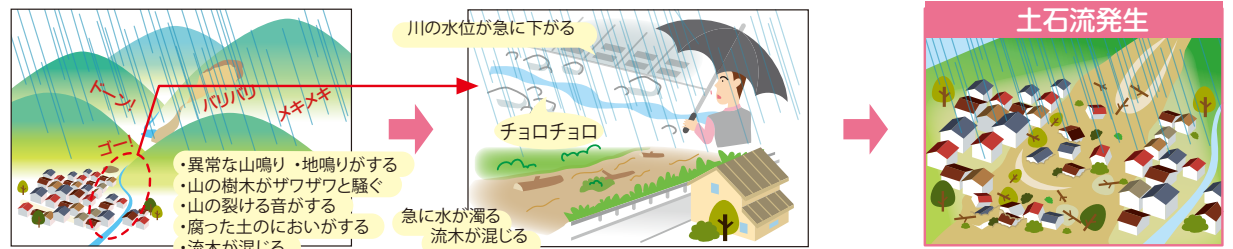
### がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは、突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



### 土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



### 地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によって、ゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土壌量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



\* 上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

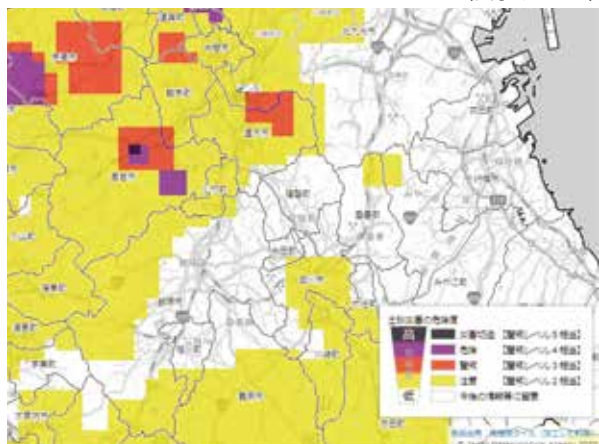
## 土砂キキクル(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)



気象庁HP <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land/lat:33.718057/lon:130.618515/zoom:10/colordepth:normal>

土砂災害の危険度の高まっている地域を1km四方の領域ごとに5段階で色分け表示しています。避難にかかる時間などを考慮して、2時間先までの予測値を用いており(10分ごとに更新)、大雨警報(土砂災害)、土砂災害警戒情報、記録的短時間大雨情報などが発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。

(表示イメージ)



色が持つ意味	状況	住民等の行動の例 <sup>*1</sup>	内閣府のガイドラインで発令の目安とされる避難情報	相当する警戒レベル
<b>災害切迫</b> 大雨特別警報(土砂災害)の指標に用いる基準に実況で到達	命に危険が及ぶ土砂災害が切迫。土砂災害がすでに発生している可能性が高い状況。	(立ち退き避難がかえって危険な場合) <b>命の危険</b> 直ちに身の安全を確保!	<b>緊急安全確保<sup>*2</sup></b>	<b>5相当</b>
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難!> ~~~~~				
<b>危険</b> 2時間先までに土砂災害警戒情報の基準に到達すると予想	命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況。	土砂災害警戒区域等の外へ避難する。	<b>避難指示</b>	<b>4相当</b>
<b>警戒</b> 2時間先までに警戒基準に到達すると予想	土砂災害への警戒が必要な状況。	高齢者等は土砂災害警戒区域等の外へ避難する。高齢者等以外の方も、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自ら避難の判断をする。	<b>高齢者等避難</b>	<b>3相当</b>
<b>注意</b> 2時間先までに注意基準に到達すると予想	土砂災害への注意が必要な状況。	ハザードマップ等により避難行動を確認する。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	<b>2相当</b>
<b>今後の情報等に留意</b>	—	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	—

\*1 土砂キキクルに関わらず、自治体から避難情報が発令された場合には速やかに避難行動をとること。

\*2 災害が発生・切迫している状況が必ず把握することができるとは限らないこと等から、緊急安全確保は必ず発令される情報ではない。また、警戒レベル5相当情報が出たからといって、必ず緊急安全確保が発令されるわけではない。

気象庁ホームページより抜粋して掲載

# 地震による災害

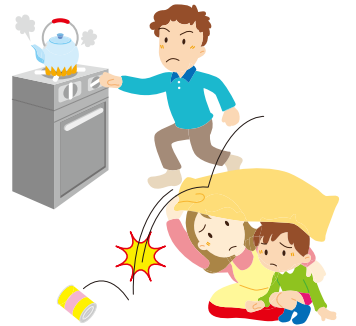
大地震が起きると「振動(揺れ)」「液状化」「土砂災害」「火災」などがほぼ同時に起こり、大きな被害が生じるおそれがあります。周囲の状況を確認して、まず自分の身の安全を確保し、自治体や消防、警察などの指示に従って近所の人と一緒に徒歩(原則)で避難所など安全な場所に避難しましょう。

## 地震発生時の時間経過別行動マニュアル

地震発生

### 最初の大きな揺れは約1分間

- まず、身を守る安全確保 手近な座布団などで頭を保護
- すばやく火の確認 ガスの元栓、コンセント
- 大きな揺れの場合は、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所に一時避難する



### 揺れがおさまったら

- 火元を確認 火が出たら、落ち着いて初期消火
- 家族の安全を確認 倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
- 靴をはく 家の中は、ガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
- 避難するときは、屋根瓦・ブロック塀・自動販売機などに注意
- 津波などの危険が予想される地域は、すぐ避難



### みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

- 隣近所に声をかけよう ●要配慮者の安全確保 隣近所で助け合う
- 行方不明者はいないか ●ケガ人はいないか
- 出火防止 初期消火 ●初期消火 消火器を使う バケツリレー 風呂の水は、ため置きをしておく
- 漏電・ガス漏れに注意 ●電気のブレーカーを下ろす・ガスの元栓を閉める ●余震に注意

### ラジオなどで正しい情報を得る

- 大声で知らせる ●救出・救護を求める
- 防災機関、自主防災組織の情報を確認 ●デマにまどわされないように
- 避難時に車は、極力使用しない ●電話は、緊急連絡を優先する



### 協力して消火活動、救出・救護活動

- 水、食料は、蓄えているものでまかなう
- 災害・被害情報の収集 ●無理は、やめよう
- 助け合いの心が大切 ●壊れた家に入らない

1~2分

3分

5分

10分  
数時間

3日

### 屋内 にいた場合

#### 家の中

- 揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。
- 火の確認は、すみやかに(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)。
- 乳幼児や高齢者など要配慮者の安全を確保する。
- 裸足で歩き回らない(ガラスの破片などでケガをする)。

#### 集合住宅

- 避難にエレベーターは、絶対に使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。

#### デパート・スーパー

- カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウや商品棚などから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。

#### 劇場・ホール

- カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示を聞く。
- あわてずに冷静な行動をとる。



### 屋外 にいた場合

#### 路上

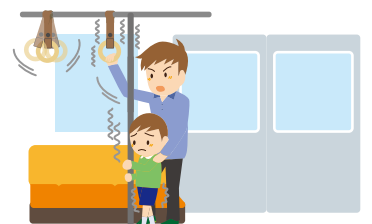
- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- 近くに空き地などが無いときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機などには、近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。

#### 車を運転中

- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両などの通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオなどで情報を収集する。
- 避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。

#### 電車などの車内

- つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- 途中で止まっても、非常ロックを開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
- 乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。

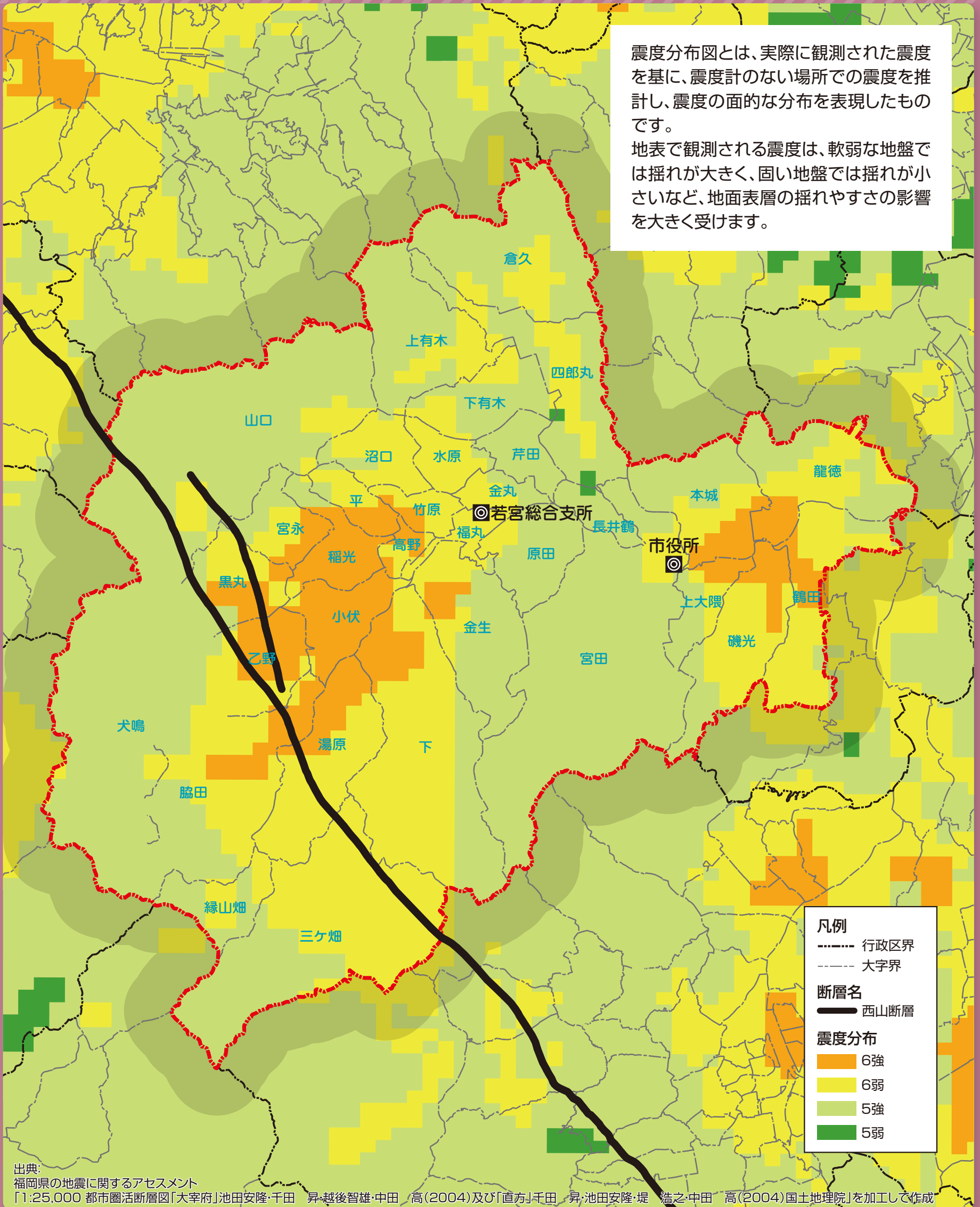


# 震度分布図

地震による犠牲者の多くは、地震発生直後の建物倒壊や家具の転倒によるものです。皆さん自身が「自分の身は、自分で守る」、「自分たちの地域は、自分たちで守る」と考え、地震に備えることが必要です。

震度分布図とは、実際に観測された震度を基に、震度計のない場所での震度を推計し、震度の面的な分布を表現したものです。

地表で観測される震度は、軟弱な地盤では揺れが大きく、固い地盤では揺れが小さいなど、地面表層の揺れやすさの影響を大きく受けます。



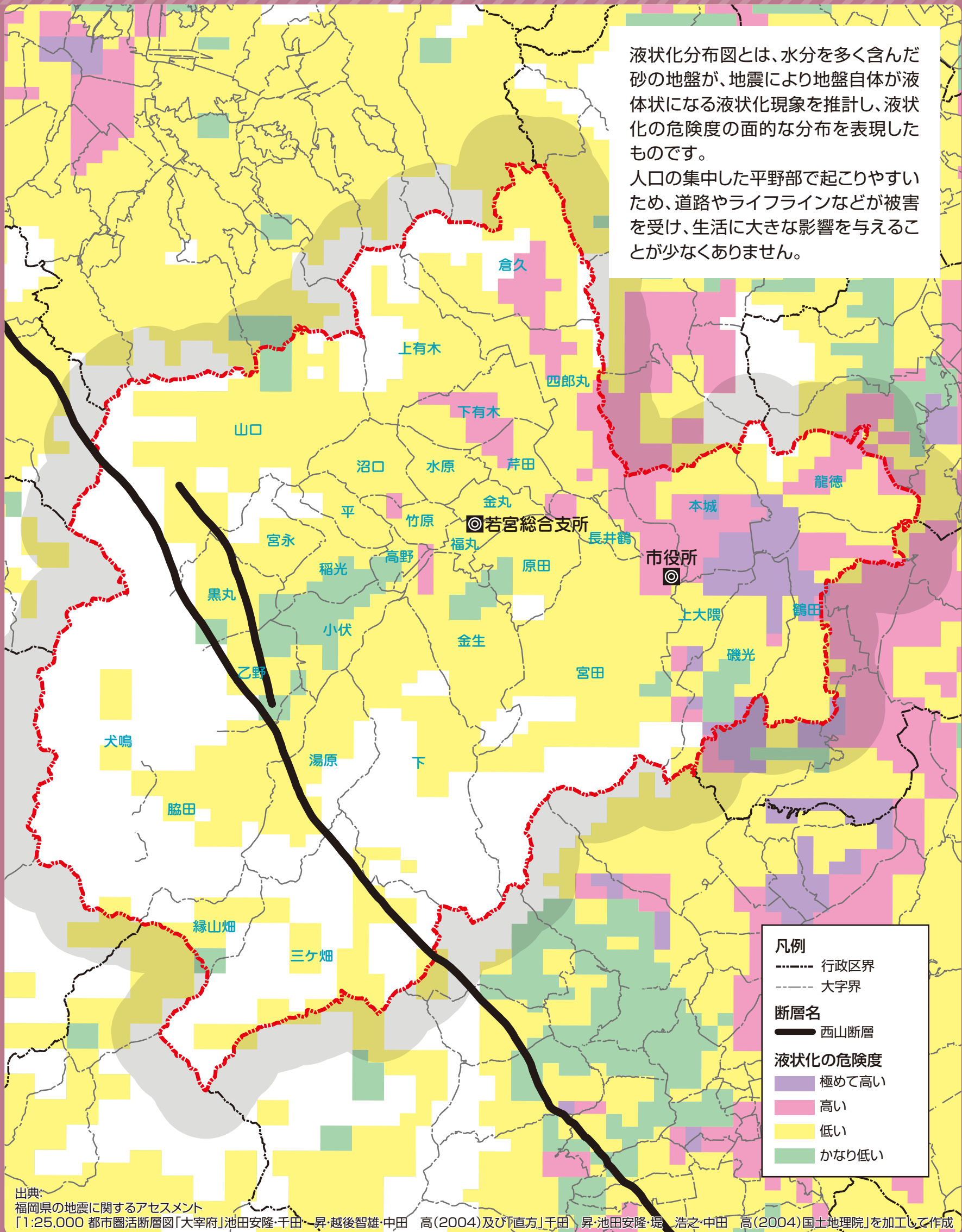
出典: 福岡県の地震に関するアセスメント  
1:25,000 都市圏活断層図「大宰府」池田安隆・千田 昇・越後智雄・中田 高(2004)及び「直方」千田 昇・池田安隆・堤 浩之・中田 高(2004)国土地理院を加工して作成



# 液状化分布図

液状化は、現実的に起こりうる問題として認識しておきましょう。液状化危険度の高い場所を避けた避難経路などを確認しておきましょう。

液状化分布図とは、水分を多く含んだ砂の地盤が、地震により地盤自体が液体状になる液状化現象を推計し、液状化の危険度の面的な分布を表現したものです。  
人口の集中した平野部で起こりやすいため、道路やライフラインなどが被害を受け、生活に大きな影響を与えることが少なくありません。



凡例	
-----	行政区界
-----	大字界
断層名	
———	西山断層
液状化の危険度	
■	極めて高い
■	高い
■	低い
■	かなり低い

出典: 福岡県の地震に関するアセスメント  
[1:25,000 都市圏活断層図「大宰府」池田安隆・千田 昇・越後智雄・中田 高(2004)及び「直方」千田 昇・池田安隆・堀 浩之・中田 高(2004)国土地理院]を加工して作成

# 火災

1人で消せるだろうと考えず、隣近所に火事を知らせ、すみやかに119通報を。初期消火で火事を消せなかったら、すばやく避難しましょう。

## 初期消火の3原則

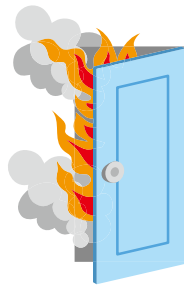
### 1 早く知らせる

- 「火事だ」と大声を出し、隣近所に援助を求める。声が出なければやかんなどを叩き、異変を知らせる。
- 小さな火でも119番に通報する。当事者は消火にあたり、近くの人に通報を頼む。



### 2 早く消火する

- 出火から3分以内が消火できる限度。
- 水や消火器だけで消そうと思わず、座布団で火を叩く、毛布で覆うなど身近なものを活用する。



### 3 早く逃げる

- 天井に火が燃え移った場合は、速やかに避難する。
- 避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を絶つ。

## 火元別初期消火のコツ

### 油なべ

あわてて水をかけるのは厳禁。消火器がなければ濡らした大きめのタオルやシーツを手前からかけ、空気を遮断して消火を。

### ストーブ

消火器は直接火元に向けて噴射する。石油ストーブの場合は粉末消火器で。消火器がない場合は、水にぬらした毛布などを手前からすべらせるようにかぶせ、空気を遮断する。

### 衣類

着衣に火がついたら転げまわって消すの方法。髪の毛の場合なら衣類(化繊は避ける)やタオルなどを頭からかぶる。

### 風呂場

風呂場からの出火に気づいても、いきなり戸を開けるのは禁物。空気が室内に供給されて火勢が強まる危険がある。ガスの元栓を閉め、徐々に戸を開けて一気に消火を。

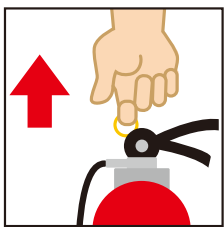
### 電気製品

いきなり水をかけると感電の危険が。まずコードをコンセントから抜いて(できればブレーカーも切る)消火を。

### カーテン・ふすま

カーテンやふすまなどの立ち上がり面に火が燃え広がったら、もう余裕はない。引きちぎり蹴り倒して火元を天井から遠ざけ、その上で消火を。

## 消火器の使い方



安全ピンに指をかける上に引き抜く。



ホースをはずして火元に向ける。



レバーを強く握って噴射する。

### 消火器のかまえ方

- 風上に回り風上から消す。炎にはまともに正対しないように。
- やや腰を落して姿勢をなるべく低く。熱や煙を避けるように構える。
- 燃え上がる炎や煙にまどわされずに燃えているものにノズルを向け、火の根元を掃くように左右に振る。

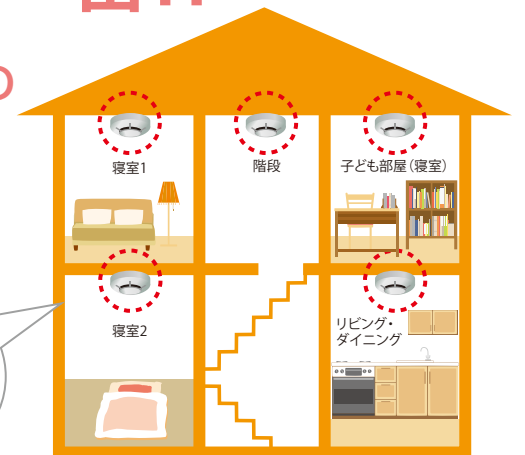
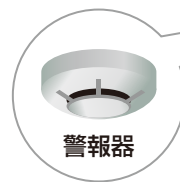


## 火災予防が一番!!

### 住宅用火災警報器の設置は義務

消防法により、住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。

火災による死傷者をなくすためにも設置しましょう。



住宅内取付位置図

### 火災警報器の設置場所

- 寝 室…すべての寝室(子ども部屋や老人の居室など就寝に使われている場合は対象となります)への設置が必要です。
- 階 段…寝室のある部屋の階段の天井などへの設置が必要です。
- 台 所…台所への設置もおすすめします。

# 防災情報の収集

防災行政無線やホームページ、SNSなどを通じて防災情報を発信しています。必ず確認するようにしましょう。

## 宮若市からの防災情報

### 宮若市の防災情報ウェブサイト

宮若市内の防災情報について掲載しています。

<https://www.city.miyawaka.lg.jp> から **いざという時のために「防災・防犯サイト」** クリック

宮若市 防犯・防災サイト



### 緊急速報メール(エリアメール)

災害が発生する恐れがある場合や災害発生時に、緊急速報メール(エリアメール)で必要な情報を迅速に提供しています。

※機種により「緊急速報メール」を受信できない場合や受信設定が必要となる場合がありますので、詳しくは各携帯会社へご確認ください。

### 防災行政無線やSNSなど

防災行政無線は、災害情報や全国瞬時警報システム(J-ALERT)による発令情報などの緊急性や重要性の高い情報を一斉にお知らせするための仕組みです。内容は、必ずご確認ください。SNSでも災害情報などをお知らせしています。

防災行政無線の内容が聞き取りづらい場合は、内容の確認ができます。

※宮若市防災行政無線音声ガイド:0800-200-9945 (通話料無料)

※宮若市LINE <https://www.city.miyawaka.lg.jp/kiji003447748/index.html>



## その他機関からの防災情報

### 県の防災情報 避難情報の発令状況など

福岡県防災ホームページ

<https://www.bousai.pref.fukuoka.jp/>

【お問い合わせ先】総務部防災危機管理局消防防災指導課 TEL:092-643-3113



### 九州電力送配電(停電情報)

[https://www.kyuden.co.jp/td\\_teiden\\_map/index.php/map/](https://www.kyuden.co.jp/td_teiden_map/index.php/map/)



### 防災アプリ まもるくん(福岡県)

災害時の情報などをアプリで確認できます。

【対応OS】Android バージョン8.0以降

iOS バージョン11.0以降



Google Play



App Store

### テレビ・ラジオ

ニュースや天気予報番組だけでなく、データ放送では、気象情報や防災情報について常時放送しています。



### 防災メール まもるくん(福岡県)

災害時の情報などをメールでお知らせします。

※受信には事前の登録が必要です。

<https://www.bousai.pref.fukuoka.jp/mamorukun/>



## 水害・土砂災害に関する防災情報

気象	注意報、警報、特別警報 土砂災害警戒情報 雨量レーダー情報 など	宮若市の防災情報ページ(気象庁) <a href="https://www.jma.go.jp/bosai/#pattern=default&amp;area_type=class20s&amp;area_code=4022600">https://www.jma.go.jp/bosai/#pattern=default&amp;area_type=class20s&amp;area_code=4022600</a> 【お問い合わせ先】 福岡管区気象台 TEL:092-725-3600	気象庁ホームページ <a href="https://www.jma.go.jp/jma/index.html">https://www.jma.go.jp/jma/index.html</a>
水害	雨量情報 河川水位情報 ダム情報 河川監視カメラ映像 洪水浸水想定区域 など	国土交通省: 川の防災情報 <a href="https://www.river.go.jp/">https://www.river.go.jp/</a> 【お問い合わせ先】 ◆国土交通省が管理する河川 九州地方整備局水災害予報センター TEL:092-707-0110 遠賀川河川事務所防災情報課 TEL:0949-22-1830	福岡県総合防災情報 <a href="http://doboku-bousai.pref.fukuoka.lg.jp/gis_top/">http://doboku-bousai.pref.fukuoka.lg.jp/gis_top/</a> ◆福岡県が管理する河川 福岡県土整備部河川管理課 TEL:092-643-3668
土砂災害	土砂災害関連情報 土砂災害危険度情報 土砂災害警戒区域 など	福岡県土整備部砂防課 <a href="https://sogo-bousai.pref.fukuoka.lg.jp/sabo/">https://sogo-bousai.pref.fukuoka.lg.jp/sabo/</a> 【お問い合わせ先】 福岡県土整備部砂防課 TEL:092-643-3678	

# 防災対策とチェック

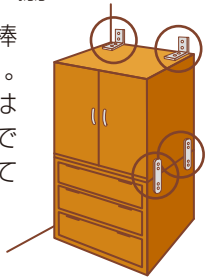
突然の災害に備えて、今、自分たちでできることを見回してみましょ。日頃から対策ができているか、チェックしましょ。

## 家具の転倒 落下を防ぐ ポイント

●事前に準備出来ているか、チェックしましょ。

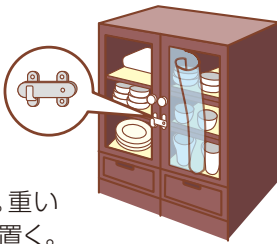
### タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



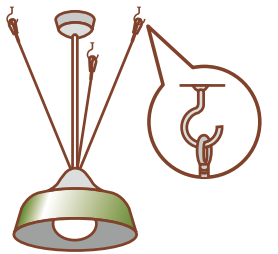
### 食器棚

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



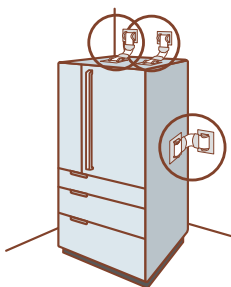
### 照明

チェーンと金具を使って数か所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。



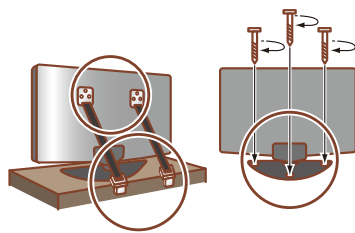
### 冷蔵庫

所定の取り付け場所(運搬用取っ手など)を転倒防止ベルトで壁や柱に固定する。



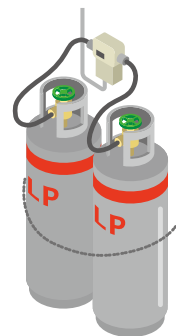
### テレビ

テレビ台とテレビを直接固定するのが有効。脚などに専用の取り付け箇所がある場合はボルトなどで取り付け、そうでないものは転倒防止ベルトなどで固定する。



### ガスボンベの 転倒防止

高圧ガスボンベの転倒防止措置は保安法でも定められています! 対策としてはボンベスタンドなど固定器、チェーンなどでしっかりと固定する。



## 土砂災害の 予防策

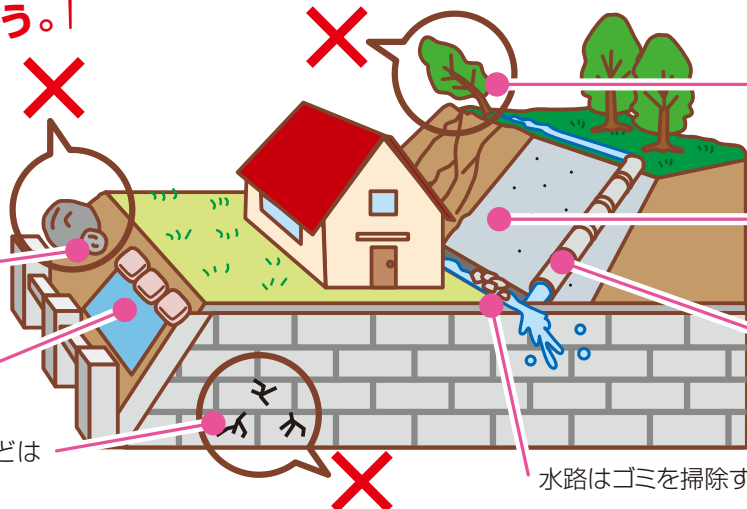
●がけや斜面の近くでは特に次のようなことを心がけましょ。

**斜面の状態の変化に  
十分注意しましょ。**

落ちそうな岩や土のかたまりは撤去する。

崩れそうな所は木や板の柵、石積をする。

こわれた石垣などは修理や補強を。



風でゆれる大きな木は地面をゆさぶられないよう枝を切る。

がけの危険な部分はビニールなどで覆い、雨水の浸みこみを防ぐ。

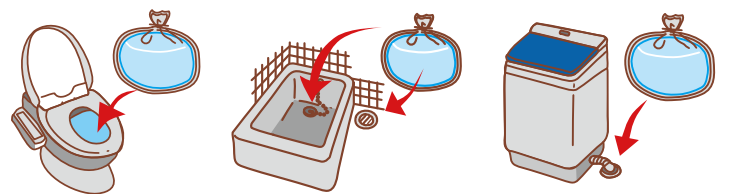
雨水をがけに流さないように水路を造る。

水路はゴミを掃除する。

## 住宅の 浸水被害を 防ぐには

浸水深が小さいときは、家庭にあるものを使って、水の侵入口となるところを塞ぐことで水の侵入を減少させることができます。トイレなどの逆流防止にも有効です。

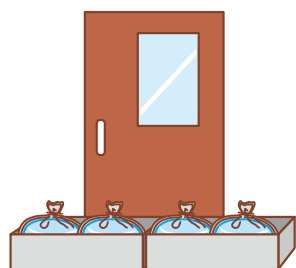
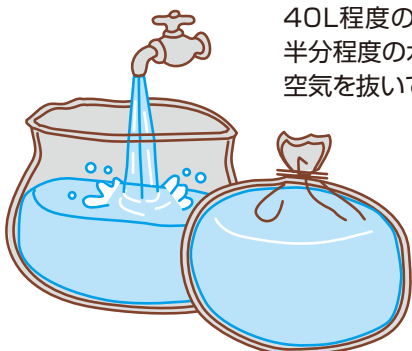
※実施の際には避難の妨げにならないように気を付けてください。



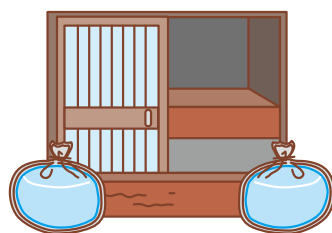
排水口からの逆流対策に

## 「水のう」の作り方

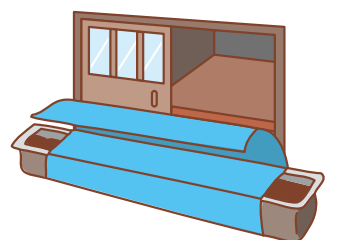
40L程度のゴミ袋を二重にして半分程度の水を入れる  
空気を抜いて口をしぼる



段ボールなどに入れて並べる



長めの板状のものと組み合わせて止水板に

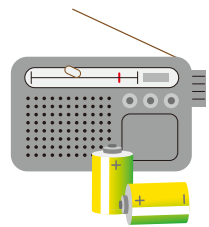


土を入れたプランターをレジャーシートなどで包むのも有効

# 非常時の持ち出し品の準備とチェック

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検をしておきましょう。日頃から準備できているか、チェック☑しましょう。(避難の際に自宅から持ち出すもの)

## 非常時 持ち出し品 (例)



### 携帯ラジオ

- ラジオ
- 電池  
(多めに用意)



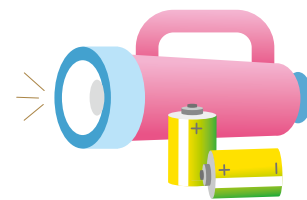
### 救急医療品

- 常備薬
- 傷薬
- 風邪薬
- ばんそうこう
- 鎮痛剤
- 包帯
- 胃腸薬



### 貴重品

- 現金
- 印鑑
- 健康保険証
- マイナンバーカード
- 預金通帳
- 免許証
- 権利証書



### 懐中電灯

- 懐中電灯  
(できれば一人にひとつ)
- 電池  
(多めに用意)

## 非常食品など

火を通さないで食べられるもの、食器など

- 非常用食品
- 缶切り
- 紙皿
- 水筒
- 缶詰
- ミネラルウォーター
- 栓抜き
- 紙コップ

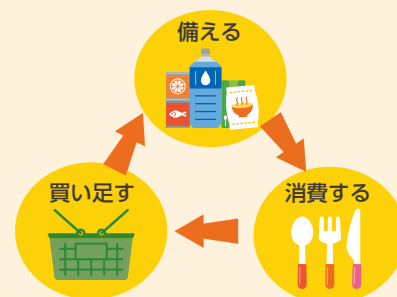


## その他

- 衣類(下着・上着など)
- ヘルメット
- ラップフィルム  
(止血や食器にかぶせて使う)
- 防災マップ(本書)
- 雨ガッパ
- ライター
- 携帯電話の充電器
- お薬手帳
- 
- 
- 
- 

## ローリングストックとは

日常の食料を多めに購入し、消費期限前に消費して、その都度買い足すことにより食料などを保有する方法です。福岡県備蓄計画では、各家庭において避難生活に必要な物資の最低3日分の備蓄に努めることとされています。



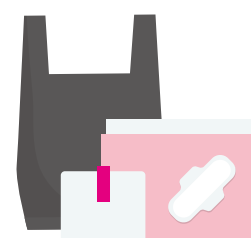
## 子どもがいる家庭の備え

- ミルク(キューブタイプ)
- 使い捨て哺乳瓶
- 離乳食
- 携帯カトラリー
- 子ども用紙オムツ
- お尻ふき
- 携帯用お尻洗浄機
- ネックライト
- 抱っこひも
- 子どもの靴



## 女性の備え

- 生理用品
- おりものシート
- サニタリーショーツ
- 中身の見えないごみ袋
- 防犯ブザー／ホイッスル



## 高齢者がいる家庭の備え

- 大人用紙パンツ
- 杖
- 補聴器
- 入れ歯
- 入れ歯用洗浄剤
- 男性用吸水パッド
- デリケートゾーンの洗浄剤
- 持病の薬



## 感染症対策としての持ち出し品

- マスク
- アルコール消毒液
- スリッパ
- 手洗い石けん
- 体温計
- ウェットティッシュ
- タオル



# 日頃からの備え

災害に強い地域づくりを目指して、災害時の被害を軽減するため、「自主防災組織」活動を通じて、地域の防災力の強化、共助の強化に向けた取組を始めてみませんか？

## 自主防災組織で地域を守る

自主防災組織とは、地域の皆さんが災害に対して協力し合う組織です。自主防災組織を結成し、地域防災活動を行うことで災害に強いまちづくりを目指しましょう。

### ■ 平常時の活動

#### 作ろう、参加しよう、育てよう!

大きな災害では、行政や関係機関の対応に時間がかかることがあります。個人や家族の力だけでは限界があります。日頃の付き合いがある隣組や自治会などで、互いに助け合い、協力し合える体制づくりをしましょう。



#### みんなで学ぼう!

防災に関心を持ち、防災に関する知識を身につけましょう。災害が起こったときに予想される事態や対応について話し合みましょう。

#### 地域を点検しよう!

地域の皆さんで事前に確認しましょう。

- 消火栓の上や防火水槽の近くに、違法駐車や放置自転車などの障害物はありませんか？
- 避難所を皆さんが知っていますか？
- 避難経路に危険な場所は、ありませんか？

#### 訓練をしよう!

いざというとき、正しい行動が取れるように、災害の発生を具体的に想定した防災訓練を定期的に行いましょう。

- 消火器の使い方
- 心肺蘇生法(心臓マッサージの方法、AEDの使用方法)



### ■ 災害時の活動

- 初期消火活動 火が天井にまわるまでには消火器などを用いた初期消火が可能。
- 避難誘導 高齢者や障がいがある方々などへの避難支援。
- 救出・救助 被災者の救出。救護所への搬送。
- 情報の収集・伝達 災害に関する正しい情報の収集とその伝達。
- 避難所の管理・運営 水や食料などの配給、炊き出しなどの給食・給水活動。



## 災害時に特に配慮を要する方々への支援

障がいのある方など、災害時に特に配慮を要する方々は、災害発生時の対応に地域の皆さんの支援が必要になります。地域で協力し合いながら、安否確認、避難所への移動、避難生活の支援をしましょう。

### 高齢者や病気の方

お年寄りや子ども、病気の方などは、早めの避難が必要です。皆さんで協力して避難しましょう。



### 体の不自由な方

車いすの方の場合、階段は、必ず3人以上で! 昇るときは、前向きに、降りるときは後ろ向きにします。



### 耳の不自由な方

話すときは、まっすぐ顔を向け、口を大きくはっきり動かしましょう。手話、筆談、身ぶりなどの方法で正確に情報を伝えましょう。



### 目の不自由な方

はっきり、ゆっくり大きな声で話しかけましょう。誘導する場合は、ひじの辺りを軽く持ってもらいゆっくりした速度で半歩前を歩きましょう。



# 避難所・公共機関一覧

## 指定緊急避難場所・指定避難所一覧

※避難所へ避難される際は、事前に避難所の開設状況をご確認のうえ避難してください。(確認先:宮若市役所 防災安全係 TEL0949-32-0511)

施設名	所在地	管理担当連絡先
旧宮田中学校	宮若市宮田4705	0949-32-1007
宮田南小学校	宮若市宮田3461	0949-32-0066
宮田北小学校	宮若市龍徳1464	0949-33-1367
旧宮田東小学校	宮若市磯光573	0949-32-1007
旧宮田小学校	宮若市磯光1888-6	0949-32-1007
光陵小学校	宮若市磯光1317-10	0949-34-3911
宮若東中学校	宮若市宮田3410-2	0949-33-3501
B&G海洋センター	宮若市宮田251-4	0949-32-0076
笠松研修センター	宮若市下有木786	0949-32-5020
宮若西小学校・中学校	宮若市金丸417-1	0949-52-2802
旧若宮小学校	宮若市福丸304-1	0949-32-1007
宮若トレッジ	宮若市宮永11-1	0949-32-3210
旧若宮南小学校	宮若市三ヶ畑420	0949-32-1007
市民体育館	宮若市高野577-1	0949-52-0859
中央公民館若宮分館	宮若市高野572	0949-52-0859
若宮コミュニティセンター	宮若市福丸272-1	0949-52-1111
西鞍の丘総合運動公園	宮若市乙野601	0949-52-0859
光陵グリーンパーク	宮若市磯光1668-2	0949-33-1515
マリーホール宮田	宮若市宮田72-1	0949-32-0123

### 指定緊急避難場所

居住者などが災害から命を守るために緊急的に避難する施設又は場所

### 指定避難所

避難した居住者などが災害の危険がなくなるまで一定期間滞在し、又は災害により自宅へ戻れなくなった居住者などが一時的に滞在する施設

## 公共機関一覧・緊急連絡先

施設名	所在地	電話番号
宮若市役所本庁	宮若市宮田29-1	0949-32-0510
若宮総合支所	宮若市福丸272-1	0949-52-1111
宮田消防署	宮若市宮田16-1	0949-32-1130
若宮出張所	宮若市福丸260-6	0949-52-0310
直方警察署	直方市殿町5-31	0949-22-0110
宮若警部交番	宮若市本城422-8	0949-22-0110 ※直方警察署からの 転送電話になります。
下有木駐在所	宮若市下有木285-3	
若宮駐在所	宮若市金丸790-10	
吉川駐在所	宮若市脇田636-1	
山口駐在所	宮若市山口2551-4	
国土交通省 遠賀川河川事務所	直方市溝堀1-1-1	0949-22-1830
遠賀川河川事務所 宮田出張所	宮若市本城422-6	0949-32-0364
相生会宮田病院	宮若市本城1636	0949-32-3000
九州電力飯塚営業所		0120-986-104
NTT西日本		0120-444-113

## ！感染症対策へのご協力をお願いします

### 1 手洗い 正しい手の洗い方

【手洗いの前に】・爪は短く切っておきましょう ・時計や指輪は外しておきましょう

- 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。
- 手の甲をのぼすようにこすります。
- 指先・爪の間を念入りにこすります。
- 指の間を洗います。
- 親指と手のひらをねじり洗いします。
- 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

### 2 正しいマスクの着用

- 鼻と口の両方を確実に覆う
- ゴムひもを耳にかける
- 隙間がないよう鼻まで覆う



# 避難行動判定フロー

台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう。

平時に  
確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

## 避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？

必ず取組みましょう

ハザードマップ\*で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

\*ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として、自宅の外に避難が必要です。

例外

浸水の危険があっても、

- ①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である
- ②浸水する深さよりも高いところにいる
- ③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は、自宅にとどまり安全確保することも可能です。

ご自身または一緒に避難する方は、避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル3が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう（日頃から相談しておきましょう）

警戒レベル3が出たら、市区町村が指定している指定避難所に避難しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル4が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう（日頃から相談しておきましょう）

警戒レベル4が出たら、市区町村が指定している指定避難所に避難しましょう



# 住まいが被害を受けたとき最初にするこ

災害で住まいが被害を受けたときは、あまりのショックに、何から手を付けたらいいか分からなくなるかもしれません。被災者の方々が一日も早く日常生活を取り戻せるように、行政も様々な支援に動き出します。それらの支援も受けながら、一歩ずつ再建を進めていきましょう。その支援を受けるためにも、被害状況を写真で撮るようにしましょう。

## 家の被害状況を写真で記録しましょう

片付けや修理の前に、家の被害状況を写真に撮って保存しておきましょう。市町村から罹災証明書を取得して支援を受ける際や、保険会社に損害保険を請求する際などに、たいへん役に立ちます。

**ポイントは、家の外と中の写真を撮ることです。**

### 家の外の写真の撮り方

- カメラ・スマホなどでなるべく4方向から撮影しましょう。
- 浸水した場合は、浸水の深さがわかるように撮影しましょう。

※メジャーなどをあてて「引き」と「寄り」の写真を撮ると、被害の大きさが良くわかります。

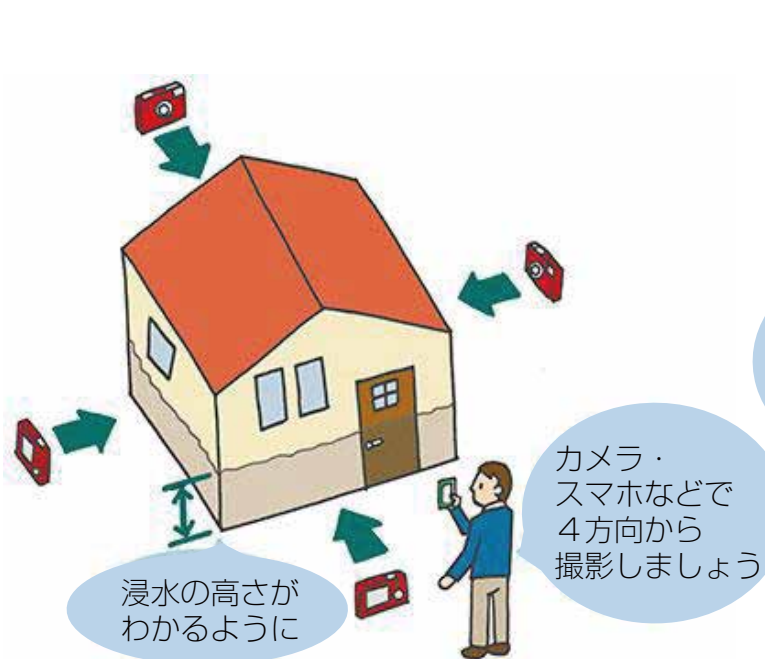
### 家の中の写真の撮り方

- 被災した部屋ごとの全景写真を撮影しましょう。
- 被害箇所の「寄り」の写真を撮影しましょう。

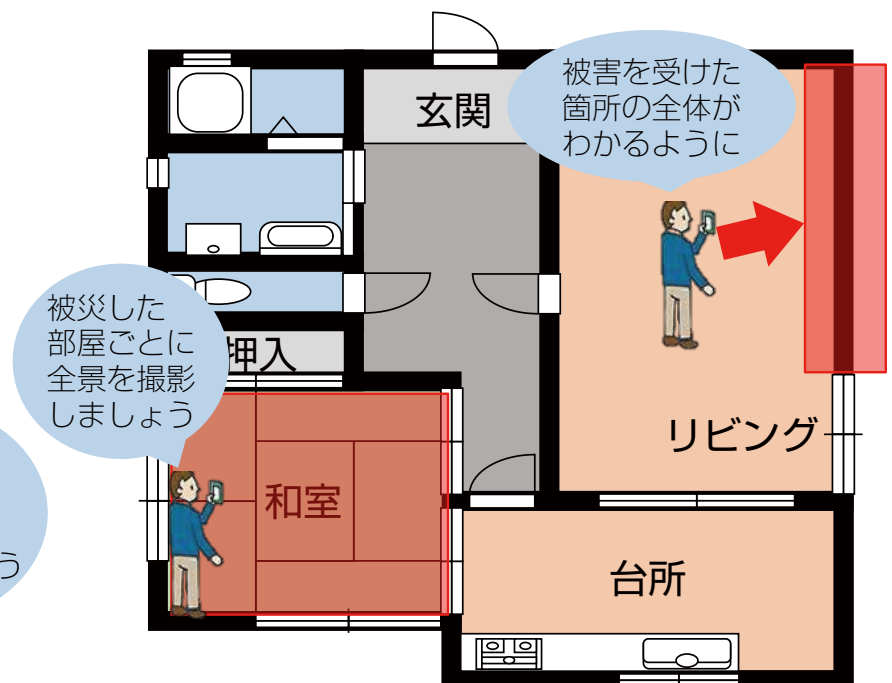
<想定される撮影箇所>

内壁、床、窓、出入口、サッシ、ふすま、障子、システムキッチン、洗面台、便器、ユニットバスなど

### <イメージ図>



★被害を受けた部屋・箇所は全て撮影しましょう。



# マイタイムライン

「台風が発生」してから「川の水があふれる」までを知ろう!!

確認してみよう!

地震はいきなりやってくるけど、  
台風はだんだんやってくるよ!

## 「台風が発生」してから「川の水があふれる」まで



3日前

**1** 台風が発生

天気予報で台風がきたって  
言っているよ。  
まだ雨や風は強くないね。



1日前

**2** 台風が近づいて、  
雨や風がだんだん  
強くなる

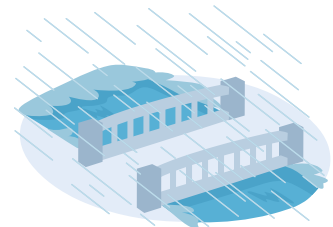
雨や風が強くなると、  
お出かけは大変だね。



半日前

**3** 雨が集まって、  
川の水がだんだん  
増える

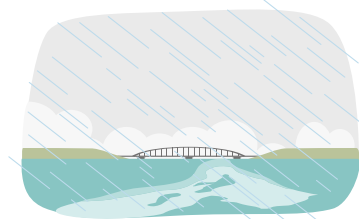
自分がいるところで降って  
いなくても、上流で雨が  
降れば川の水は増えてくるよ。



7時間前

**4** 激しい雨で、川の水が  
どんどん増えて、  
河川敷にも水が流れる

このまま増えると、  
川の水があふれるかも。



5時間前  
〜  
3時間前

**5** 川の水がいっぱい  
あふれそう

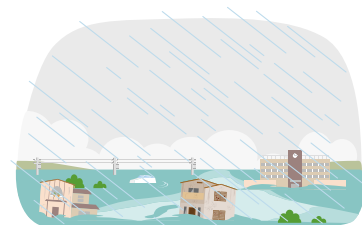
もうギリギリ。川の水が  
あふれる前に、安全な  
ところへ逃げなきゃ!



0時間

**6** 川の水があふれた

川の水が一気に広がって、  
街じゅうが水びたし。  
こうなると動けないぞ。



# マイタイムラインを作ろう

「台風が発生」してから  
「川の水があふれる」まで

台風発生から川の水があふれるまで  
どんな行動をするか書いてみましょう。

3日前

1 台風が発生

台風の情報を調べ始める  
テレビ?インターネット?  
調べる方法はたくさん  
あるよ

1日前

2 台風が近づいて、  
雨や風がだんだん  
強くなる

避難するときに持って  
いくものを準備する  
もちものをリュックに  
入れると両手が使えるよ

半日前

3 雨が集まって、  
川の水がだんだん  
増える

住んでいる場所の上流の  
雨の量を調べ始める  
上流で雨がふっていると、  
下流の川もあぶないよ!

7時間前

4 激しい雨で、川の  
水がどんどん  
増えて、河川敷にも  
水が流れる

川の水位を調べ始める  
直接見に行かないように  
注意しよう

5〜3時間前

5 川の水がいっぱいで  
あふれそう

避難しやすい服装に  
着替える

0時間

6 川の水があふれた

安全な場所に移動を  
開始する

**避難完了**

# 避難所での過ごし方

避難所とは災害の危険性があり避難した住民などが、災害の危険性がなくなるまで必要な間滞在できる、または、災害により家に戻れなくなった住民などが一時的に滞在できる施設です。限られた空間に多くの市民が避難してきます。マスクの着用やうがい手洗いの徹底など、各自感染防止に努めましょう。

## 避難所生活

### 避難所での過ごし方

- 貴重品は、必ず身につけておきましょう。
- トラブルを避けるため、所持品には名前を書いておきましょう。



### 感染症対策を考慮した生活環境

- ごみの管理は、感染症対策に留意するよう心がけましょう。
- トイレなど共同で使用する設備は、清潔に保ちましょう。
- 体調に異変を感じた際は、すぐに体温測定を行い管理者などに知らせましょう。

### 避難所の運営について

- 避難所は、ホテルではありません。助け合いながら生活しましょう。
- 避難所を退所または、一時退所する際には受付で手続きをしましょう。避難者数を正確に把握することは、重要です。
- 食料品や毛布などの備蓄品は、ご持参へのご協力をお願いします。



### 災害弱者への配慮

- 障がいのある人や高齢者、妊婦の方には目配り、気配りを心がけましょう。
- 通路は、できるだけ広く取り、車いすなどがスムーズに通行できるようにしましょう。
- 感染症のみならず、熱中症や食中毒なども考慮するようにしましょう。

## 車中泊での健康管理

### エコノミークラス症候群とは

食事や水分を十分に取らない状態で、車などの狭い座席に長時間座っていて足を動かさないと、血行不良が起こり血液が固まりやすくなります。その結果、血の固まり(血栓)が血管の中を流れ、肺に詰まって肺塞栓などを誘発することを言います。

#### 予防対策

- ときどき、軽い体操やストレッチ運動を行う。
- 十分にこまめに水分を取る。
- ゆったりとした服装をし、ベルトをきつく締めない。
- 眠るときは、足をあげる。

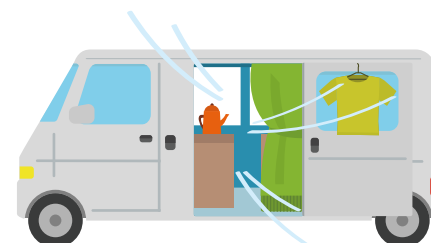


### 一酸化炭素中毒とは

車の中に避難している場合には、長時間冷暖房をつけっぱなしにしていると、一酸化炭素中毒の危険性が高まります。軽度の頭痛、吐き気などから始まり、その後、昏倒、最悪の場合は、死に至ります。

#### 予防対策

- 車中避難を行っている際は、長時間エンジンをかけ続けられないようにしてください。
- エンジンをかける際は、30分から1時間間隔で換気するようにしましょう。
- 大雪の時は、車の外気口(マフラー)が雪で埋もれないよう注意しましょう。



# 感染症対策をふまえた避難のポイント

## 新型コロナウイルスなどの感染症対策

災害発生時や危険度の高まりにより開設された避難所には、多くの市民が避難することになります。新型コロナウイルスやインフルエンザ、風邪など、感染経路が特定できない症例への対応が求められます。少しでも感染リスクを軽減するために平時から備えておきましょう。

### 避難者の健康状態の確認

避難所で健康状態を確認するため、避難される際は、自宅での検温にご協力ください。避難所での体調不良や異変に気付いた際は、速やかに管理者などへ相談してください。

### 手洗い、咳エチケットなどの基本的な対策の徹底

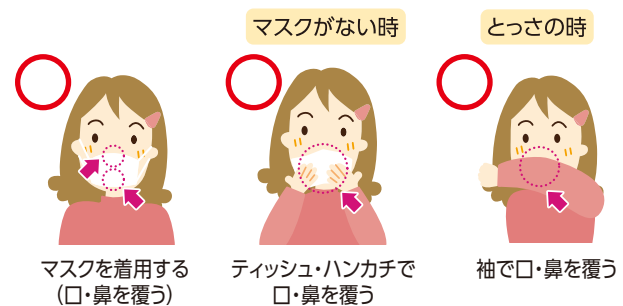
避難者や避難所運営スタッフは、頻繁に手洗いするとともに、マスクの着用など咳エチケットなどの基本的な感染対策を徹底するようにしましょう。

### 避難所の衛生環境の確保

物品などは、定期的に清掃やアルコール消毒するなど、避難所共有物の衛生環境をできる限り整えましょう。

### 親戚や友人の家などへの避難の検討

避難所が過密状態になることを防ぐため、可能な場合は、親戚や友人の家・ホテルなどへの避難を検討しておいてください。



## 感染症対策で非常持ち出し品に加えたいもの

- マスク
- アルコール消毒液
- ハンドソープ・固形石けん (家族もしくは自分用を持参、避難所では共用しない)
- 使い捨てのビニール手袋 (ドアノブなど多くの人が触れるものからの接触感染を防ぐため)
- 使い捨てのビニールエプロンまたはゴミ袋 (避難所運営を協力する際などに使用)
- 体温計 (避難所で用意出来ない場合があるため。使い慣れたものを持参しましょう)
- 上履き (スリッパでも可) (床からの接触感染防止、滑り止め付き:転倒防止・静音機能)
- ティッシュ、ウェットティッシュ、ペーパータオル、ポリ袋 (通常よりも多めに必要)
- 携帯トイレ (トイレは我慢してはいけません。避難所のトイレが使えない場合に備えましょう)



# ハザードマップの見方

ハザードマップは、気象や地震などにより、どの場所がどれくらい被災するか、どのような被害が発生するかということを想定し見える化したものです。



## 確認したいポイント

- 自宅などのある場所が洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域などに指定されていないかなど
- 避難所や避難場所の位置
- 自宅から避難所や避難場所へ向かう経路

※災害時に危険と思われる箇所(河川より低い道路、防護柵のない水路など)を自分の目で見て確認しておくことも大事です。



## 想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域について

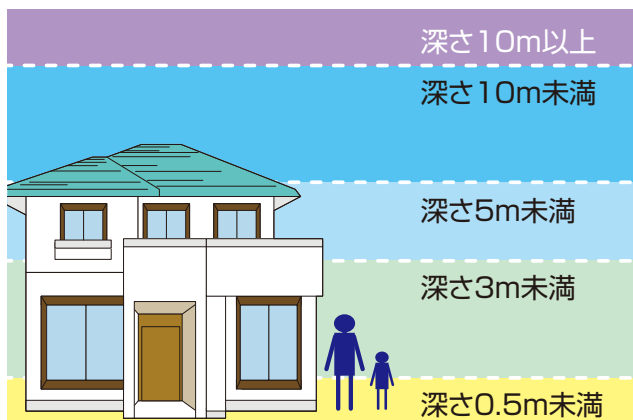
洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、想定し得る最大規模の降雨により河川が氾濫した場合に想定される水深と、家屋倒壊等氾濫想定区域を示したものです。

※それぞれの河川における想定雨量は、右ページ「想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の降雨基準」の通りです。

### ■ 浸水想定区域とは

河川が氾濫した場合、その氾濫水により浸水することが想定される区域です。

「浸水する範囲(浸水域)」と「浸水の深さ(浸水深)」を示しています。

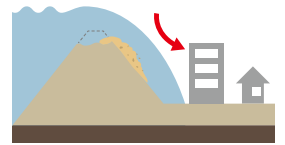


### ■ 家屋倒壊等氾濫想定区域とは

家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域です。

#### ○ 氾濫流想定区域とは

洪水で堤防が破堤(決壊)することで、河川から流れ込む水の力により家屋が流出・倒壊するおそれのある区域です。

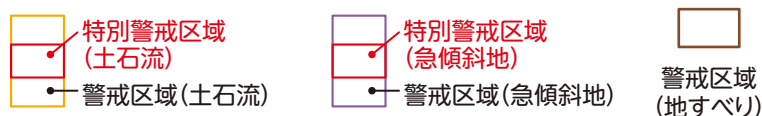


#### ▨ 河岸侵食想定区域とは

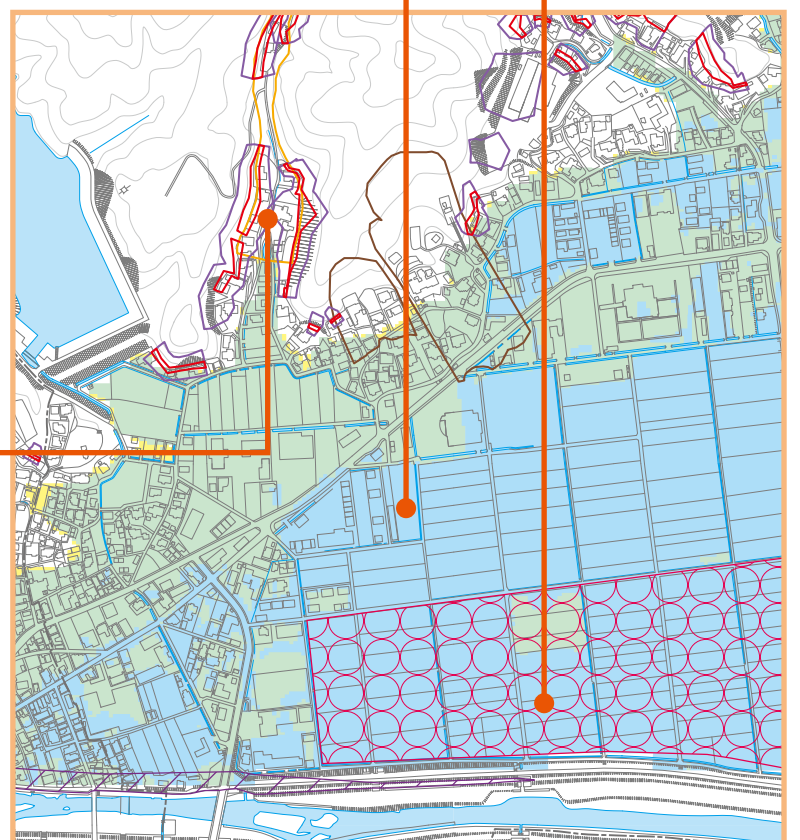
洪水時の河川の激しい流れにより河岸が侵食され、土地が流出し、家屋が流出・倒壊するおそれのある区域です。

## 土砂災害警戒区域について

土砂災害とは、急傾斜地の崩壊や土石流、地すべりを原因として生じる被害のことです。また、土砂災害には被害を防止・軽減するため、危険の周知、警戒避難体制の整備を行う土砂災害警戒区域と、特定の開発行為を許可制とするなどの制限などを行う土砂災害特別警戒区域に分けられます。

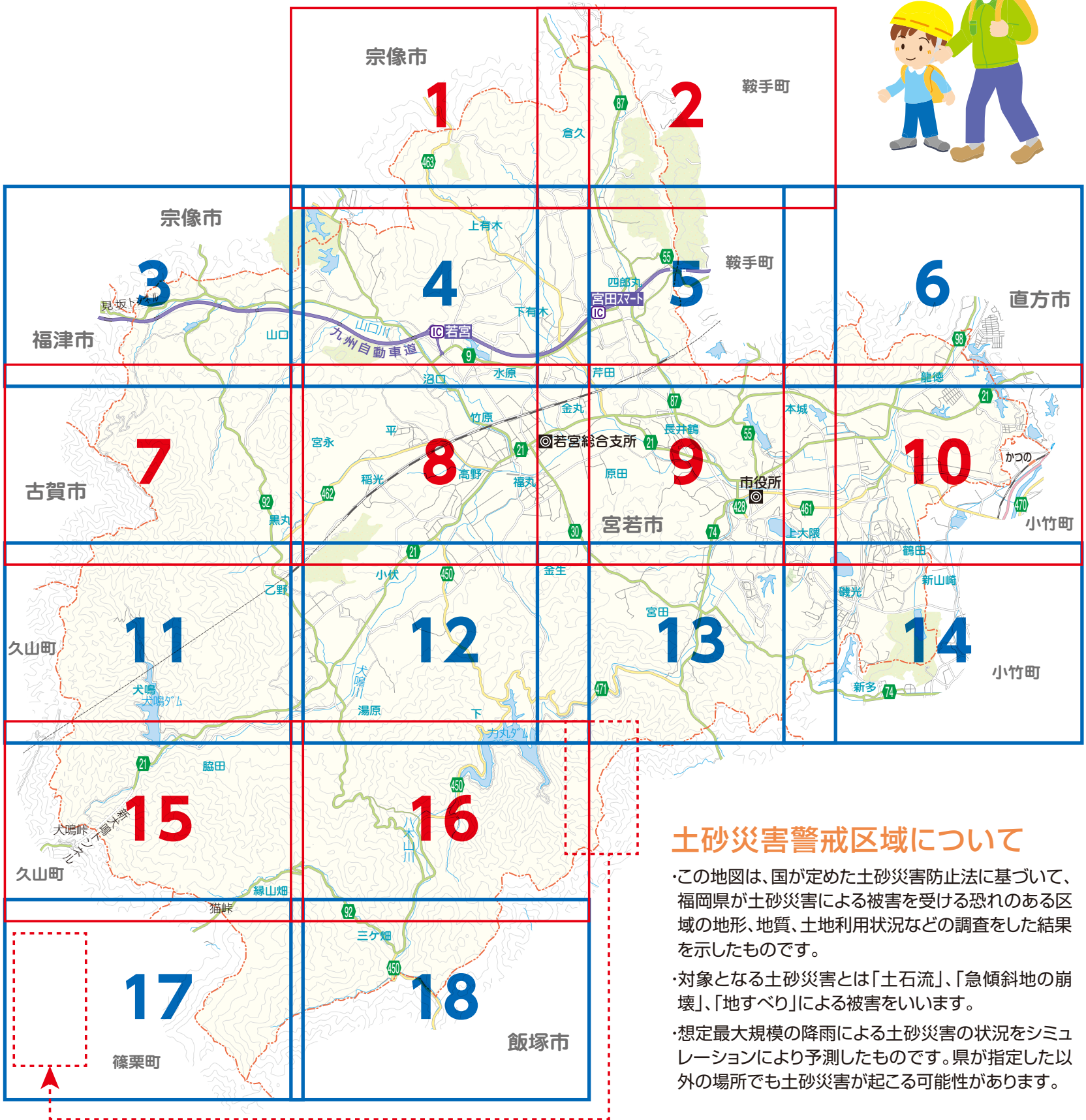


福岡県が指定した、土砂災害警戒区域・特別警戒区域を示しています。



出典  
福岡県管理河川334河川のうち263河川の洪水浸水想定区域図 令和4年11月1日公表分  
土砂災害防止法による指定箇所は令和4年6月30日公表分  
「1:25,000 都市圏活断層図[大宰府]池田安隆・千田 昇・越後智雄・中田 高(2004)及び「直方」千田 昇・池田安隆・堤 浩之・中田 高(2004)国土地理院」を加工して作成

# 全体図・区割り図



## 土砂災害警戒区域について

- ・この地図は、国が定めた土砂災害防止法に基づいて、福岡県が土砂災害による被害を受ける恐れのある区域の地形、地質、土地利用状況などの調査をした結果を示したものです。
- ・対象となる土砂災害とは「土石流」、「急傾斜地の崩壊」、「地すべり」による被害をいいます。
- ・想定最大規模の降雨による土砂災害の状況をシミュレーションにより予測したものです。県が指定した以外の場所でも土砂災害が起こる可能性があります。

## 洪水浸水想定区域について

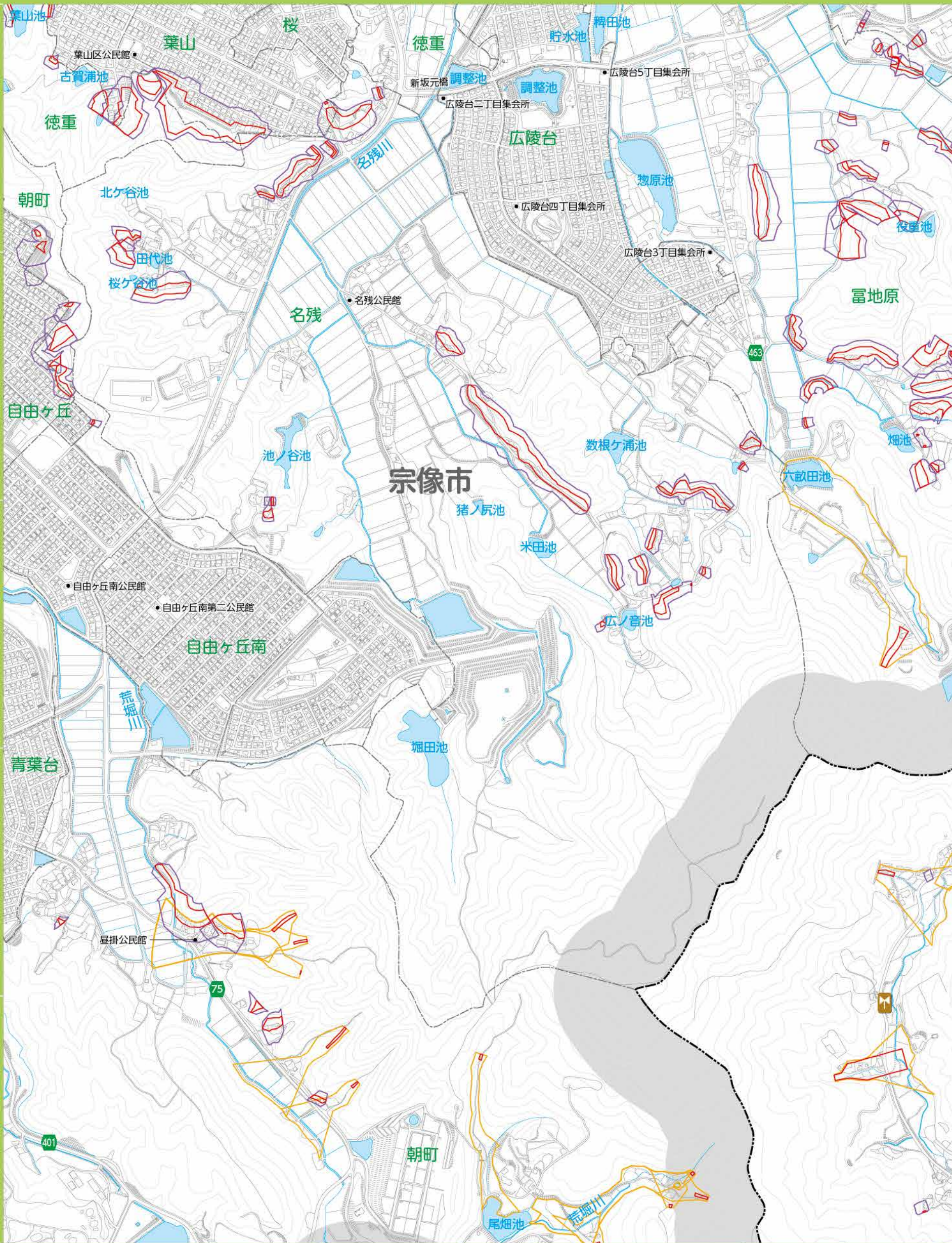
- ・この地図は、国土交通省が水防法に基づいて公表した、国が管理する遠賀川などに大雨が降った場合に、河川が氾濫した際の「洪水想定区域」と「想定浸水深」などを示したものです。
- ・洪水浸水想定区域は、遠賀川などにおける想定最大規模の降雨により河川が氾濫、浸水した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予想したものです。
- ・洪水浸水想定区域は、前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、支川の決壊、内水などの影響による氾濫が起こった場合などを考慮していませんので、この洪水浸水想定区域以外においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の降雨基準

国管理河川	河川名	流域	降雨基準
国管理河川	犬鳴川	遠賀川水系「日の出橋」上流域	592mm/12時間
	八木山川	遠賀川水系「日の出橋」上流域	592mm/12時間
県管理河川	犬鳴川	犬鳴川流域	604mm/6時間
	八木山川	八木山川流域	580mm/6時間
	倉久川	倉久川流域	1,094mm/24時間
	有木川	有木川流域	1,092mm/24時間
	上有木川	有木川流域	1,092mm/24時間
	山口川	山口川流域	1,080mm/24時間
	畑川	山口川流域	1,080mm/24時間
	黒丸川	黒丸川流域	1,096mm/24時間
小谷川	小谷川流域	1,099mm/24時間	

※上記の河川以外の浸水想定区域の表示は、ありません。

凡例	指定緊急避難場所 指定避難所	交番・駐在所	県・国の機関	洪水浸水 想定区域	10.0m以上	家屋倒壊等 氾濫想定区域
	消防署	救急告示病院	5.0m以上～10.0m未満			
	水防倉庫	----- 行政区界	3.0m以上～5.0m未満			
	市役所・総合支所	防災行政無線	----- 大字界		0.5m以上～3.0m未満	
					0.5m未満	氾濫流  河岸侵食





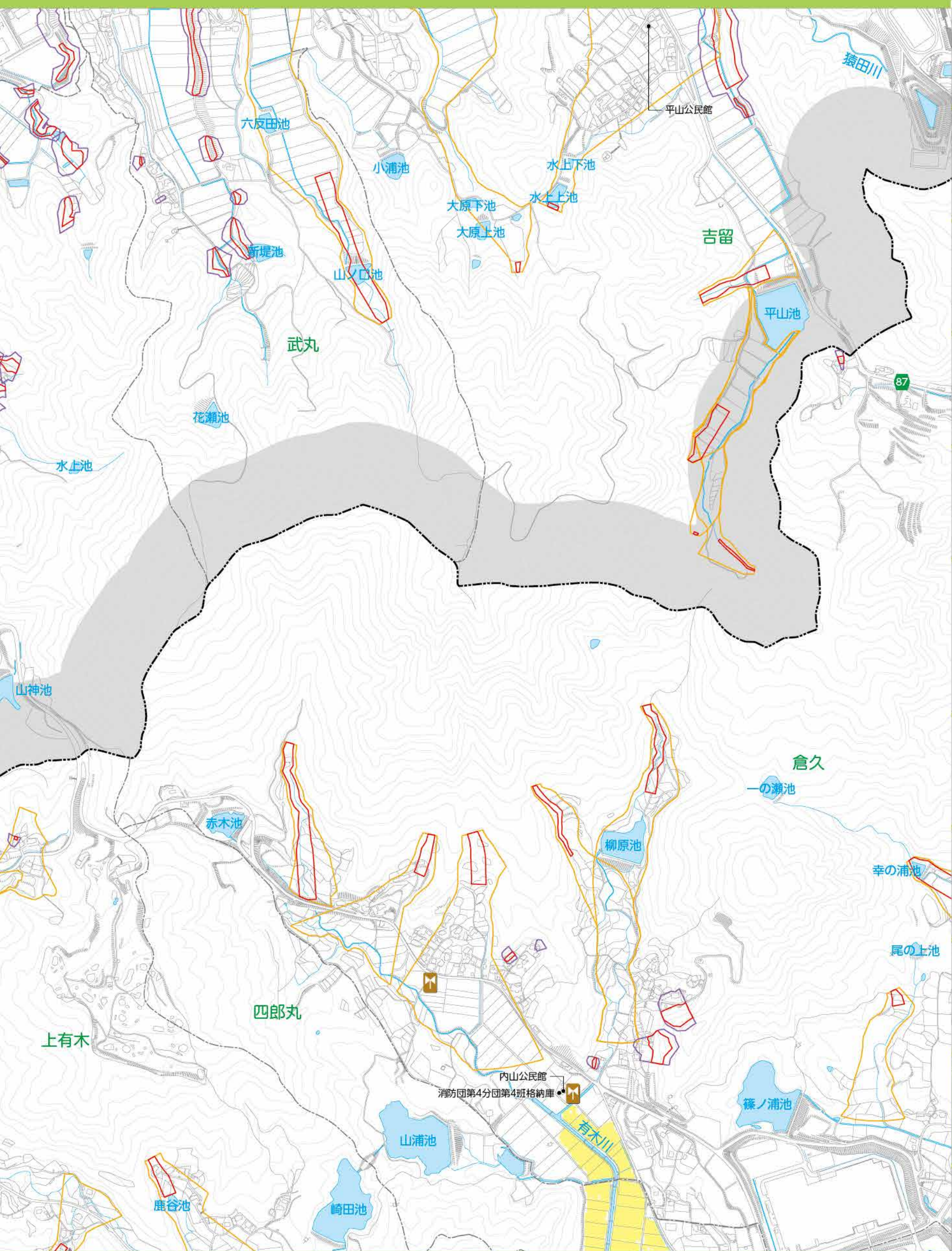
●●● 浸水実績区域  
 (遠賀川河川事務所把握分)  
— 活断層  
■ 活断層(位置やや不明確)

**土砂災害警戒区域**

土石流	急傾斜地	地すべり
<span style="color: orange;">—</span> 特別警戒区域 <span style="color: orange;">●</span> 警戒区域	<span style="color: red;">—</span> 特別警戒区域 <span style="color: red;">●</span> 警戒区域	<span style="color: black;">—</span> 警戒区域

1:10,000  
 0 100 200 300 400 500m

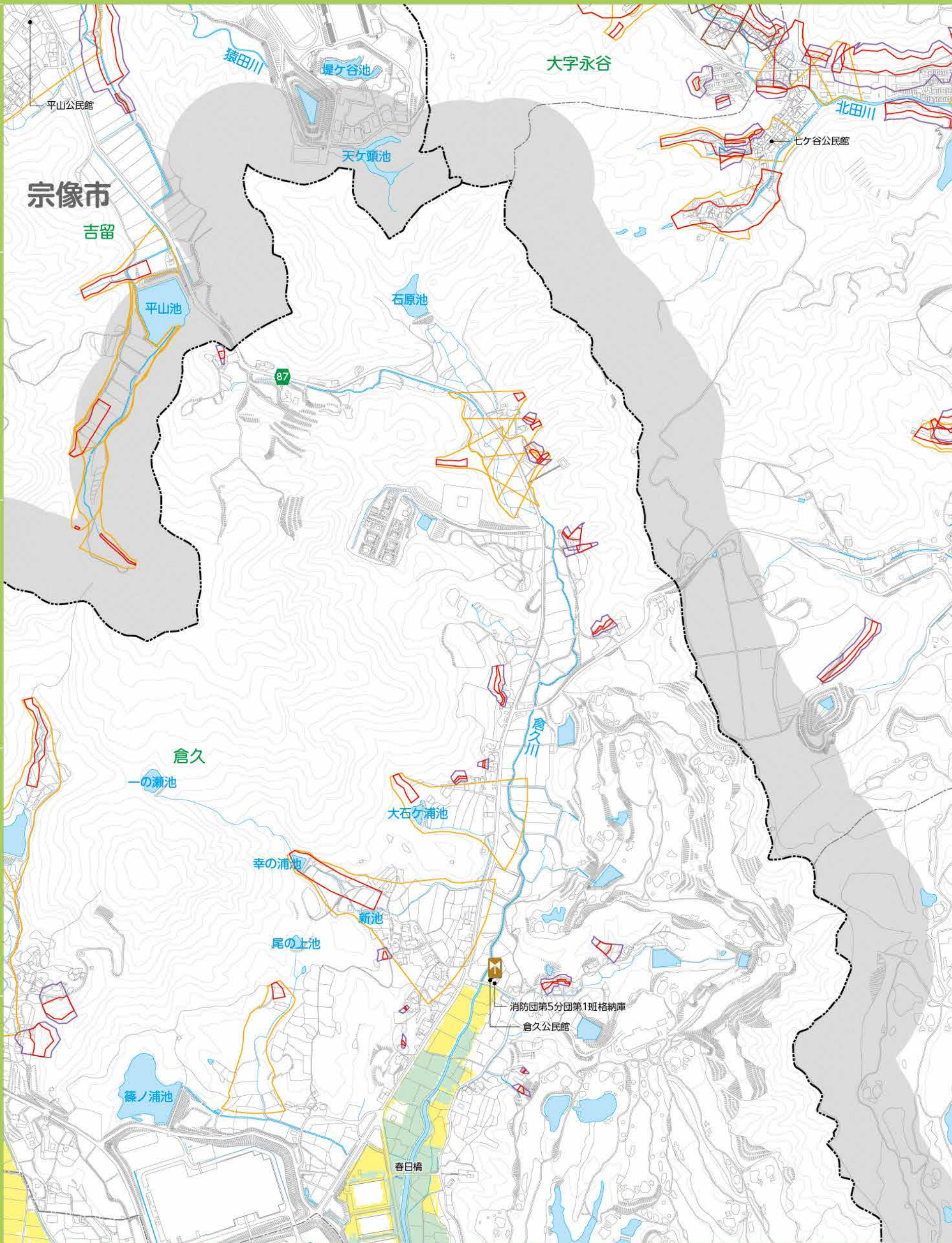
	1	2
3	4	5



活用方法  
 洪水・風水害・台風  
 土砂・地震  
 農産・液状化・布回  
 火災・情報収集  
 防災対策  
 避難所長・日頃から  
 マイタイムライン  
 避難のポイント  
 マップの見方  
 ハザードマップ  
 防災メモ

# 2

凡例	指定緊急避難場所 指定避難所	交番・駐在所	県・国の機関	洪水浸水 想定区域	10.0m以上	家屋倒壊等 氾濫想定区域	
	消防署	救急告示病院	5.0m以上～10.0m未満				
	水防倉庫	----- 行政区界	3.0m以上～5.0m未満				
	市役所・総合支所	防災行政無線	----- 大字界		0.5m以上～3.0m未満		
					0.5m未満	氾濫流	河岸侵食



●●●● 浸水実績区域  
 (遠賀川河川事務所把握分)  
—— 活断層  
■ 活断層(位置やや不明確)

土砂災害警戒区域

土石流

■ 特別警戒区域  
— 警戒区域

急傾斜地

■ 特別警戒区域  
— 警戒区域

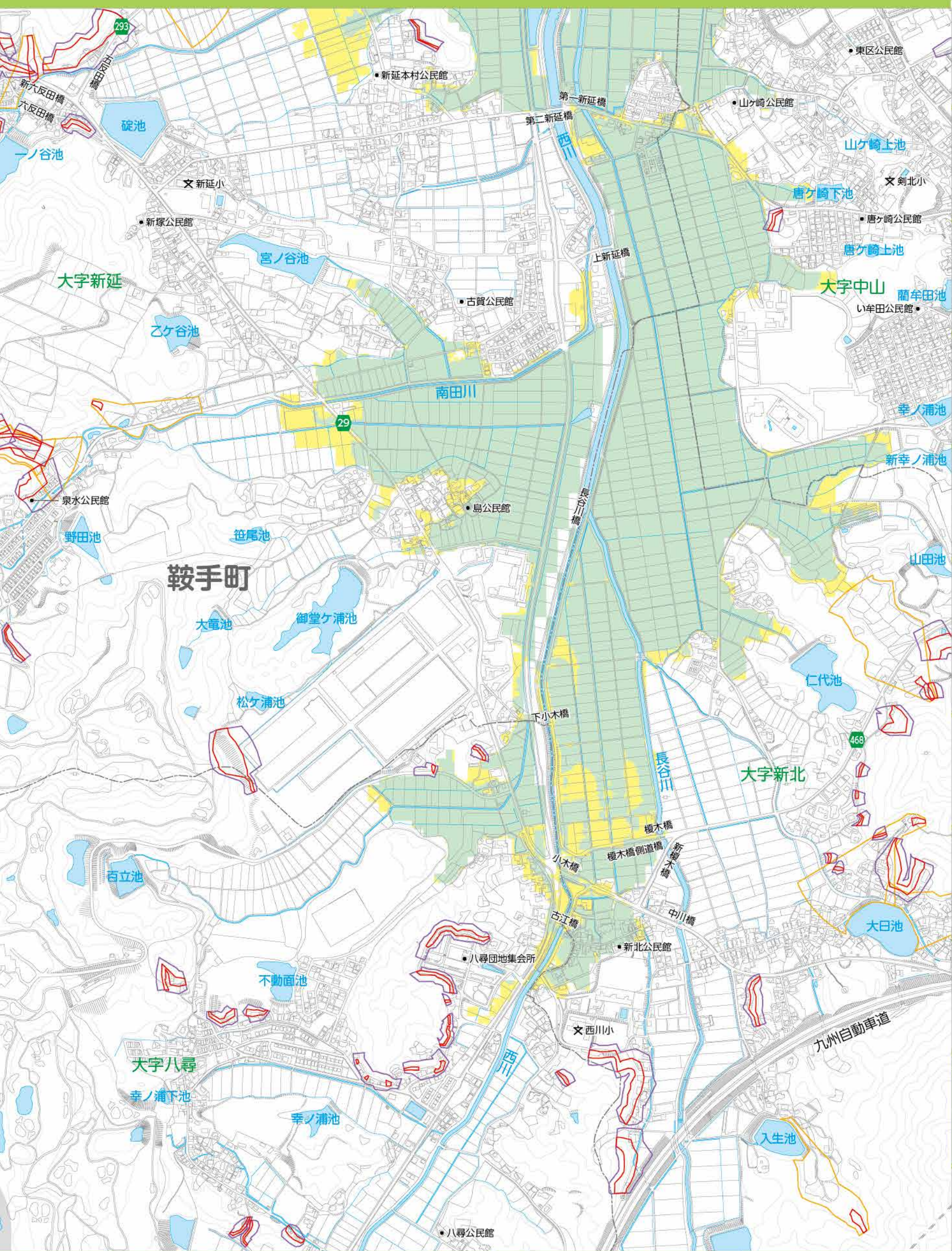
地すべり

— 警戒区域

1:10,000

0 100 200 300 400 500m

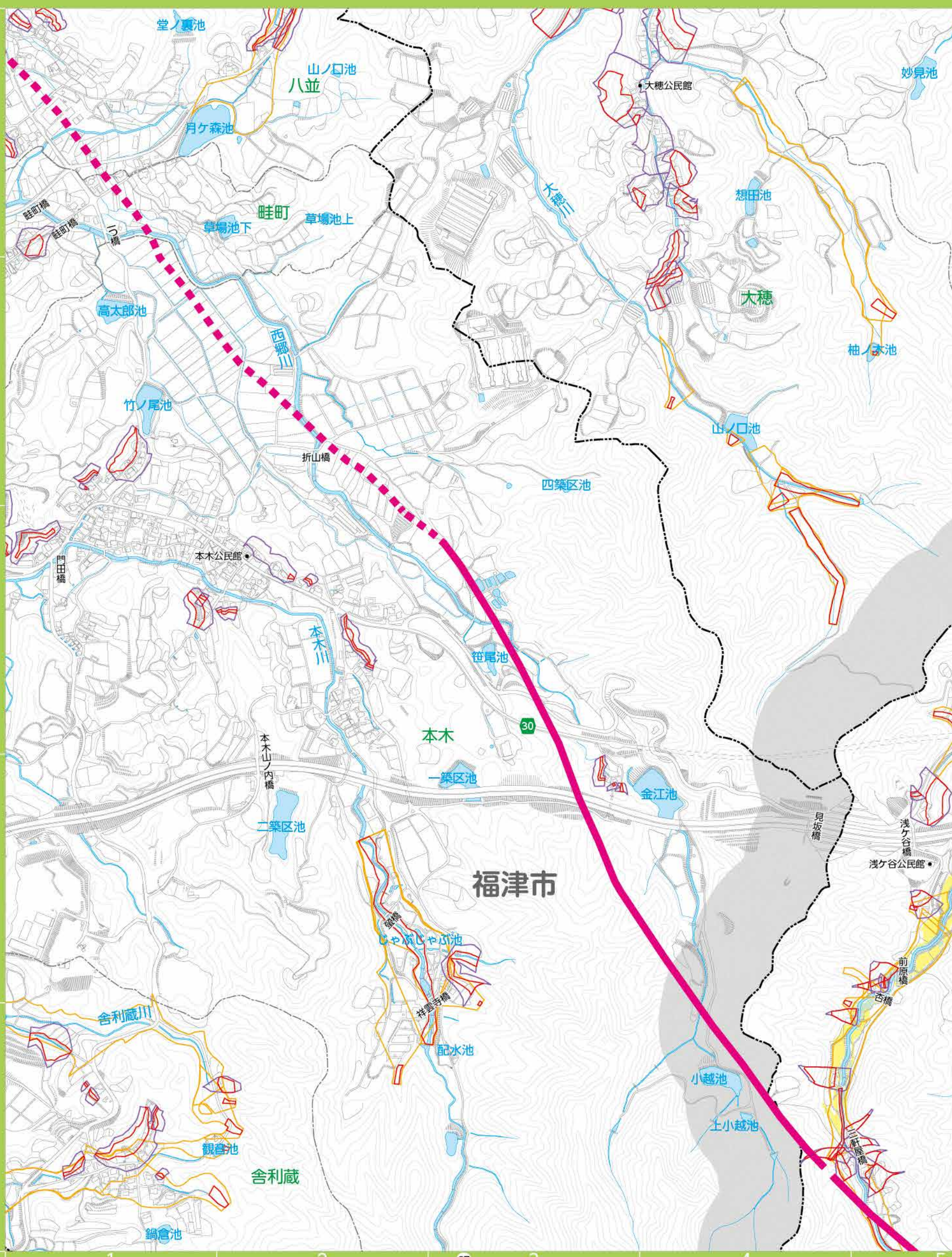
1	2	
4	5	6



活用方法  
 洪水・風水害・台風  
 土砂・地震  
 農産物・液状化・布回  
 火災・情報収集  
 防災対策  
 避難所長・日頃から  
 マイタイムライン  
 避難のポイント  
 マップの見方  
 ハザードマップ  
 防災メモ

# 3

凡例	指定緊急避難場所 指定避難所	交番・駐在所	県・国の機関	洪水浸水 想定区域	10.0m以上	家屋倒壊等 氾濫想定区域	
	消防署	救急告示病院	5.0m以上～10.0m未満				
	水防倉庫	----- 行政区界	3.0m以上～5.0m未満				
	市役所・総合支所	防災行政無線	----- 大字界		0.5m以上～3.0m未満		
					0.5m未満	氾濫流	河岸侵食



A  
B  
C  
D  
E

1 2 27 3 4 5

● 浸水実績区域  
 (遠賀川河川事務所把握分)  
 活断層  
 活断層(位置やや不明確)

土砂災害  
警戒区域

土石流

● 特別警戒区域  
● 警戒区域

急傾斜地

● 特別警戒区域  
● 警戒区域

地すべり

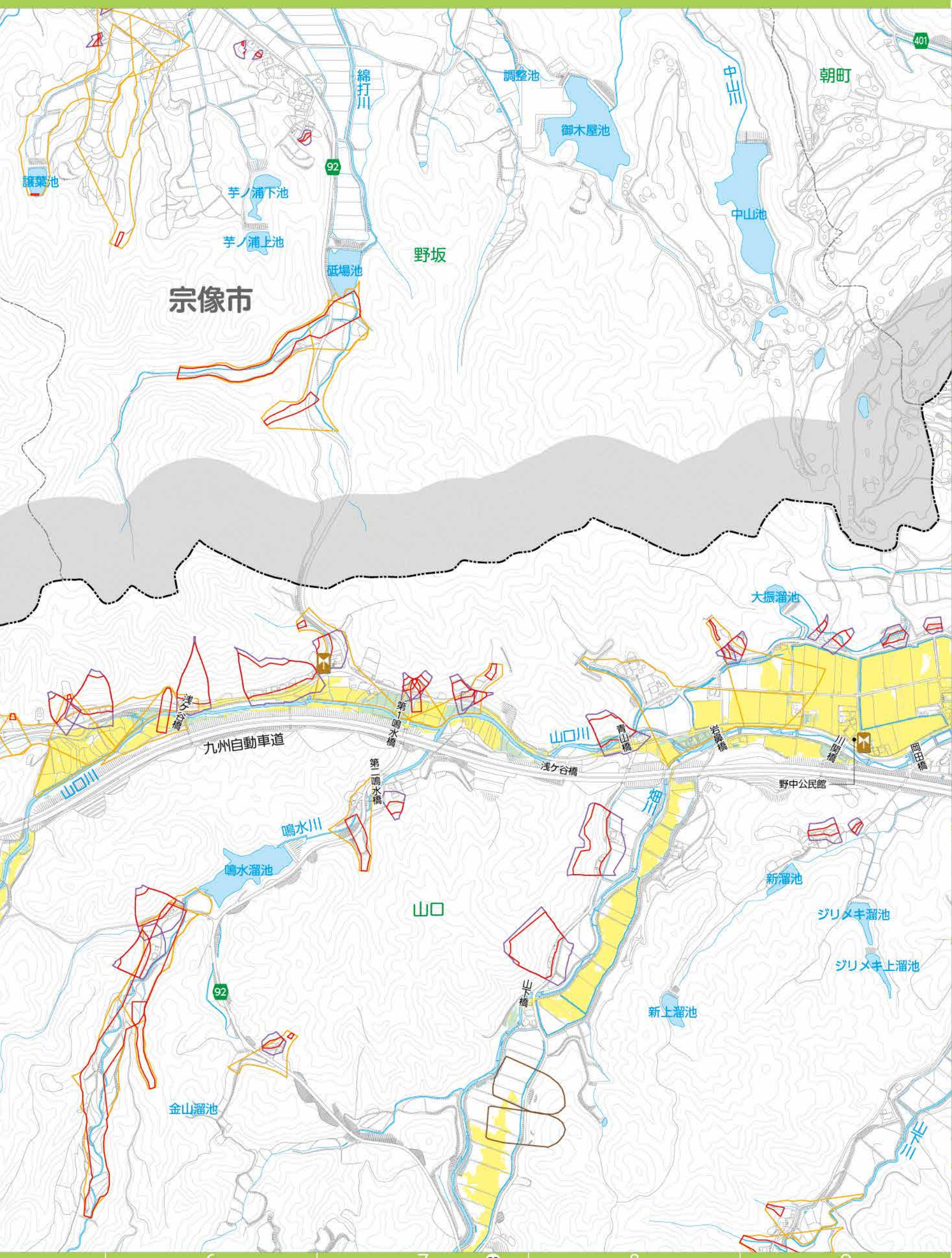
● 警戒区域



1:10,000



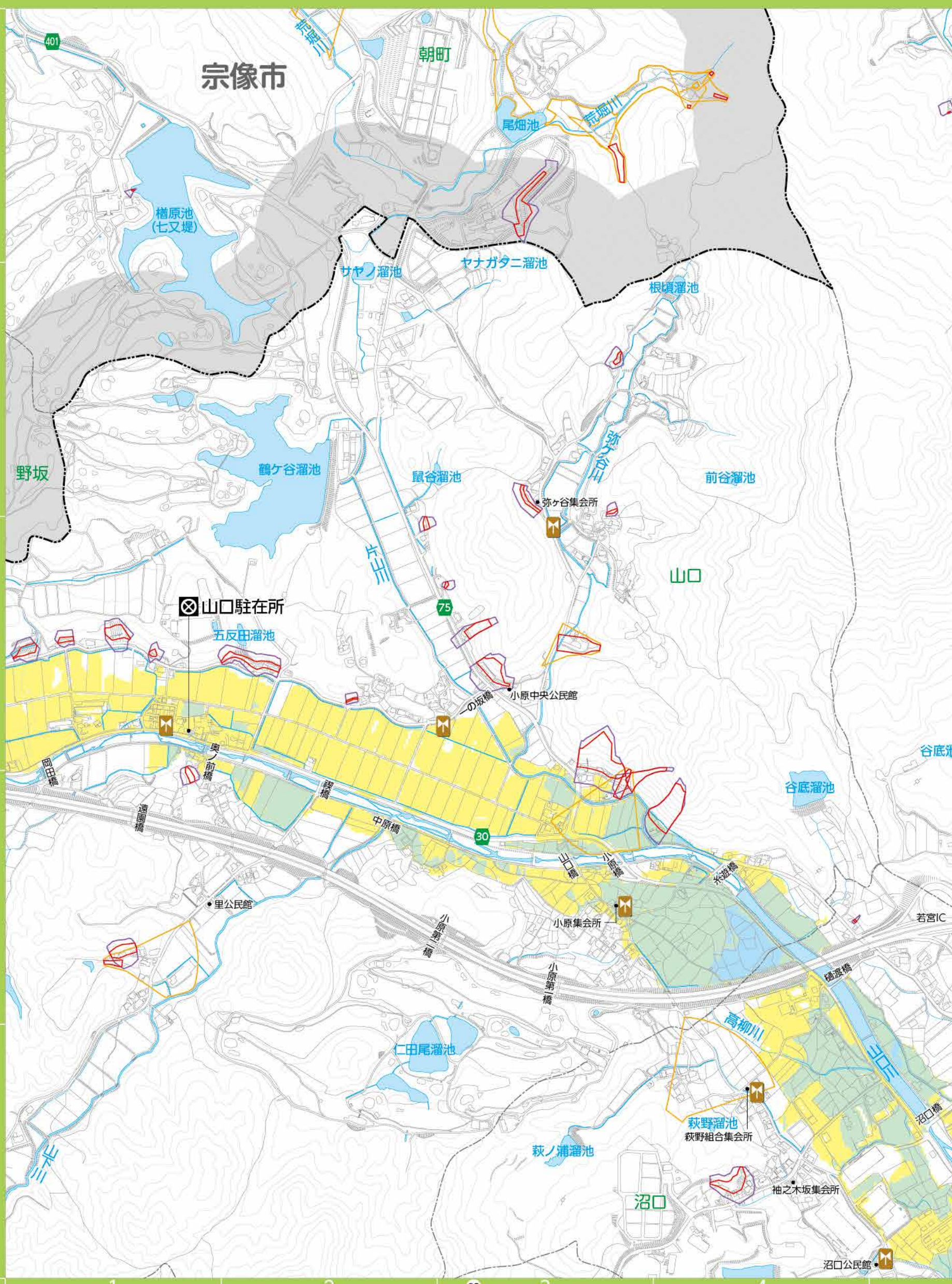
		1
	3	4
	7	8



活用方法  
 洪水・風水害・台風  
 土砂・地震  
 農産・液状化・布回  
 火災・情報収集  
 防災対策  
 避難所・白頭からの備え  
 マイタイムライン  
 避難のポイント  
 マップの見方  
 ハザードマップ3  
 防災メモ

# 4

凡例	指定緊急避難場所 指定避難所	交番・駐在所	県・国の機関	洪水浸水 想定区域	10.0m以上	家屋倒壊等 氾濫想定区域
	消防署	救急告示病院	行政区界		5.0m以上～10.0m未満	
	水防倉庫	防災行政無線	大字界		3.0m以上～5.0m未満	
	市役所・総合支所				0.5m以上～3.0m未満	
					0.5m未満	



A  
B  
C  
D  
E

1 2 29 3 4 5

浸水実績区域  
 (遠賀川河川事務所把握分)

活断層

活断層(位置やや不明確)

土砂災害警戒区域

土石流

特別警戒区域

警戒区域

急傾斜地

特別警戒区域

警戒区域

地すべり

警戒区域

1:10,000  
 0 100 200 300 400 500m

	1	2
3	4	5
7	8	9

活用方法

洪水・風水害・台風

土砂・地震

濃度・液状化分布図

火災・情報収集

防災対策

避難所・白旗からの備え

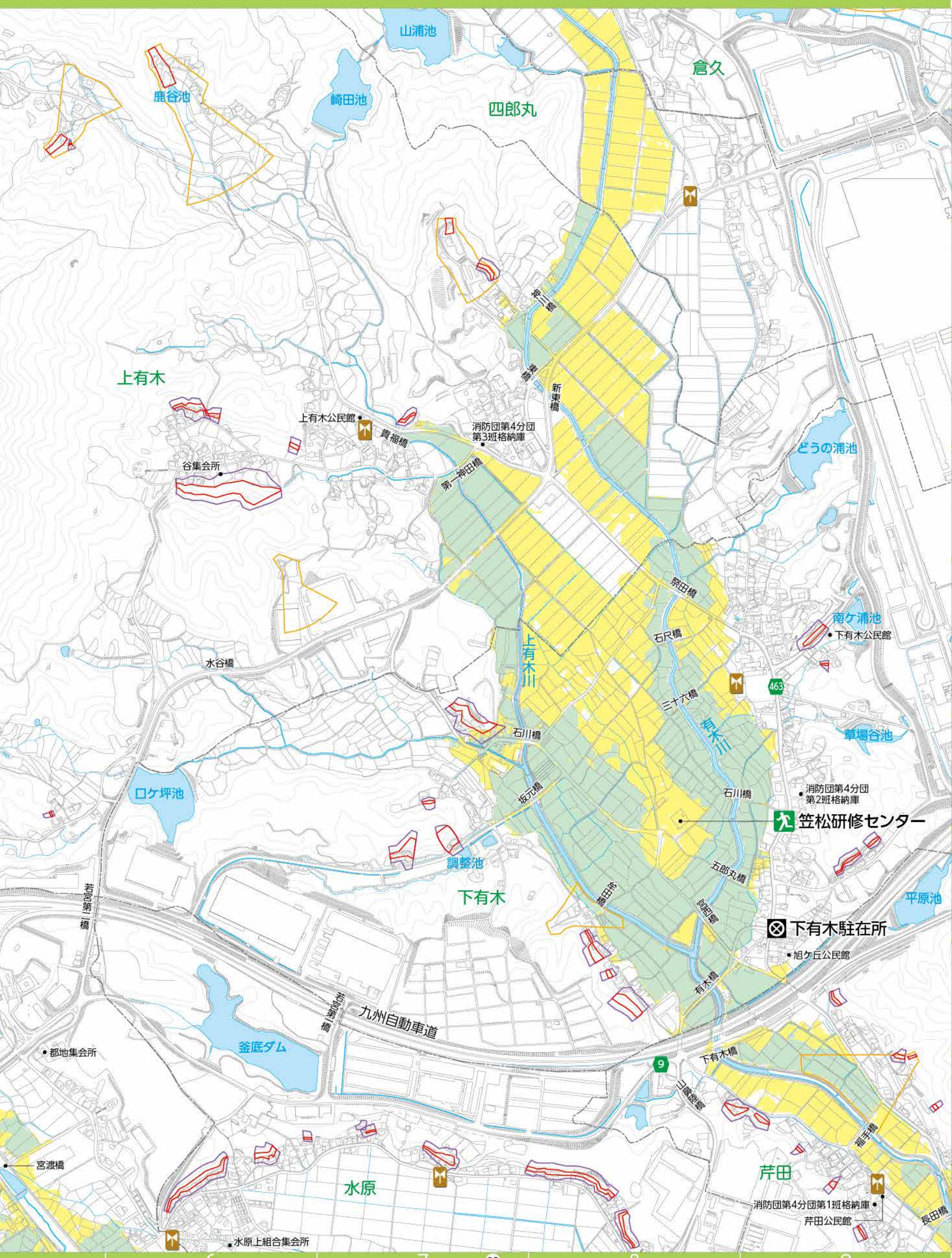
マイタイムライン

避難のポイント

マップの見方

ハザードマップ4

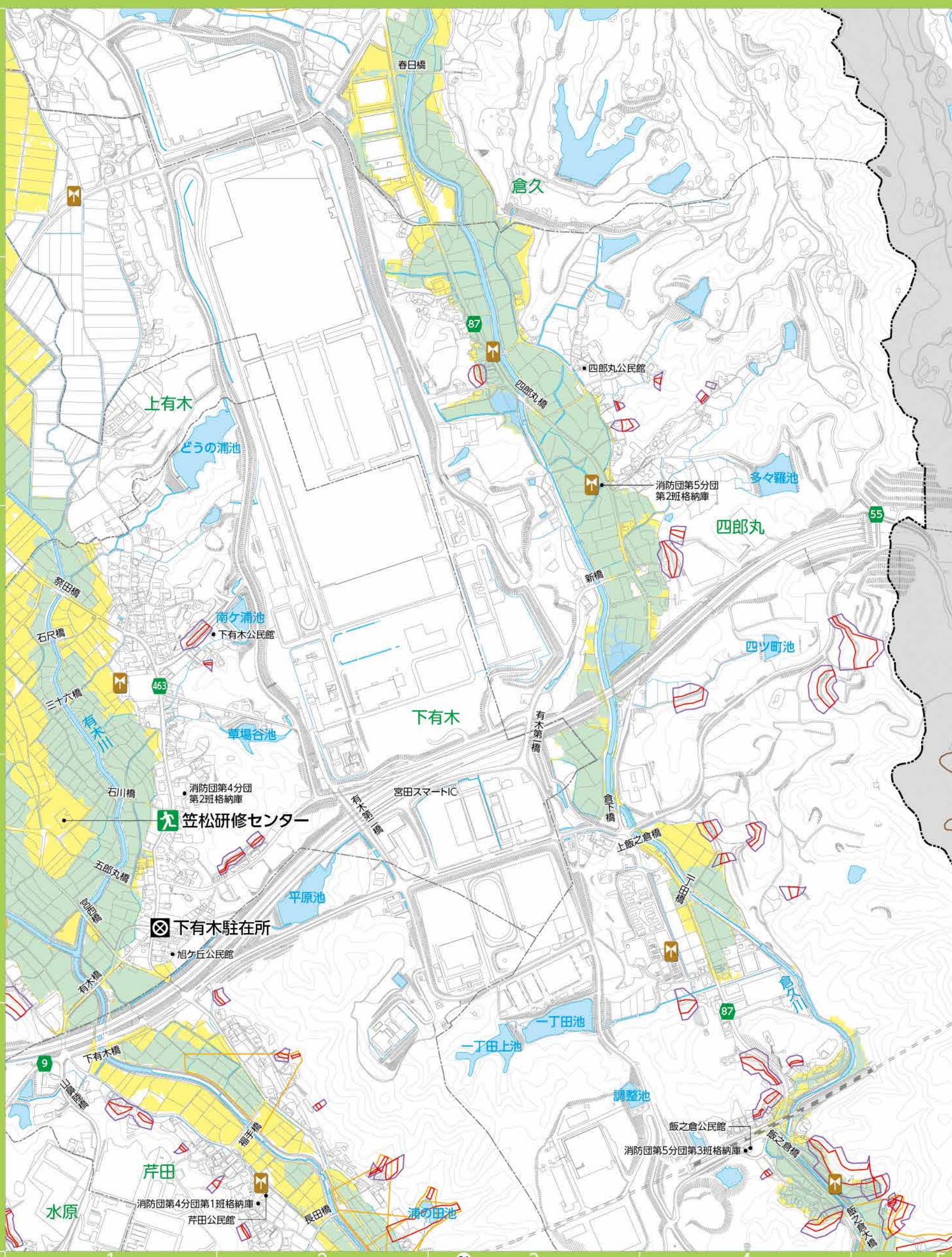
防災メモ



# 5

凡例	指定緊急避難場所 指定避難所	交番・駐在所	県・国の機関	洪水浸水 想定区域	10.0m以上	家屋倒壊等 氾濫想定区域	
	消防署	救急告示病院	5.0m以上~10.0m未満				
	水防倉庫	----- 行政区界	3.0m以上~5.0m未満				
	市役所・総合支所	防災行政無線	----- 大字界		0.5m以上~3.0m未満		
					0.5m未満	氾濫流	河岸侵食

A  
B  
C  
D  
E



1 2 31 3 4 5



●●● 浸水実績区域  
 (遠賀川河川事務所把握分)  
— 活断層  
■ 活断層(位置やや不明確)

土砂災害  
警戒区域

土石流

— 特別警戒区域  
● 警戒区域

急傾斜地

— 特別警戒区域  
● 警戒区域

地すべり

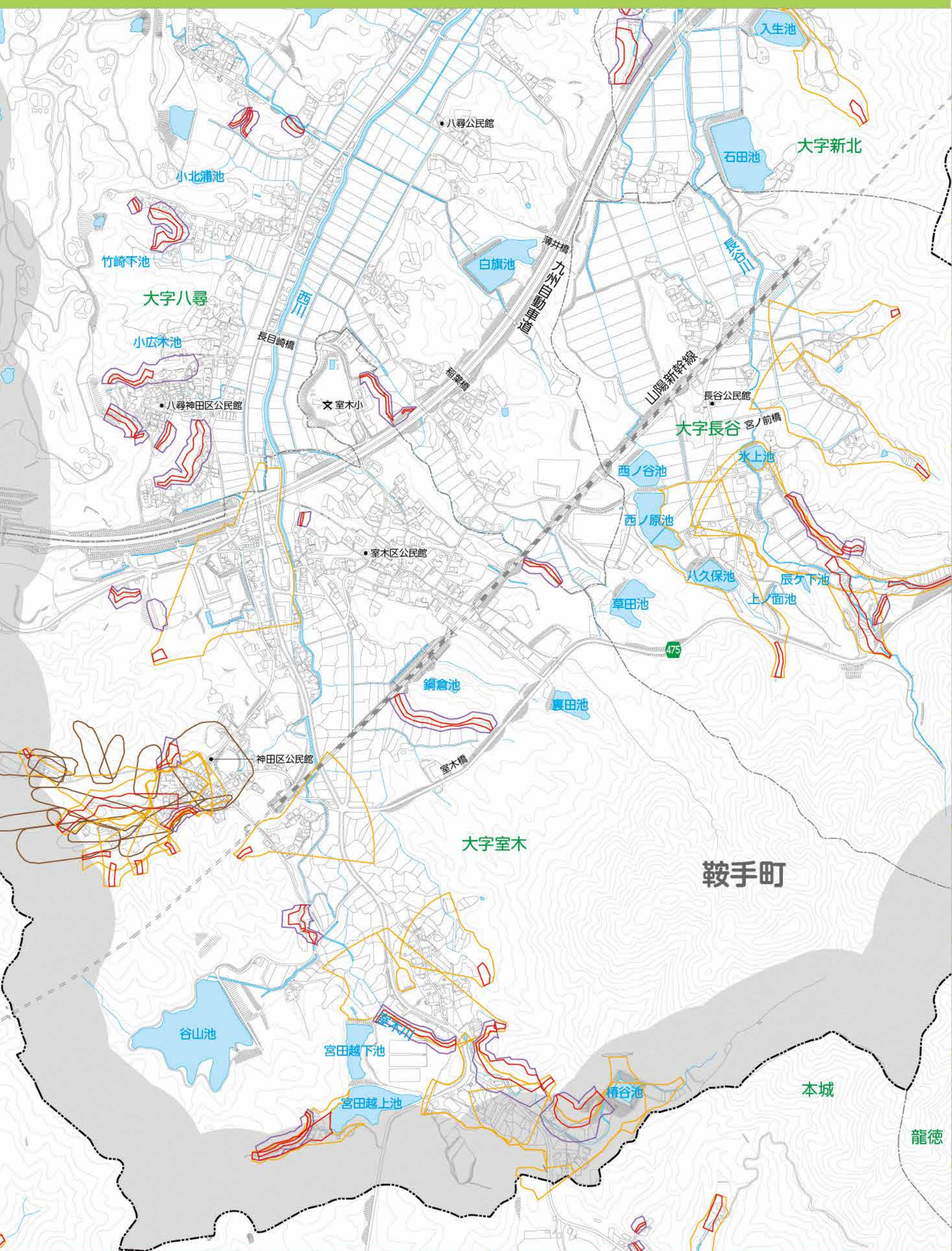
— 警戒区域



1:10,000



1	2	
4	5	6
8	9	10



活用方法  
 洪水・風水害・台風  
 土砂・地震  
 濃度・液状化・布回  
 火災・情報収集  
 防災対策  
 避難所・白旗からの備え  
 マイタイムライン  
 避難のポイント  
 マップの見方  
 ハザードマップ  
 防災メモ

# 6

凡例	指定緊急避難場所 指定避難所	交番・駐在所	県・国の機関	洪水浸水 想定区域	10.0m以上	家屋倒壊等 氾濫想定区域
	市役所・総合支所	消防署	救急告示病院		5.0m以上～10.0m未満	
		水防倉庫	----- 行政区界		3.0m以上～5.0m未満	
		防災行政無線	----- 大字界		0.5m以上～3.0m未満	
					0.5m未満	



A  
B  
C  
D  
E

1 2 33 3 4 5

浸水実績区域  
(遠賀川河川事務所把握分)

活断層

活断層(位置やや不明確)

土砂災害  
警戒区域

土石流

特別警戒区域

警戒区域

急傾斜地

特別警戒区域

警戒区域

地すべり

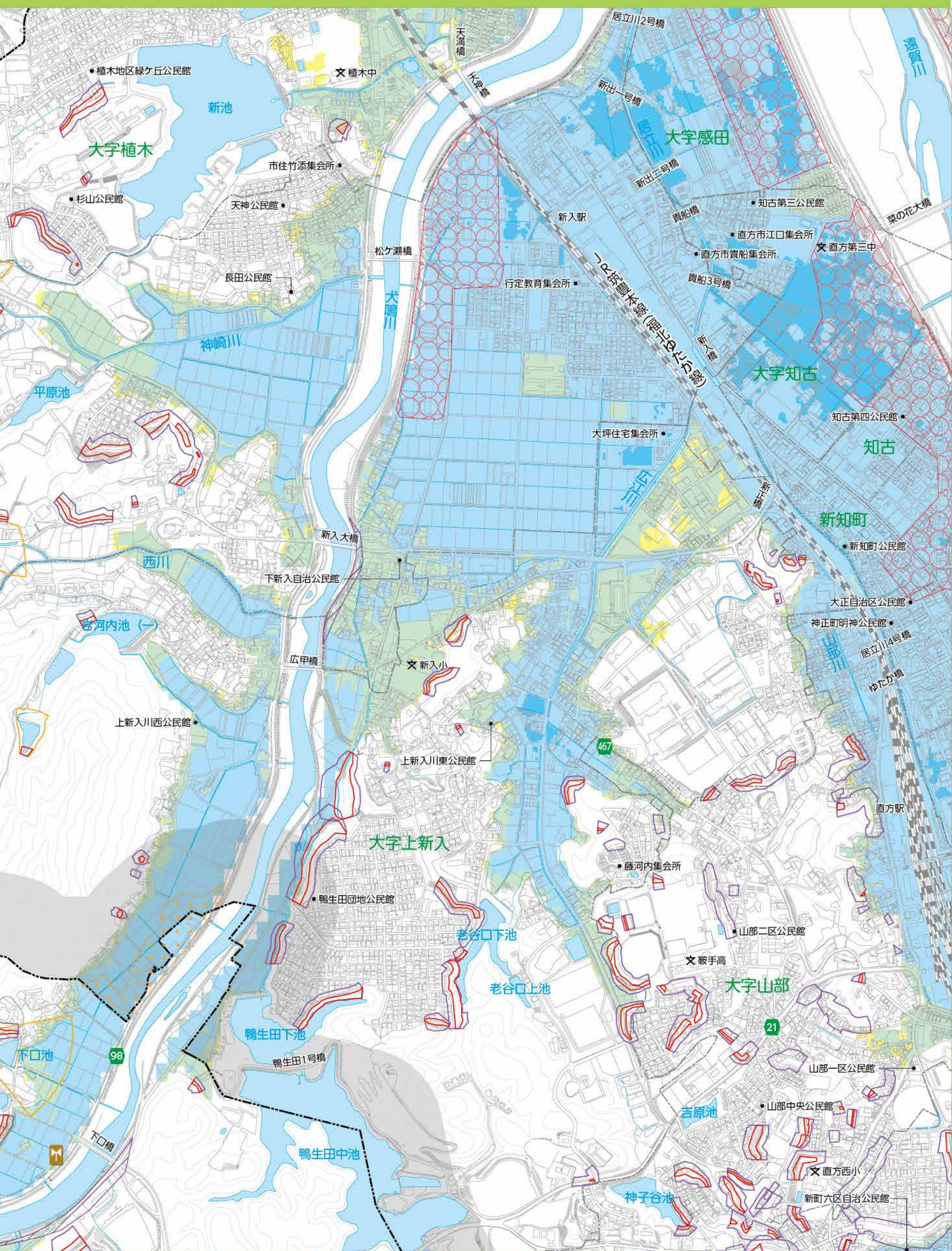
警戒区域

1:10,000

0 100 200 300 400 500m

2		
5	6	
9	10	

活用方法  
洪水・風水害・台風  
土砂・地震  
農産・液化化分布図  
火災・情報収集  
防災対策  
避難所長・日頃からへの備え  
マイタイムライン  
避難のポイント  
マップの見方  
ハザードマップ6  
防災メモ



# 7

凡例	指定緊急避難場所 指定避難所	交番・駐在所	県・国の機関	洪水浸水 想定区域	10.0m以上	家屋倒壊等 氾濫想定区域	
	消防署	救急告示病院	5.0m以上～10.0m未満				
	水防倉庫	----- 行政区界	3.0m以上～5.0m未満				
	市役所・総合支所	防災行政無線	----- 大字界		0.5m以上～3.0m未満		
					0.5m未満	氾濫流	河岸侵食



浸水実績区域  
 (遠賀川河川事務所把握分)

活断層

活断層(位置やや不明確)

土砂災害  
警戒区域

土石流

特別警戒区域  
 警戒区域


急傾斜地

特別警戒区域  
 警戒区域

地すべり

警戒区域

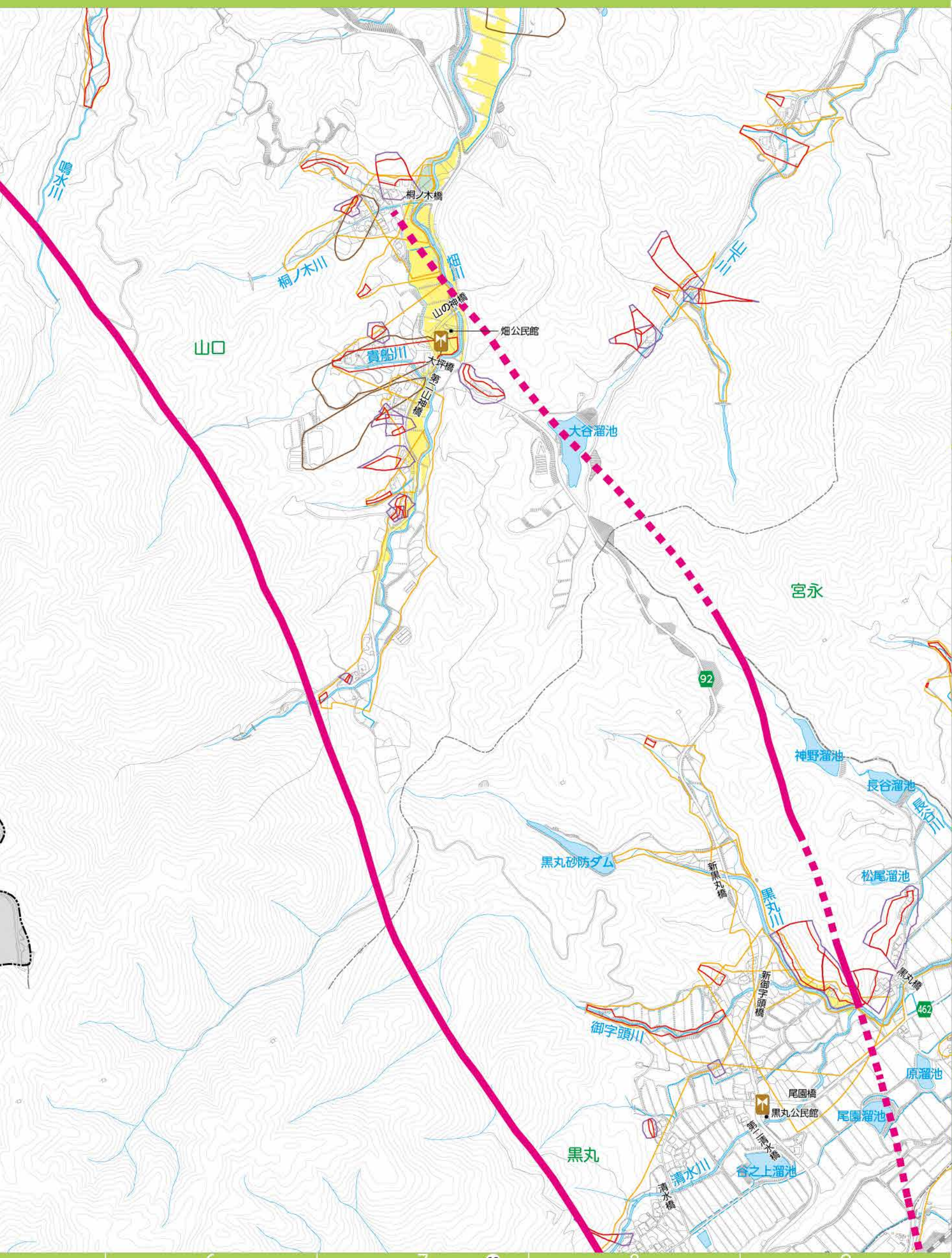
N



1:10,000

0 100 200 300 400 500m

3	4
7	8
11	12



活用方法

洪水・風水害・台風

土砂・地震

農産・液化化分布図

火災・情報収集

防災対策

避難所一覧・日頃からの備え

マイタイムライン

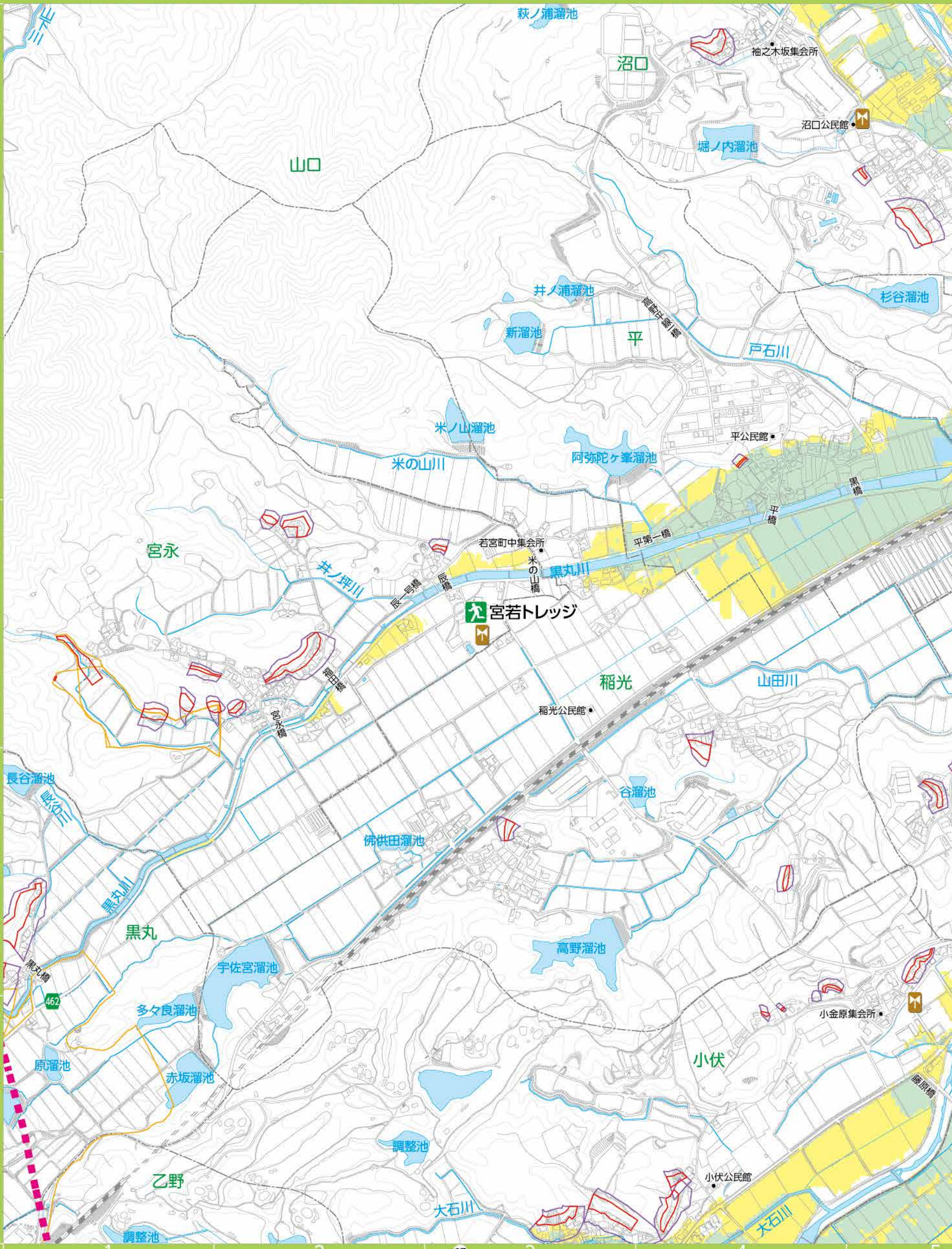
避難のポイント

マップの見方

ハザードマップ

防災メモ

凡例	指定緊急避難場所 指定避難所	交番・駐在所	県・国の機関	洪水浸水 想定区域	10.0m以上	家屋倒壊等 氾濫想定区域	
	消防署	救急告示病院	5.0m以上～10.0m未満				
	水防倉庫	----- 行政区界	3.0m以上～5.0m未満				
	市役所・総合支所	防災行政無線	----- 大字界		0.5m以上～3.0m未満		
					0.5m未満	氾濫流	河岸侵食



浸水実績区域  
(遠賀川河川事務所把握分)

活断層

活断層(位置やや不明確)

土砂災害  
警戒区域

土石流

特別警戒区域

警戒区域

急傾斜地

特別警戒区域

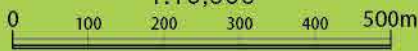
警戒区域

地すべり

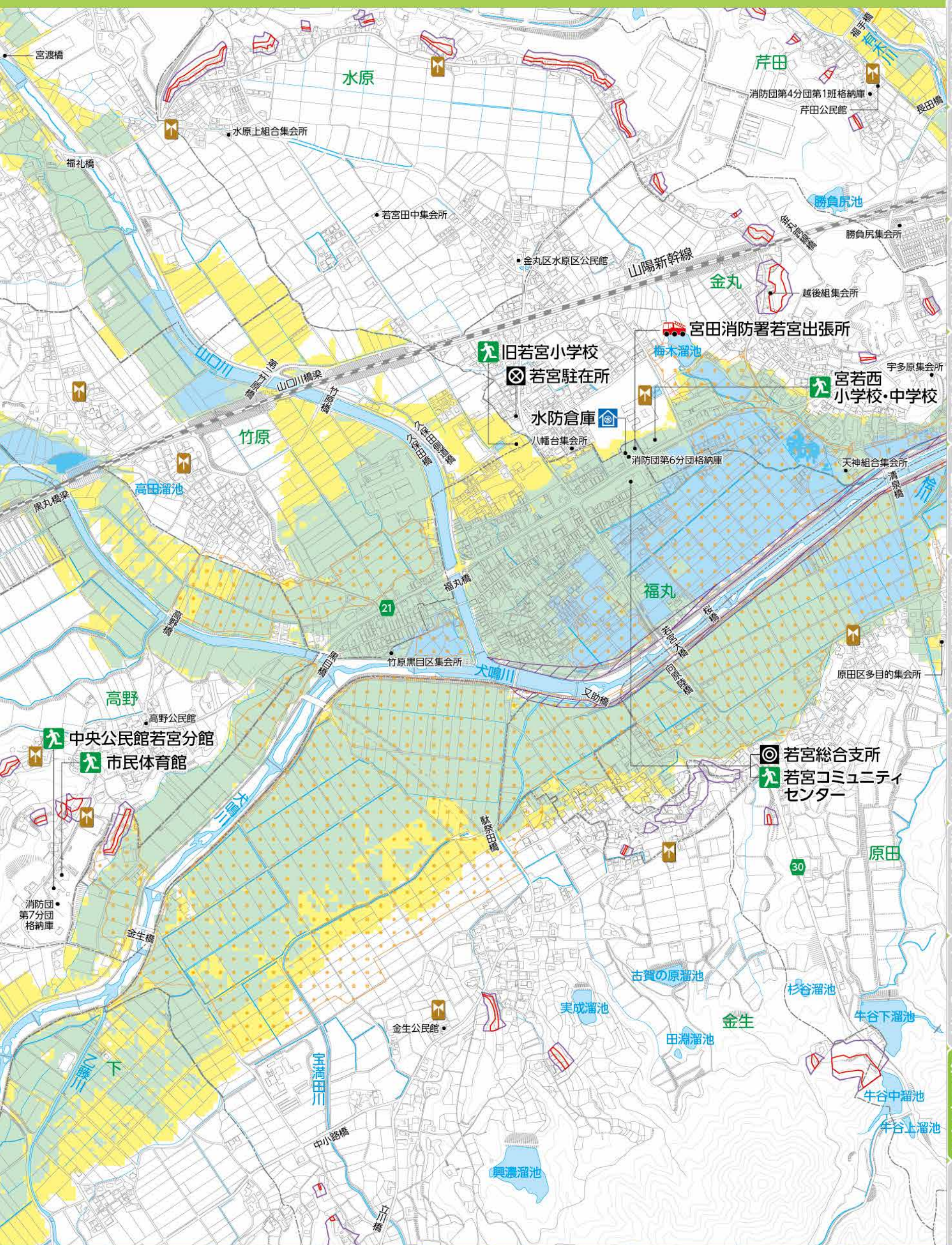
警戒区域



1:10,000



3	4	5
7	8	9
11	12	13



活用方法

洪水・風水害・台風

土砂・地表

農産・液状化・公布図

火災・情報収集

防災対策

避難所・避難ポイント

マイタイムライン

避難のポイント

マップの見方

ハザードマップ

防災メモ

凡例	指定緊急避難場所 指定避難所	交番・駐在所	県・国の機関	洪水浸水 想定区域	10.0m以上	家屋倒壊等 氾濫想定区域		
	市役所・総合支所	消防署	救急告示病院		5.0m以上～10.0m未満		氾濫流	河岸侵食
		水防倉庫	行政区界		3.0m以上～5.0m未満			
		防災行政無線	大字界		0.5m以上～3.0m未満			
				0.5m未満				





浸水実績区域  
(遠賀川河川事務所把握分)

活断層

活断層(位置やや不明確)

土砂災害  
警戒区域

土石流

特別警戒区域

警戒区域

急傾斜地

特別警戒区域

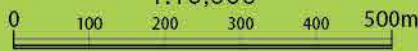
警戒区域

地すべり

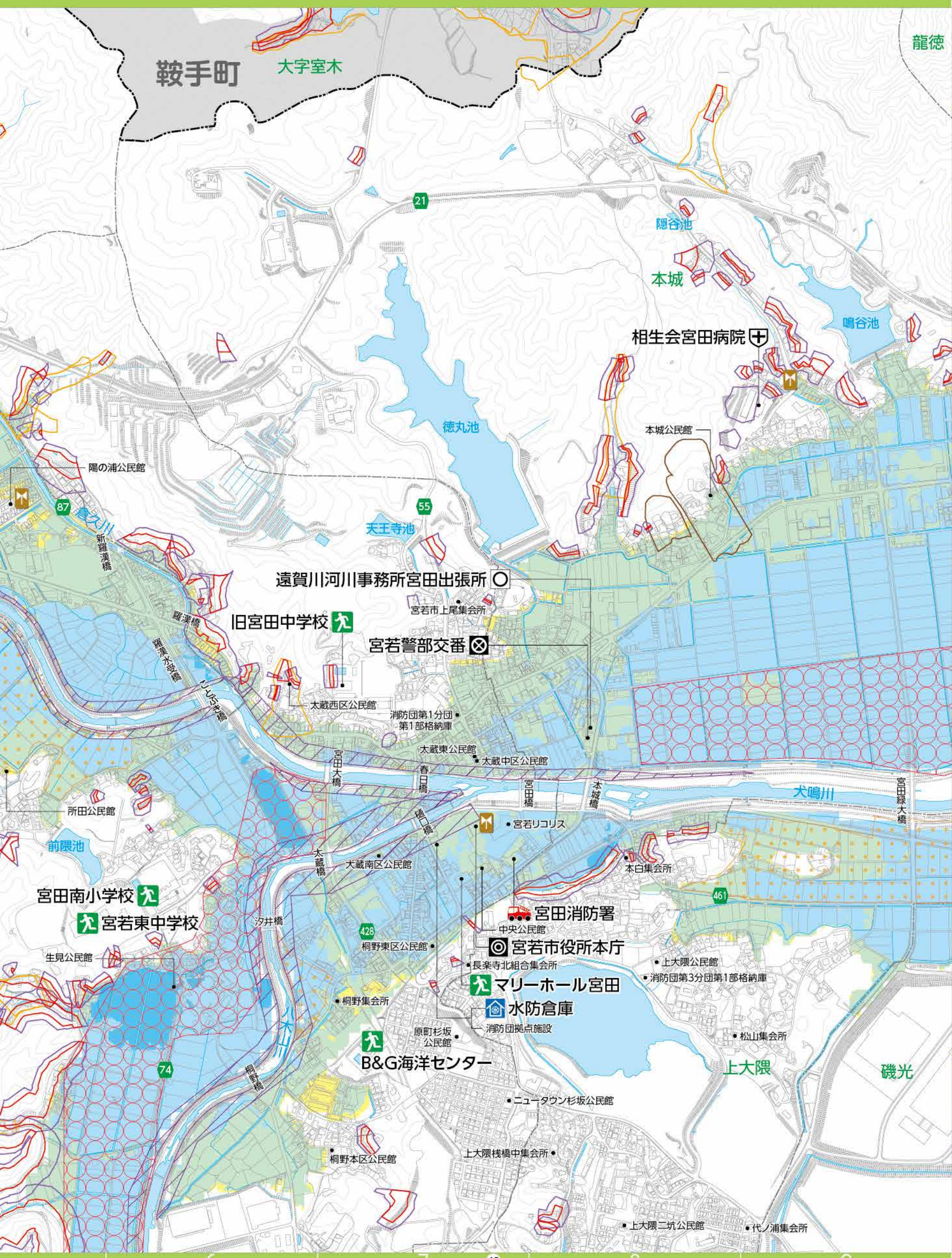
警戒区域



1:10,000



4	5	6
8	9	10
12	13	14



活用方法

洪水風水害・台風

土砂・地震

震度・液化化・布図

火災・情報収集

防災対策

避難所・黄白旗からの備え

マイタイムライン

避難のポイント

マップの見方

ハザードマップ9

防災メモ

凡例	指定緊急避難場所 指定避難所	交番・駐在所	県・国の機関	洪水浸水 想定区域	10.0m以上	家屋倒壊等 氾濫想定区域
	市役所・総合支所	消防署	救急告示病院		5.0m以上～10.0m未満	
		水防倉庫	行政区界		3.0m以上～5.0m未満	
		防災行政無線	大字界		0.5m以上～3.0m未満	
					0.5m未満	



A  
B  
C  
D  
E

1 2 41 3 4 5

浸水実績区域  
(遠賀川河川事務所把握分)

活断層

活断層(位置やや不明確)

土砂災害  
警戒区域

土石流

特別警戒区域

警戒区域

急傾斜地

特別警戒区域

警戒区域

地すべり

警戒区域

1:10,000

0 100 200 300 400 500m

5	6
9	10
13	14



活用方法

洪水・風水害・台風

土砂・地盤

震度・液状化・布図

火災・情報収集

防災対策

避難所・避難所・日頃からへの備え

マイタイムライン

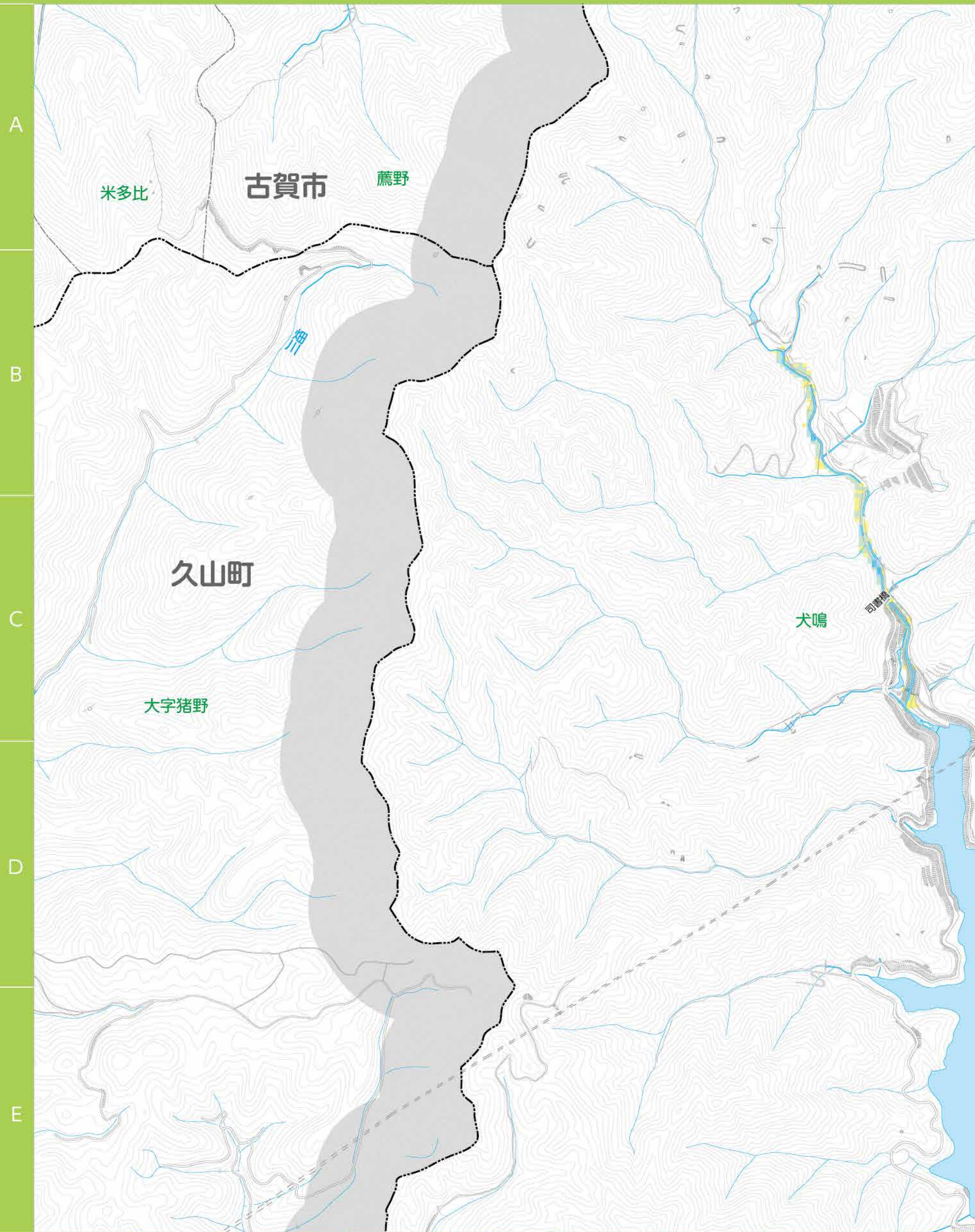
避難のポイント

マップの見方

ハザードマップ10

防災メモ

凡例	指定緊急避難場所 指定避難所	交番・駐在所	県・国の機関	洪水浸水 想定区域	10.0m以上	家屋倒壊等 氾濫想定区域
	市役所・総合支所	消防署	救急告示病院		5.0m以上～10.0m未満	
		水防倉庫	----- 行政区界		3.0m以上～5.0m未満	
		防災行政無線	----- 大字界		0.5m以上～3.0m未満	
					0.5m未満	



浸水実績区域  
(遠賀川河川事務所把握分)

活断層

活断層(位置やや不明確)

土砂災害  
警戒区域

土石流

特別警戒区域

警戒区域

急傾斜地

特別警戒区域

警戒区域

地すべり

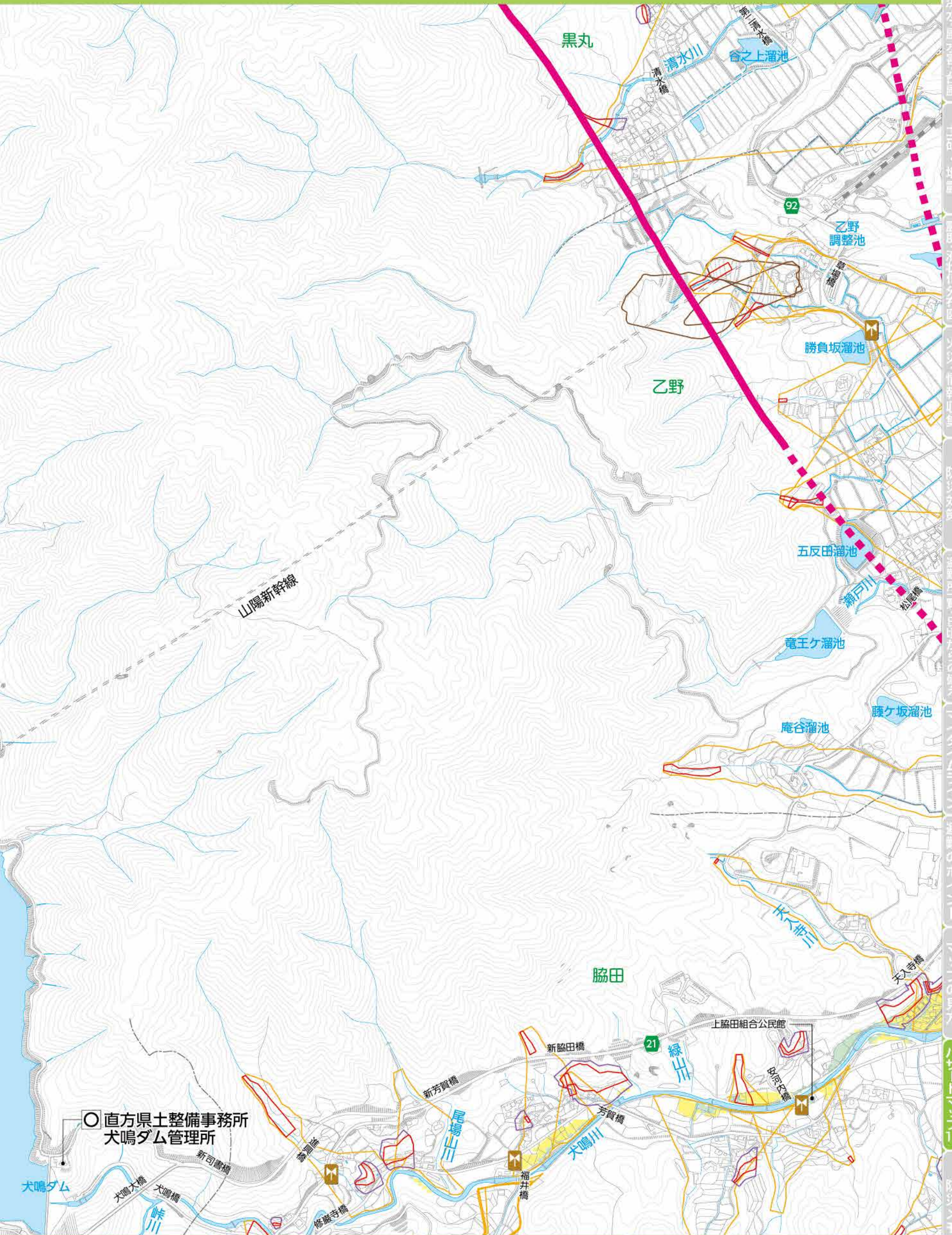
警戒区域



1:10,000



	7	8
	11	12
	15	16



活用方法

洪水風水害・台風

土砂・地震

農産・液状化・布団

火災・情報収集

防災対策

避難所等・日頃からへの備え

マイタイムライン

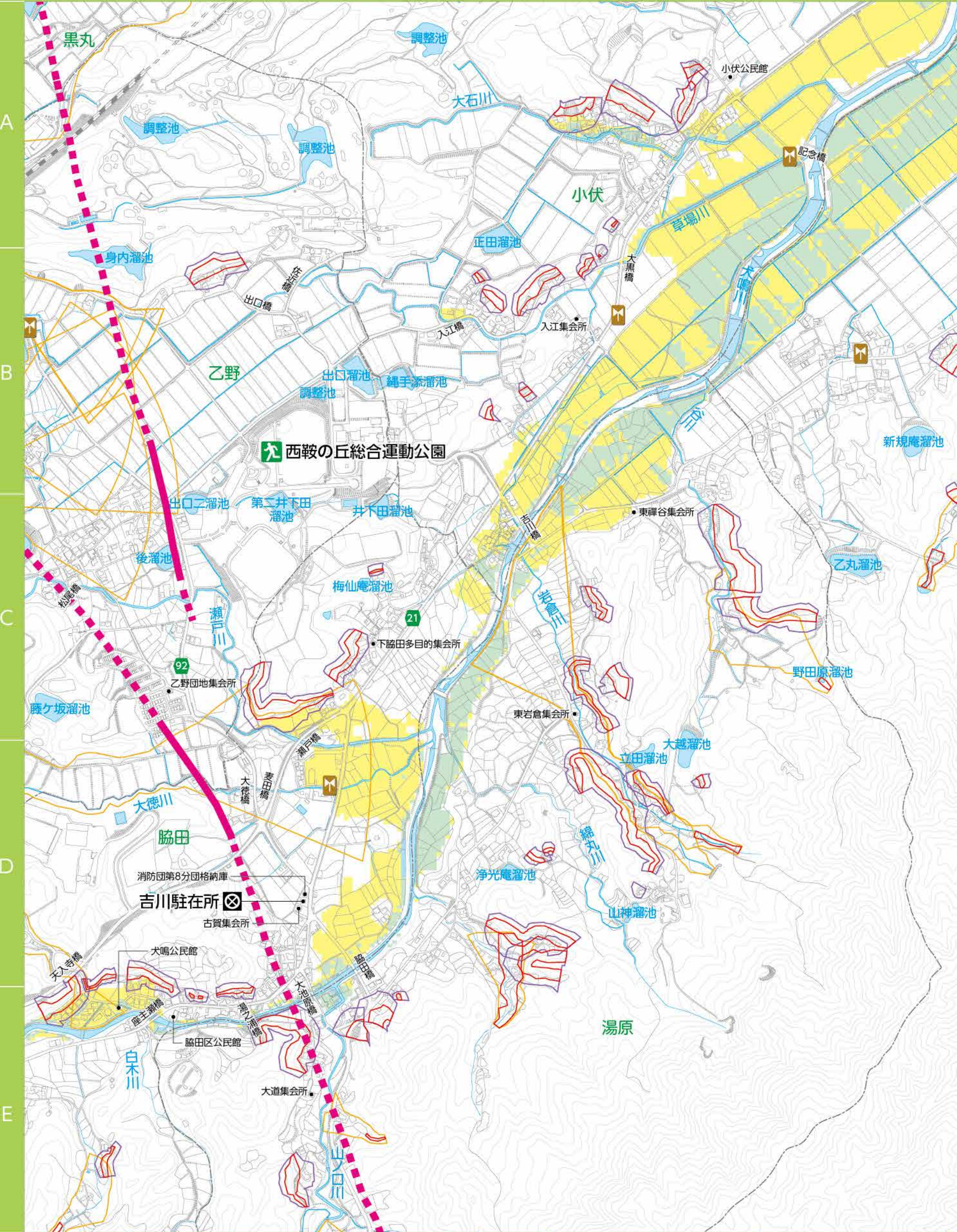
避難のポイント

マップの見方

ハザードマップ11

防災メモ

凡例	指定緊急避難場所 指定避難所	交番・駐在所	県・国の機関	洪水浸水 想定区域	10.0m以上	家屋倒壊等 氾濫想定区域
	消防署	救急告示病院	5.0m以上～10.0m未満			
	水防倉庫	行政区界	3.0m以上～5.0m未満			
	防災行政無線	大字界	0.5m以上～3.0m未満			
市役所・総合支所				0.5m未満	氾濫流	河岸侵食



A  
B  
C  
D  
E

浸水実績区域  
 (遠賀川河川事務所把握分)

活断層

活断層(位置やや不明確)

土砂災害  
警戒区域

土石流

特別警戒区域

警戒区域

急傾斜地

特別警戒区域

警戒区域

地すべり

警戒区域

1:10,000

0 100 200 300 400 500m

7	8	9
11	12	13
15	16	

活用方法

洪水風水害・台風

土砂・地盤

震度・液状化分布図

火災・情報収集

防災対策

避難所等・日頃からへの備え

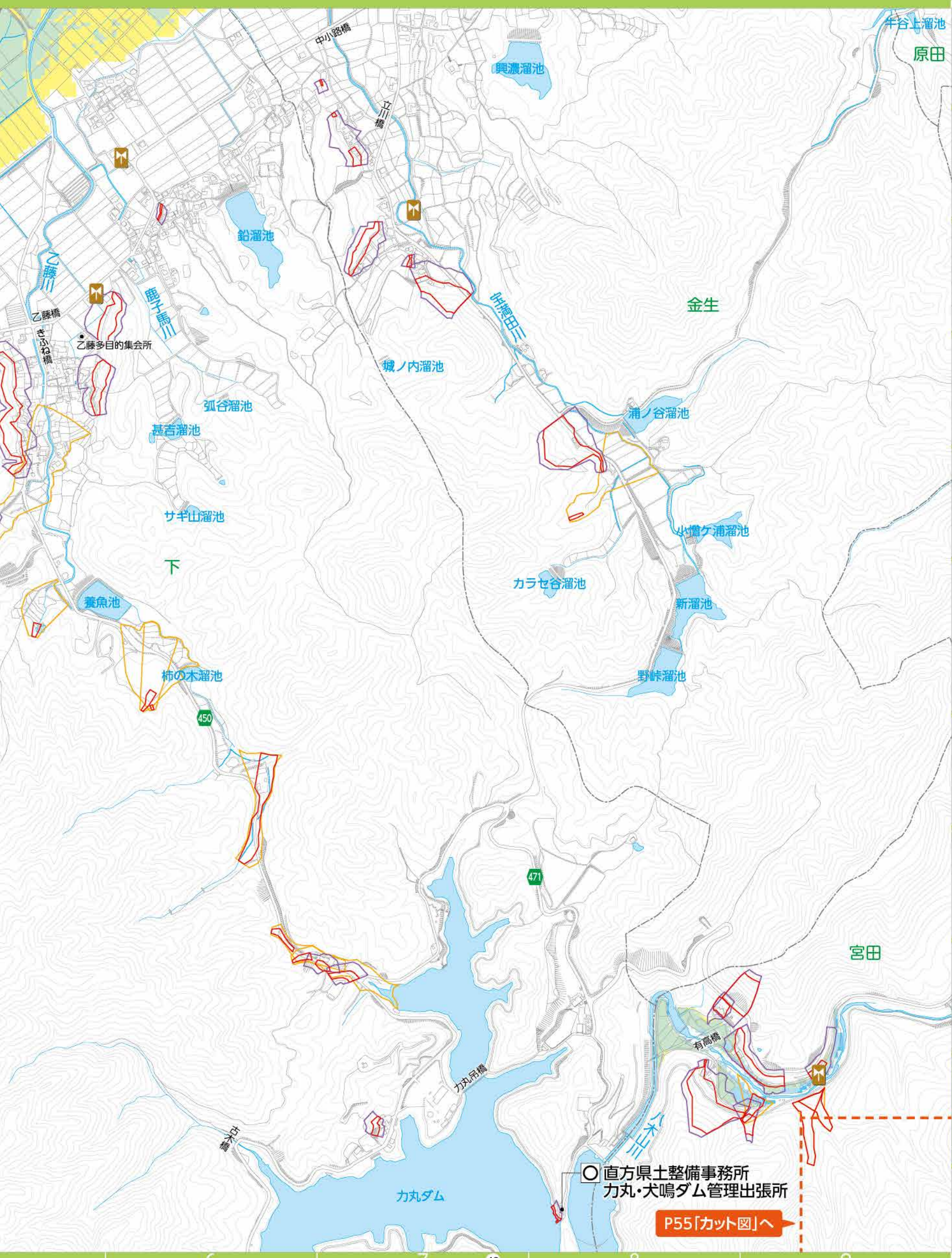
マイタイムライン

避難のポイント

マップの見方

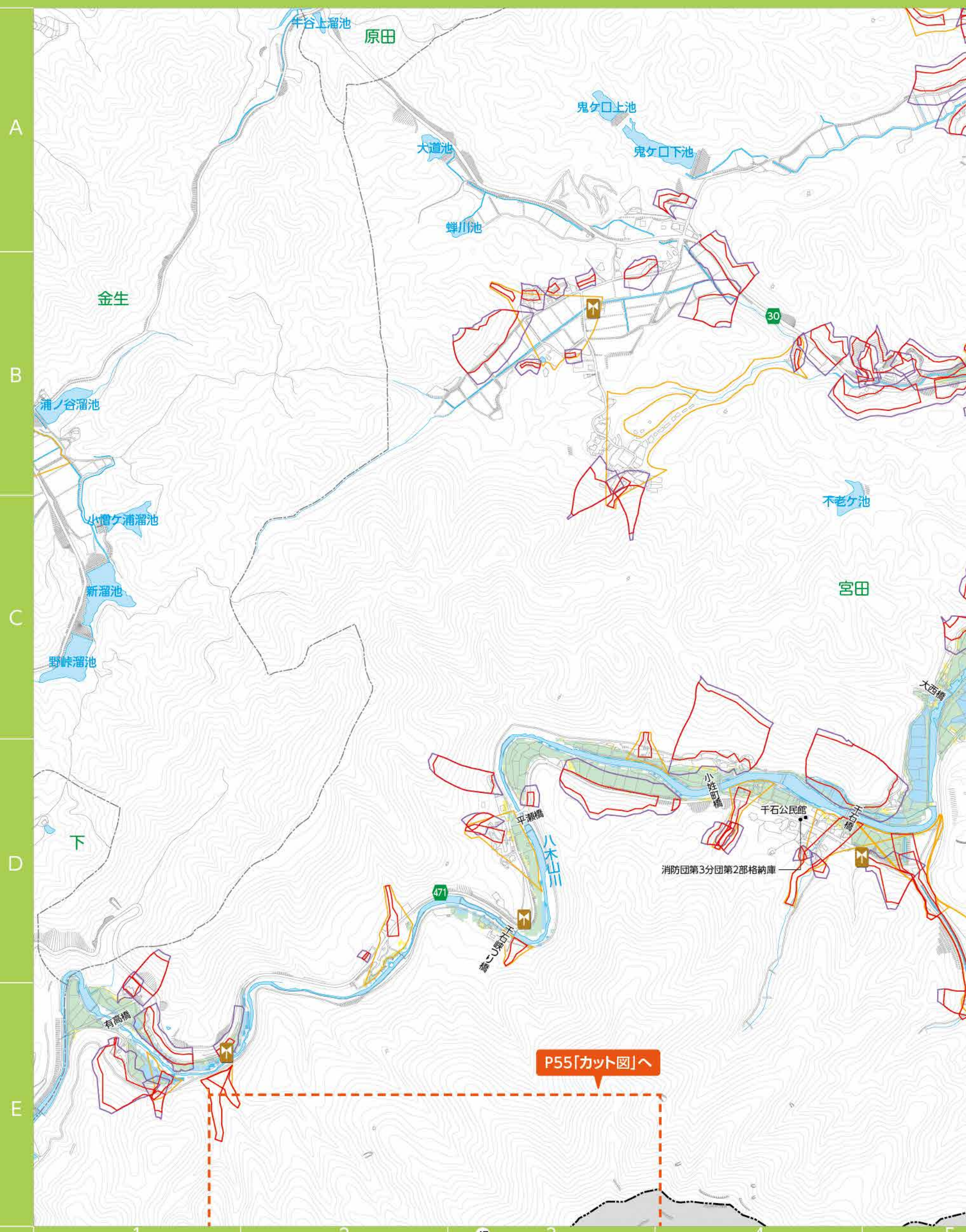
ハザードマップ12

防災メモ



P55「カット図」へ

凡例	指定緊急避難場所 指定避難所	交番・駐在所	県・国の機関	洪水浸水 想定区域	10.0m以上	家屋倒壊等 氾濫想定区域	
	消防署	救急告示病院	5.0m以上～10.0m未満				
	水防倉庫	----- 行政区界	3.0m以上～5.0m未満				
	市役所・総合支所	防災行政無線	----- 大字界		0.5m以上～3.0m未満		
					0.5m未満	氾濫流	河岸侵食





浸水実績区域  
(遠賀川河川事務所把握分)

活断層

活断層(位置やや不明確)

土砂災害  
警戒区域

土石流

特別警戒区域

警戒区域

急傾斜地

特別警戒区域

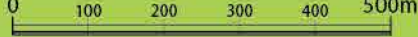
警戒区域

地すべり

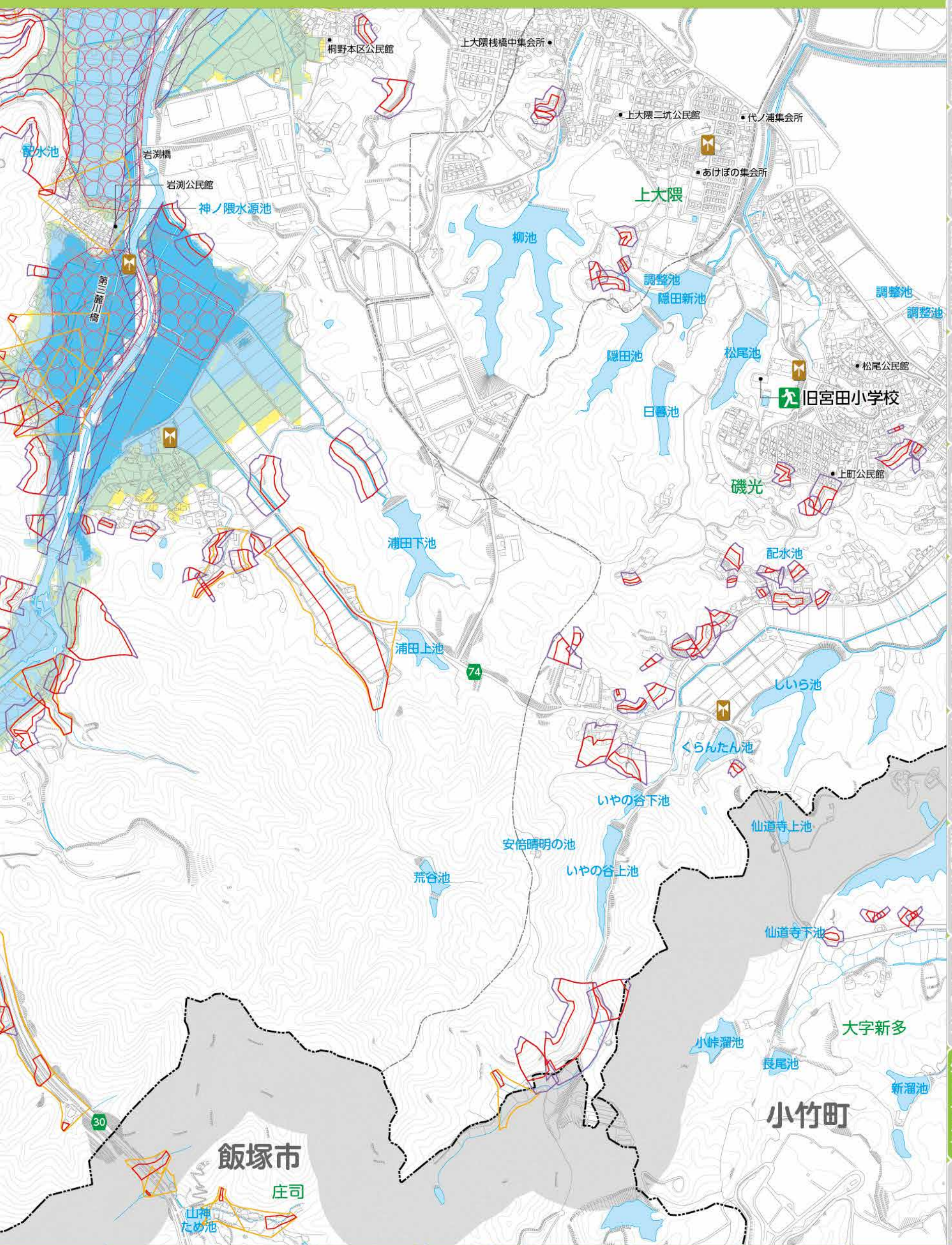
警戒区域



1:10,000



8	9	10
12	13	14
16		



活用方法

洪水風水害・台風

土砂・地震

濃度・液状化・布函

火災・情報収集

防災対策

避難所・白旗からの備え

マイタイムライン

避難のポイント

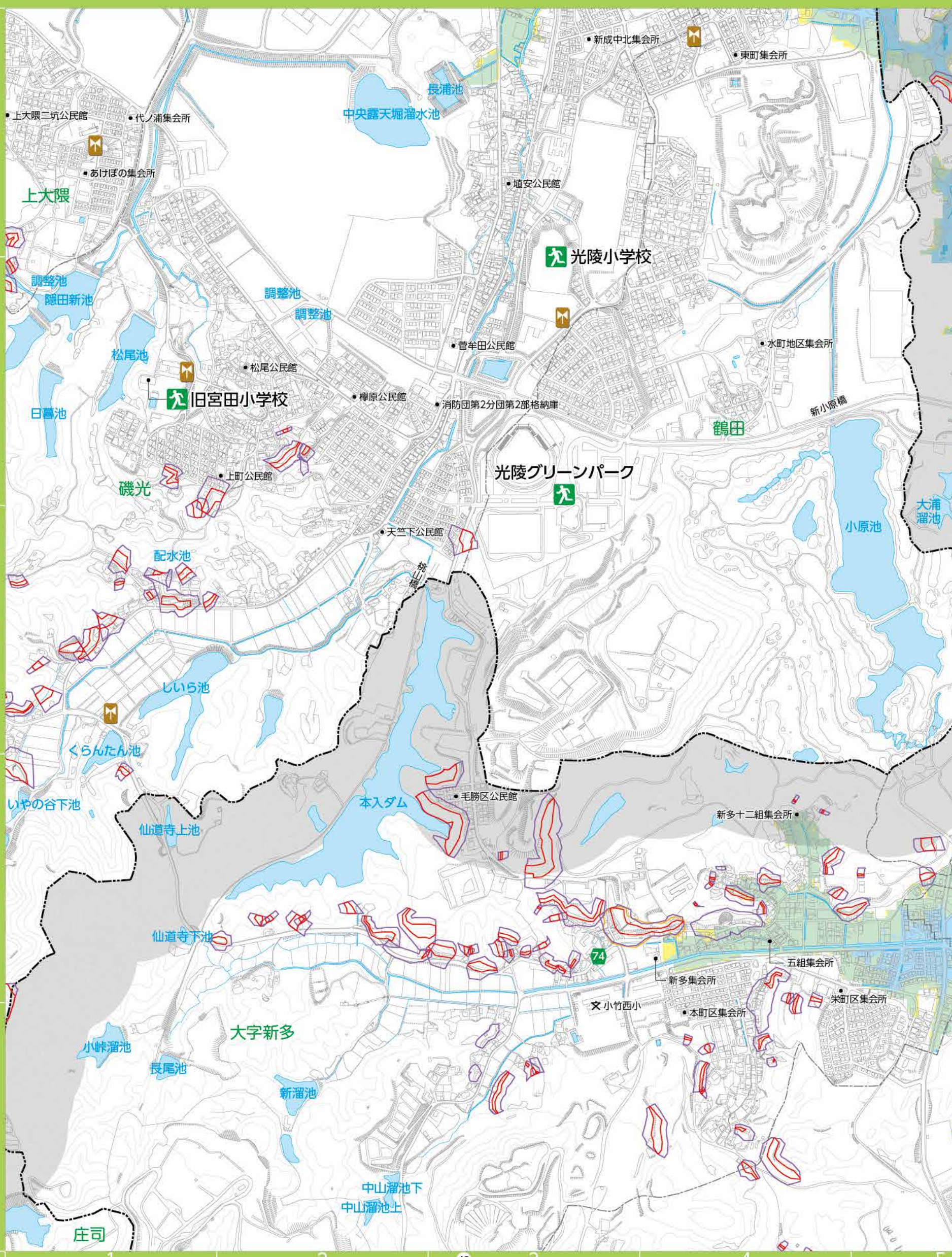
マップの見方

ハザードマップ13

防災メモ

凡例	指定緊急避難場所 指定避難所	交番・駐在所	県・国の機関	洪水浸水 想定区域	10.0m以上	家屋倒壊等 氾濫想定区域
	消防署	救急告示病院	5.0m以上～10.0m未満			
	水防倉庫	行政区界	3.0m以上～5.0m未満			
	防災行政無線	大字界	0.5m以上～3.0m未満			
市役所・総合支所				0.5m未満	氾濫流	河岸侵食

A  
B  
C  
D  
E



浸水実績区域  
(遠賀川河川事務所把握分)

活断層

活断層(位置やや不明確)

土砂災害  
警戒区域

土石流

特別警戒区域

警戒区域

急傾斜地

特別警戒区域

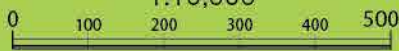
警戒区域

地すべり

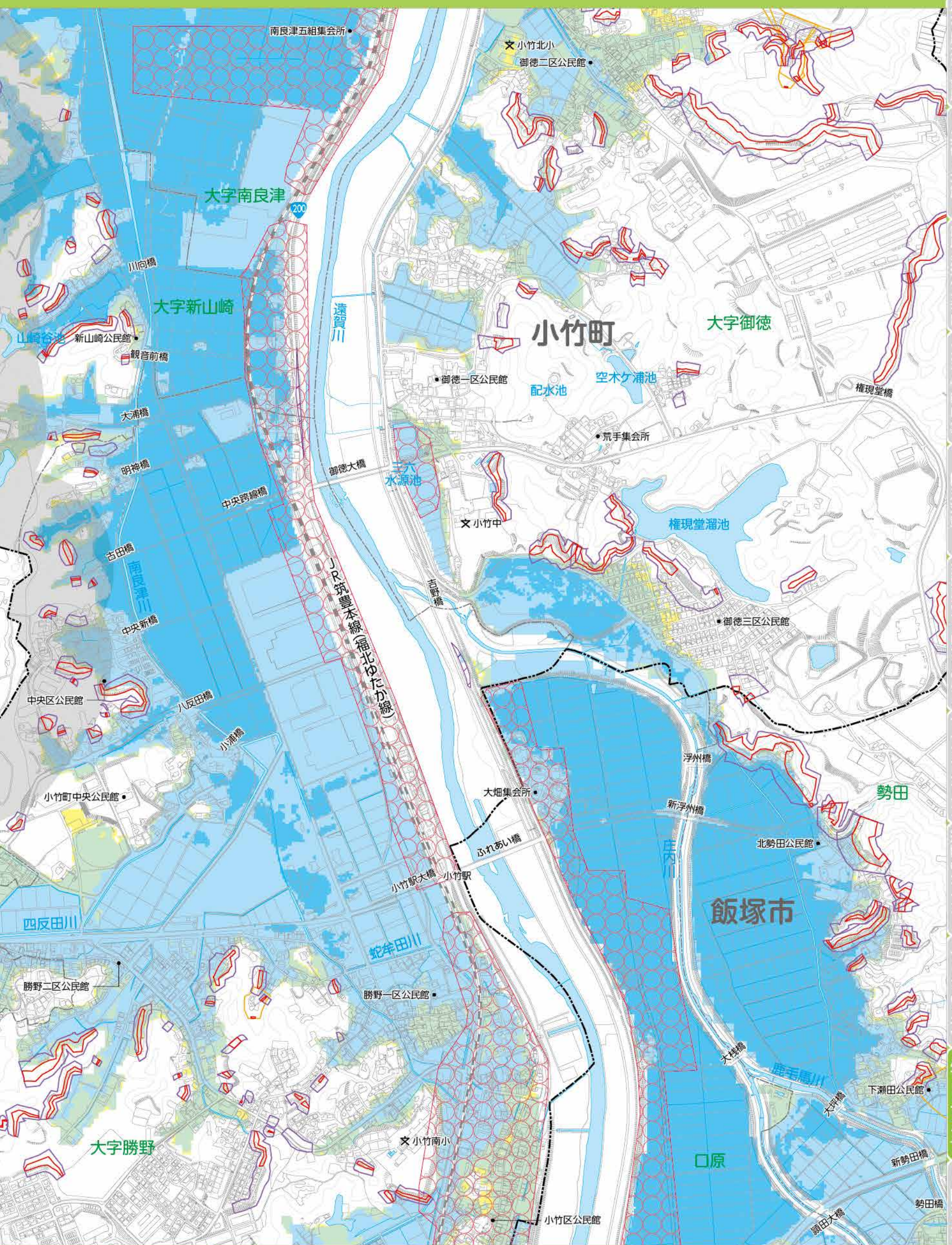
警戒区域



1:10,000



9	10
13	14



活用方法

洪水風水害・台風

土砂・地震

濃度・液状化分布図

火災・情報収集

防災対策

避難所等・日頃からへの備え

マイタイムライン

避難のポイント

マップの見方

ハザードマップ14

防災メモ

6

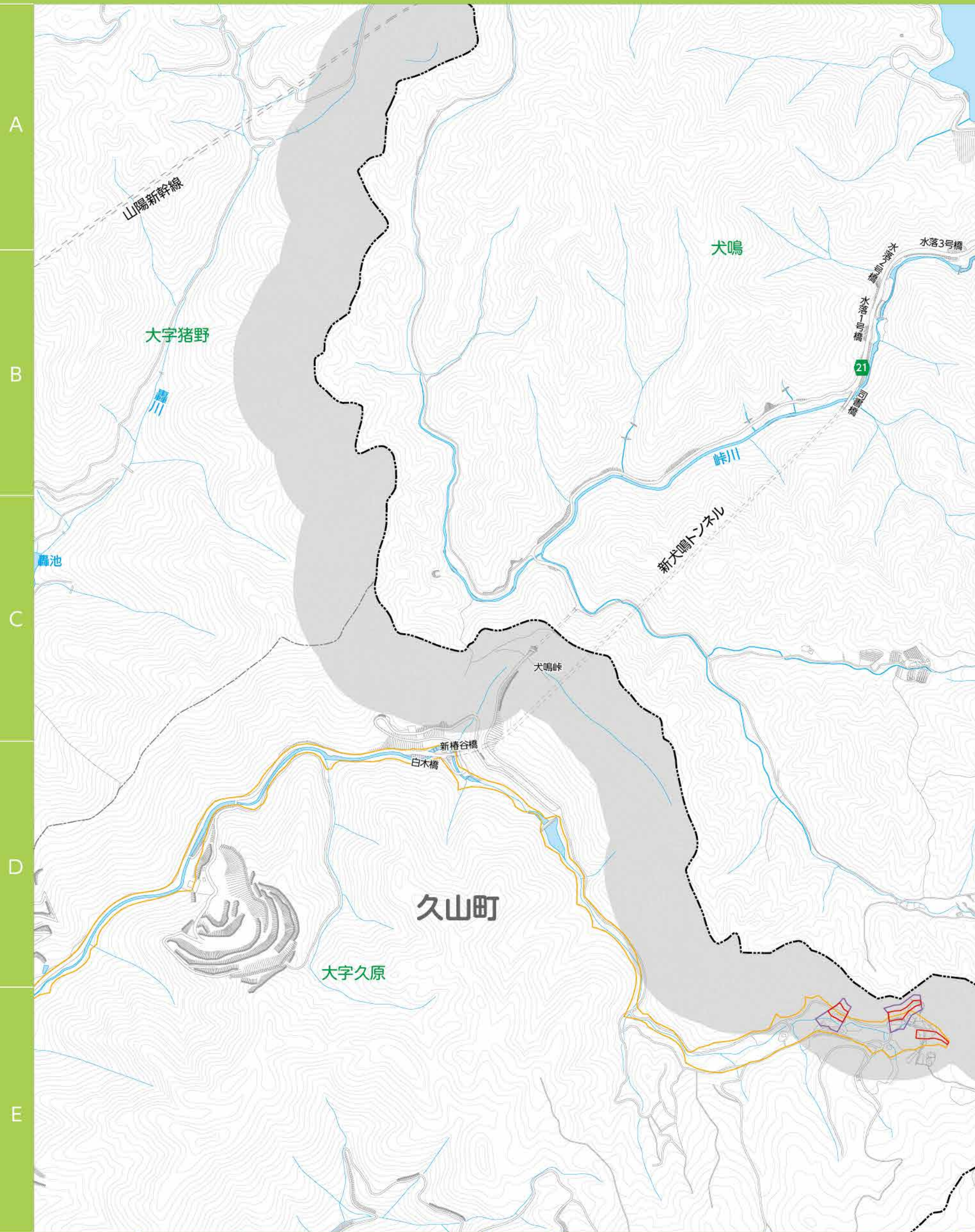
7

50

8

9

凡例	指定緊急避難場所 指定避難所	交番・駐在所	県・国の機関	洪水浸水 想定区域	10.0m以上	家屋倒壊等 氾濫想定区域	
	消防署	救急告示病院	5.0m以上～10.0m未満				
	水防倉庫	----- 行政区界	3.0m以上～5.0m未満				
	市役所・総合支所	防災行政無線	----- 大字界		0.5m以上～3.0m未満		
					0.5m未満	氾濫流	河岸侵食



浸水実績区域  
 (遠賀川河川事務所把握分)

活断層

活断層(位置やや不明確)

土砂災害  
警戒区域

土石流

特別警戒区域  
 警戒区域

急傾斜地

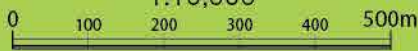
特別警戒区域  
 警戒区域

地すべり

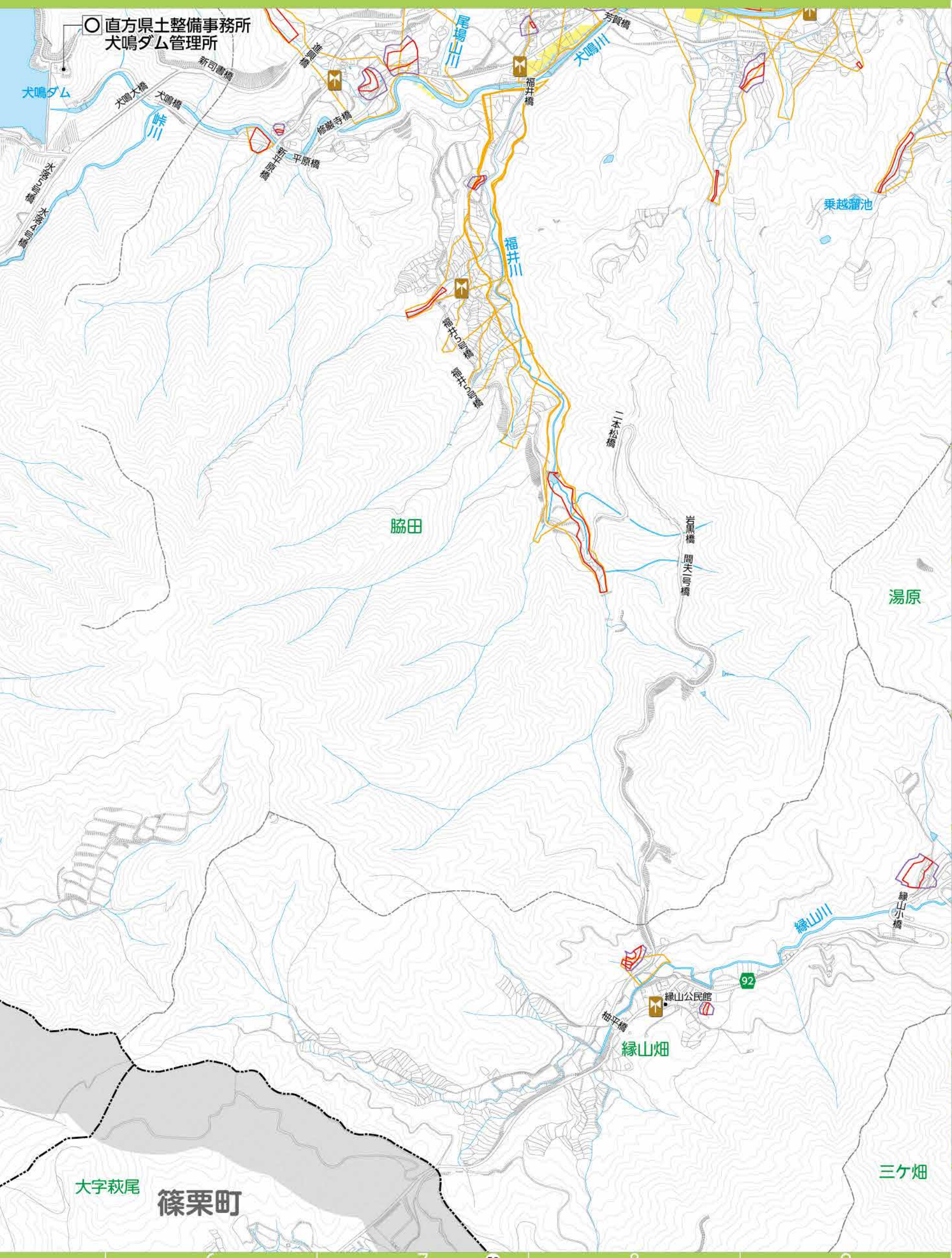
警戒区域



1:10,000

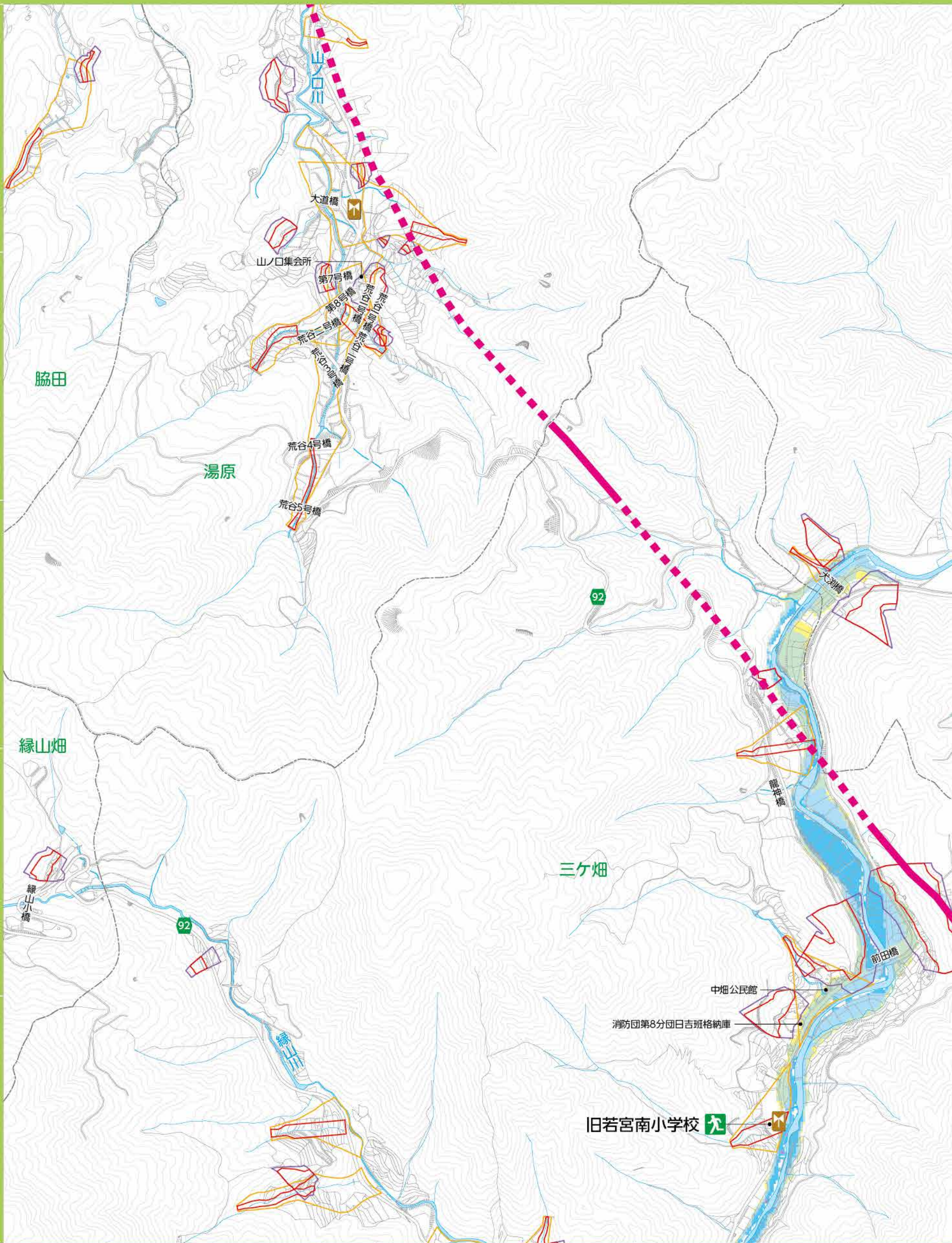





11	12
15	16
17	18



活用方法  
 洪水風水害・台風  
 土砂・地盤  
 震度・液状化分布図  
 火災・情報収集  
 防災対策  
 避難所算・白旗からの備え  
 マイタイムライン  
 避難のポイント  
 マップの見方  
 ハザードマップ15  
 防災メモ

凡例	指定緊急避難場所 指定避難所	交番・駐在所	県・国の機関	洪水浸水 想定区域	10.0m以上	家屋倒壊等 氾濫想定区域
	消防署	救急告示病院	5.0m以上～10.0m未満			
	水防倉庫	----- 行政区界	3.0m以上～5.0m未満			
	市役所・総合支所	防災行政無線	----- 大字界		0.5m以上～3.0m未満	
					0.5m未満	氾濫流  河岸侵食





 浸水実績区域  
(遠賀川河川事務所把握分)  
 活断層  
 活断層(位置やや不明確)

土砂災害  
警戒区域

土石流

 特別警戒区域  
 警戒区域

急傾斜地

 特別警戒区域  
 警戒区域

地すべり

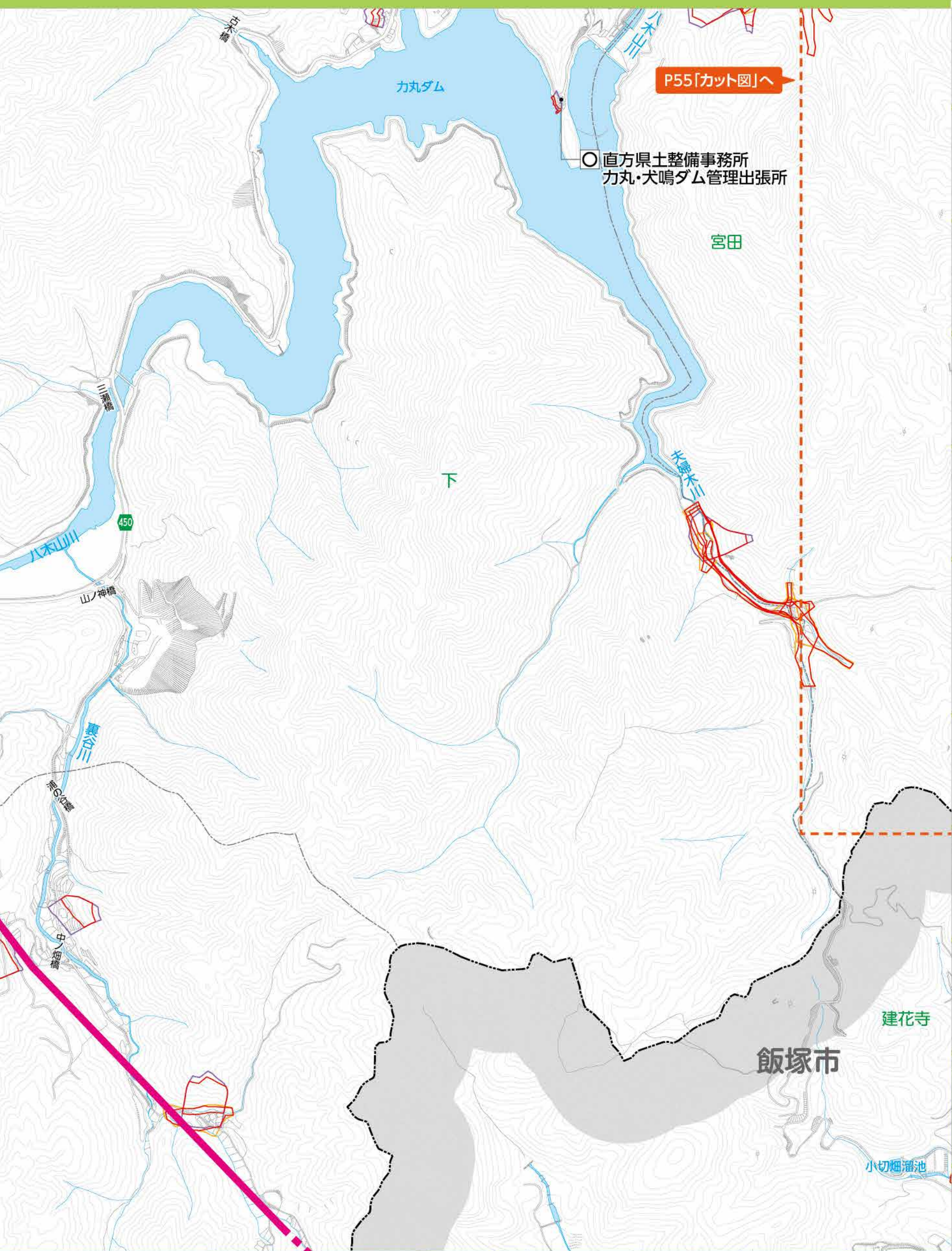
 警戒区域



1:10,000



11	12	13
15	16	
17	18	



活用方法

洪水・風水害・台風

土砂・地震

震度・液状化分布図

火災・情報収集

防災対策

避難所一覧・白旗からの備え

マイタイムライン

避難のポイント

マップの見方

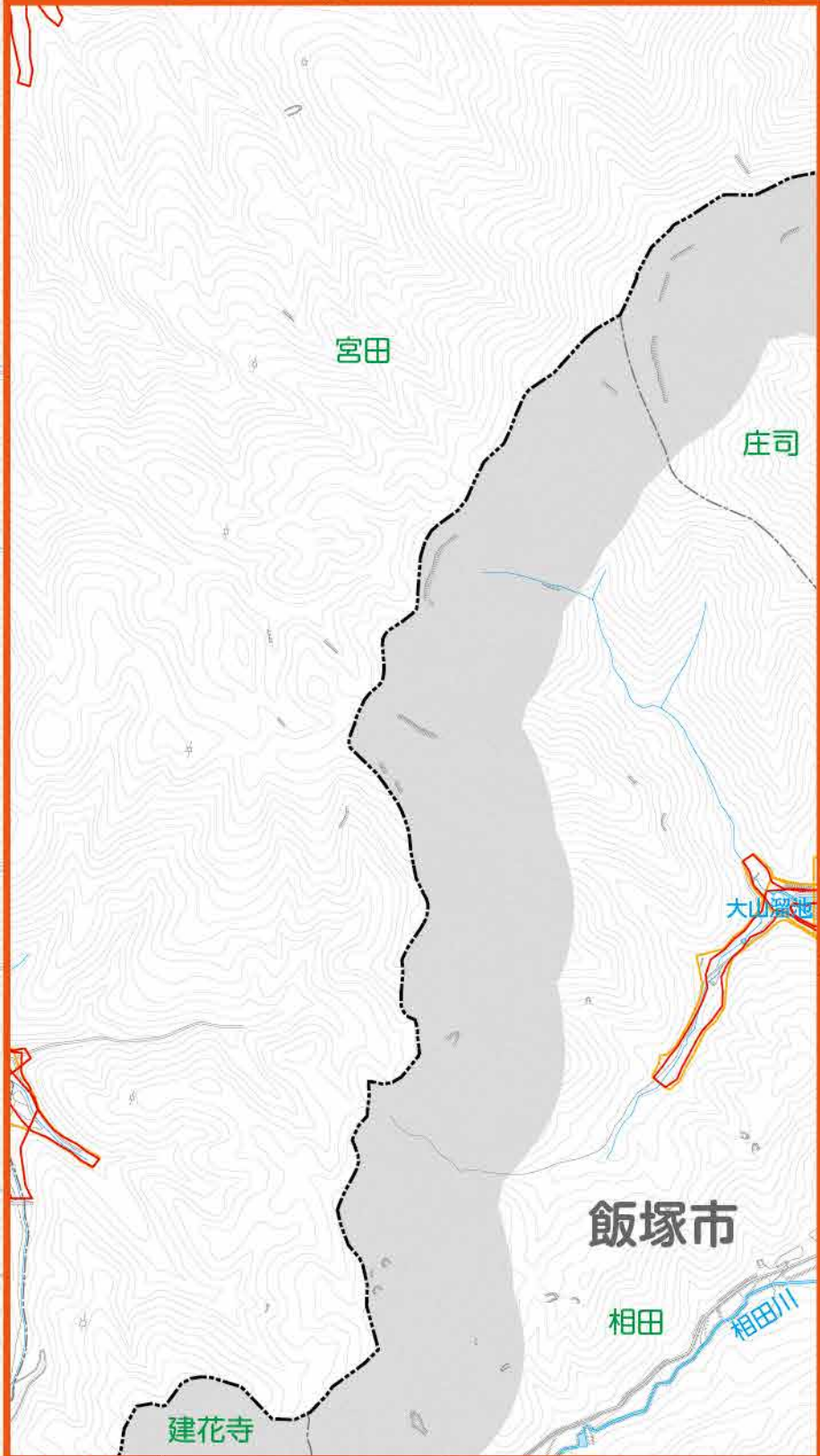
ハザードマップ16

防災メモ

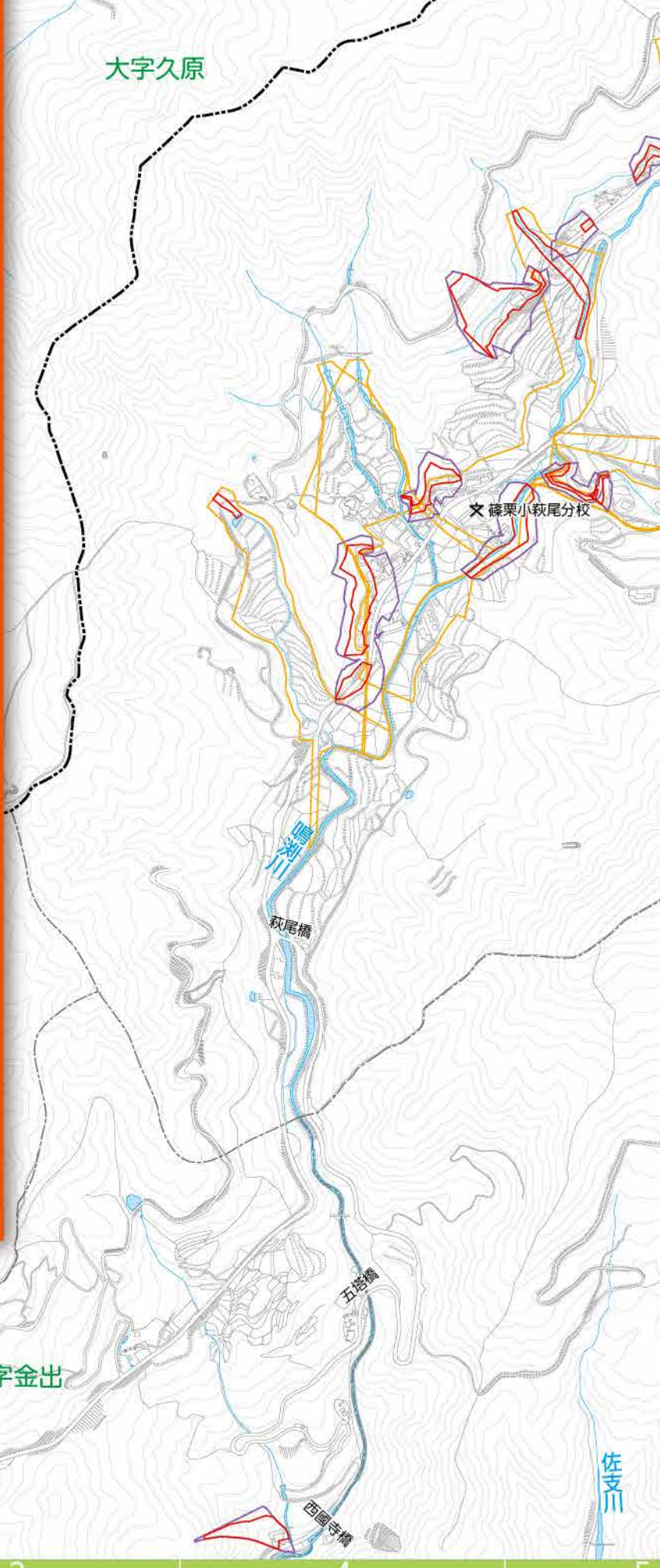
凡例	指定緊急避難場所 指定避難所	交番・駐在所	県・国の機関	洪水浸水 想定区域	10.0m以上	家屋倒壊等 氾濫想定区域
	市役所・総合支所	消防署	救急告示病院		5.0m以上～10.0m未満	
		水防倉庫	----- 行政区界		3.0m以上～5.0m未満	
		防災行政無線	----- 大字界		0.5m以上～3.0m未満	
					0.5m未満	

A  
B  
C  
D  
E




カット図



久山町







 浸水実績区域  
 (遠賀川河川事務所把握分)  
 活断層  
 活断層(位置やや不明確)

土砂災害  
警戒区域

土石流

 特別警戒区域  
 警戒区域

急傾斜地

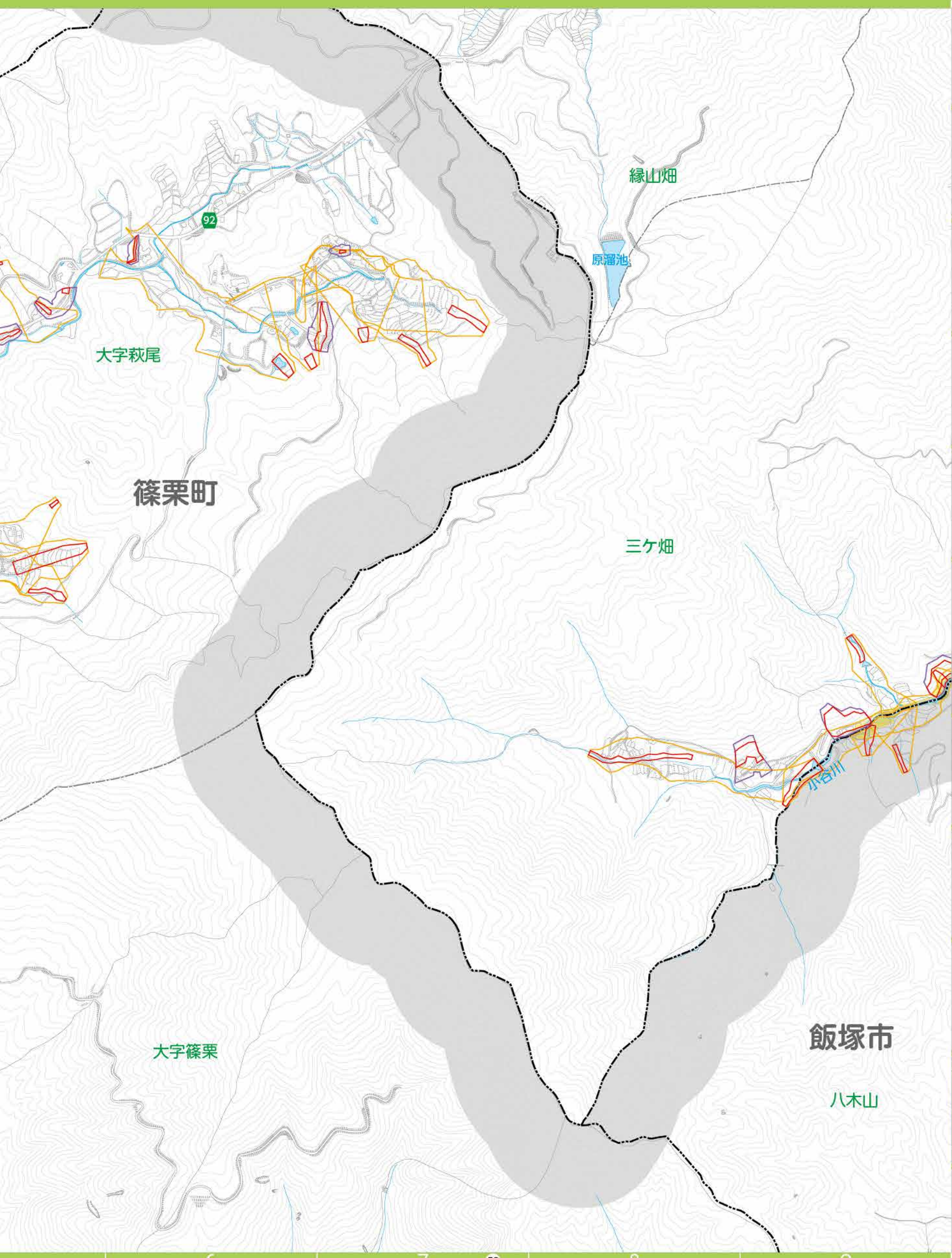
 特別警戒区域  
 警戒区域

地すべり

 警戒区域

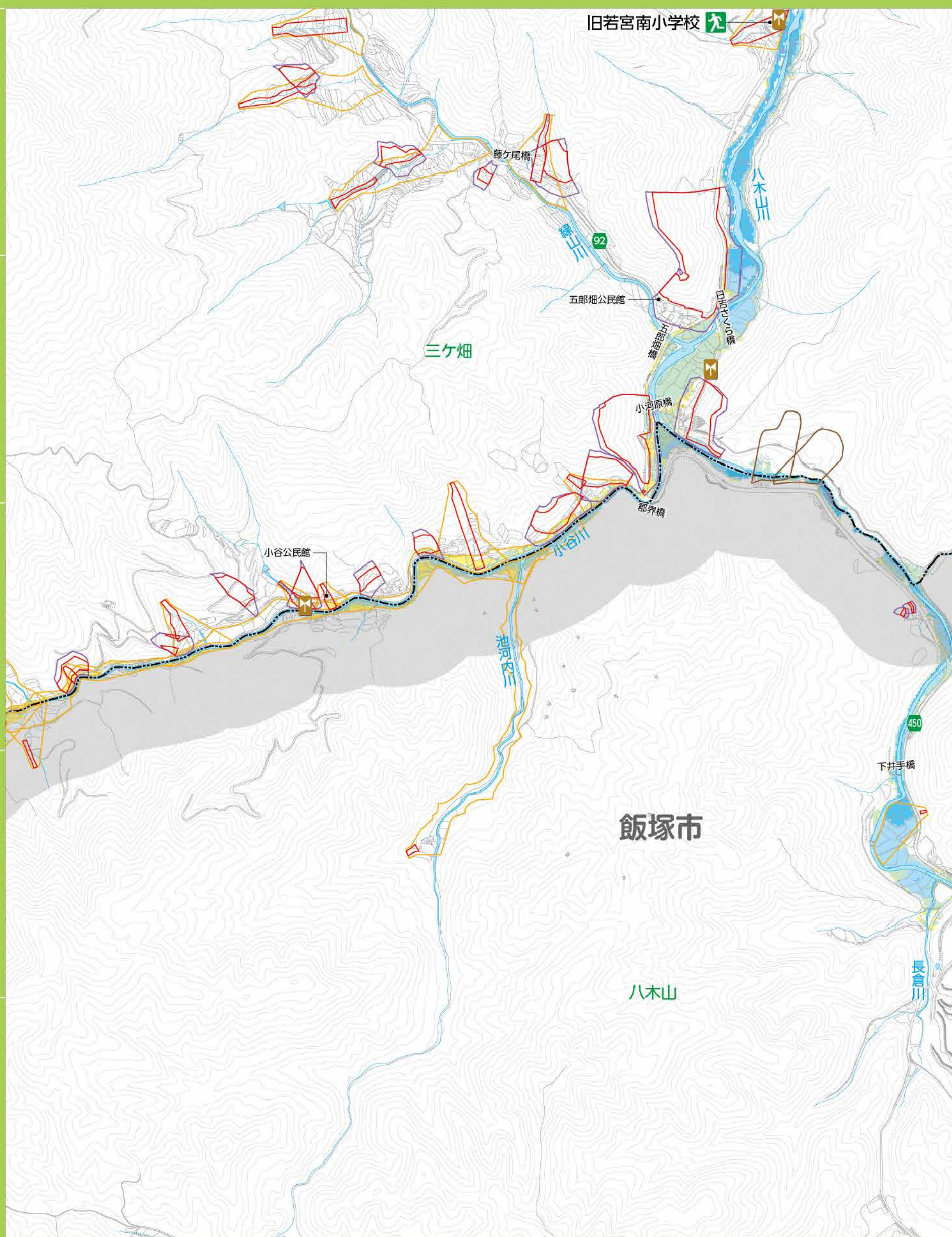
 N  
 1:10,000  
 0 100 200 300 400 500m

15	16
17	18



凡例	指定緊急避難場所 指定避難所	交番・駐在所	県・国の機関	洪水浸水想定区域	10.0m以上	家屋倒壊等 氾濫想定区域
	市役所・総合支所	消防署	救急告示病院		5.0m以上～10.0m未満	
		水防倉庫	行政区界		3.0m以上～5.0m未満	
		防災行政無線	大字界		0.5m以上～3.0m未満	
					0.5m未満	

A  
B  
C  
D  
E



浸水実績区域  
 (遠賀川河川事務所把握分)

活断層

活断層(位置やや不明確)

土砂災害  
警戒区域

土石流

特別警戒区域  
 警戒区域

急傾斜地

特別警戒区域  
 警戒区域

地すべり

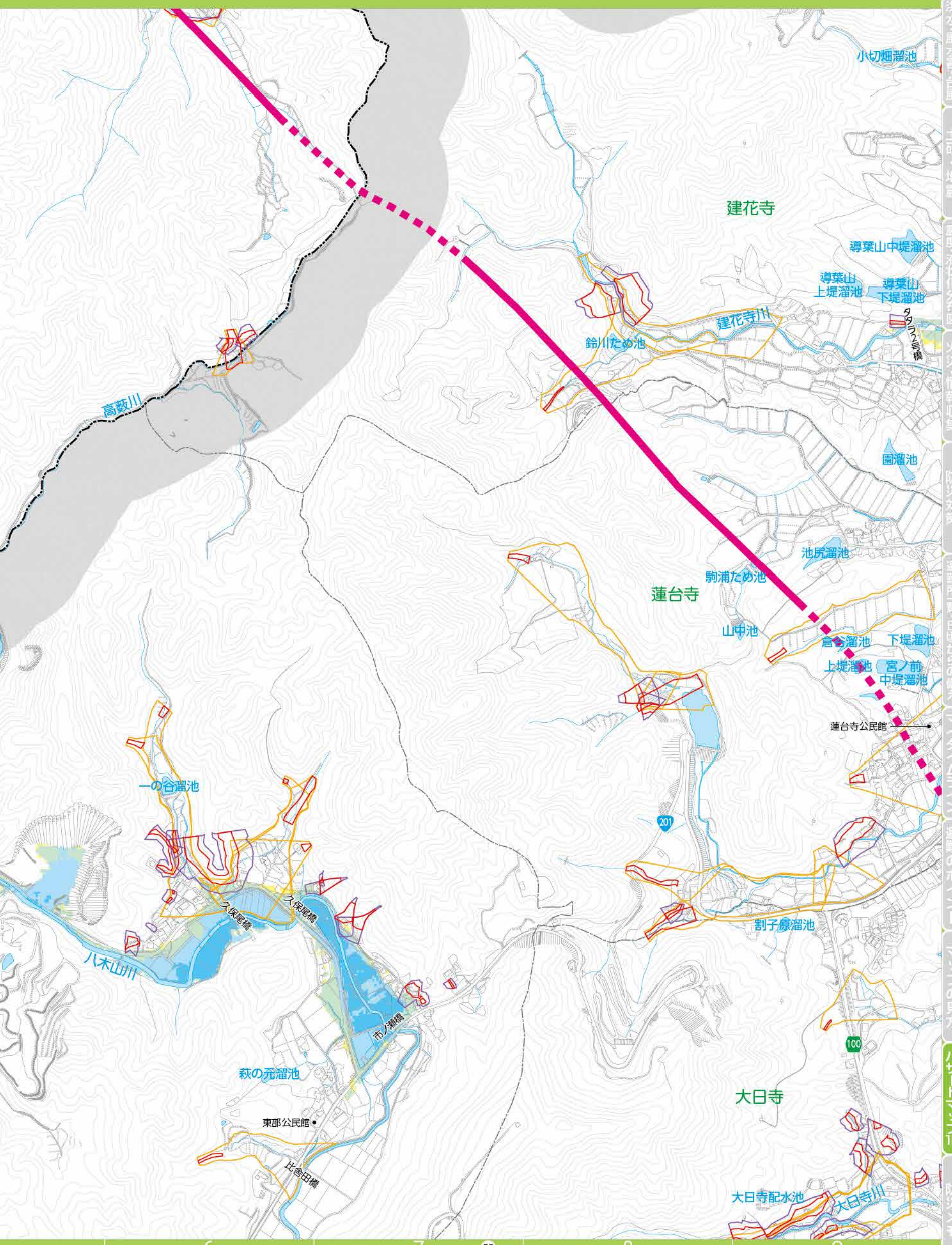
警戒区域



1:10,000



15	16
17	18



活用方法

洪水・風水害・台風

土砂・地盤

農産・液状化・布回

火災・情報収集

防災対策

避難所・白頭からの備え

マイタイムライン

避難のポイント

マップの見方

ハザードマップ18

防災メモ

# わが家の防災メモ

非常時・緊急時に連絡してほしい方や、利用してもらいたい、わが家の情報です。災害時に救助の方や、緊急時に救急隊・医療機関などに情報を提供します。

## 家族の集合場所

集合場所	避難所・避難場所	連絡方法

## 家族の連絡先及び救急情報

氏名	続柄	電話番号(自宅・携帯)	生年月日	血液型	かかりつけ医療機関	救急情報(持病・アレルギー・常備薬)
				型		
				型		
				型		
				型		

## 親族・知人

氏名	間柄	電話番号

## 救急医療情報 連絡先

救急車を呼ぶかどうか迷ったときは？

→ 電話相談窓口 **#7119**  
または消防署に問い合わせください。☎ **32-1130**

休日、祝日に開いている病院は？

→ 直方鞍手医師会 <https://chokuan-medical.jp/>

小児の急病などで相談したいときは？

→ 小児救急医療電話相談 **#8000**  
開設時間 午後7時～翌朝7時(年中無休)



緊急  
ダイヤル

消防へ火事・救急・  
救助の連絡

**119**

※火災情報ダイヤル(火災案内)  
**0949-32-3211**

警察へ事件・  
事故の連絡

**110**

災害発生時  
(災害対策本部)

**32-0511**

※宮若市防災行政無線音声ガイド  
**0800-200-9945** (通話料無料)

## 災害用伝言ダイヤル(171)

「171」に電話をかけると、伝言の録音や再生ができます。

伝言の録音

**171+1+** 被災地の人の電話番号  
(市外局番から) → **録音**

伝言の再生

**171+2+** 被災地の人の電話番号  
(市外局番から) → **再生**

※災害時には電話がつながりにくくなります。



災害用伝言版web171

<https://www.web171.jp/web171app/topRedirect/>

発行：宮若市 総務課  
作成：令和5年3月

TEL：0949-32-0511

メールアドレス：bousai@city.miyawaka.lg.jp

この地図は、宮若市長の承認を得て、同市所管の測量成果宮若市都市計画基本図1/2,500を使用して調製したものです。(承認番号:3宮建都第436号)  
測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 293-1205号  
測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 294-546号

(禁無断複製)©2023 ZENRIN CO., LTD.